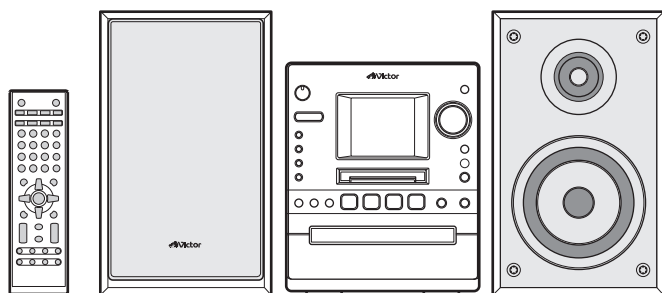
マイクロコンポーネントMDシステム

型名 UX-GM77 -B/-W

－お買い上げありがとうございます－

ご使用の前に

この「取扱説明書」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

特に8～11ページの「安全上のご注意」は、必ずお読みいただき安全にお使いください。

そのあと保証書と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。

ユーザー登録のおすすめ

お買い上げいただきました製品について「ユーザー登録」をお願いいたします。
ご登録いただきますと製品のサポート情報、ビクターの製品情報やイベント情報の提供サービスなどをご利用いただけます。
また、今後のより良い製品開発のためのアンケートにもご協力をお願いいたします。

●下記アドレスのホームページより、ご登録ください。
http://www.victor.co.jp/reg/

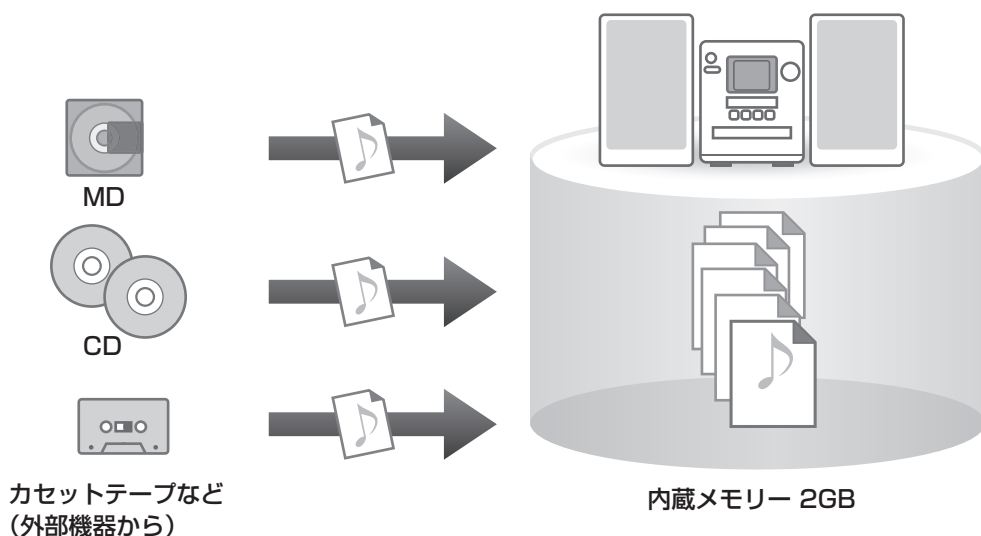
取扱説明書

LVT1893-001B

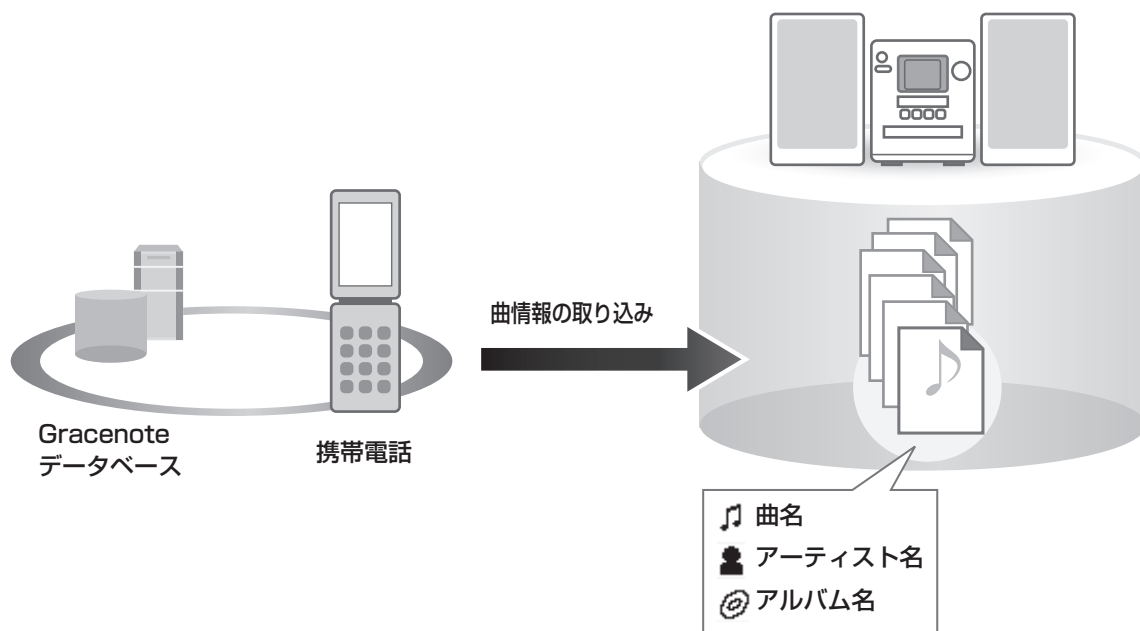
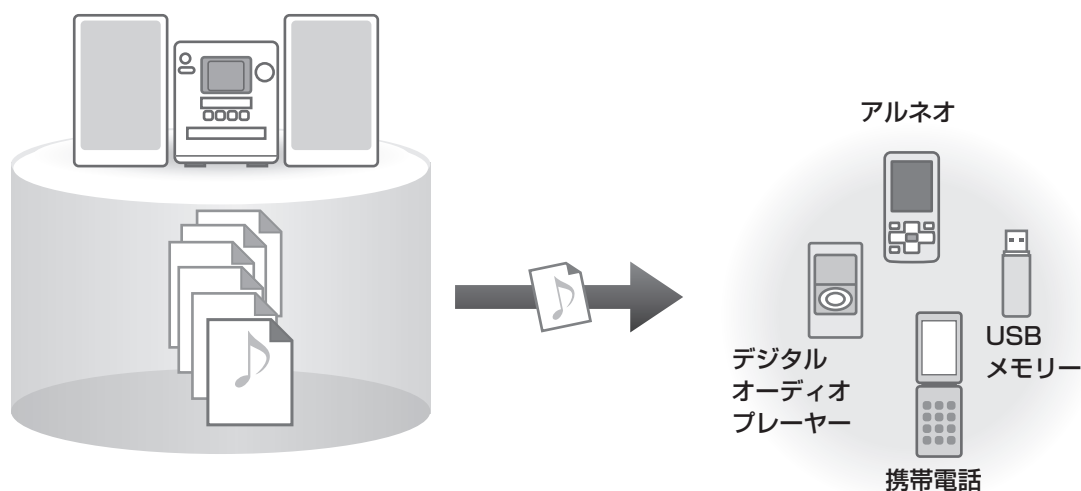
こんなことができます

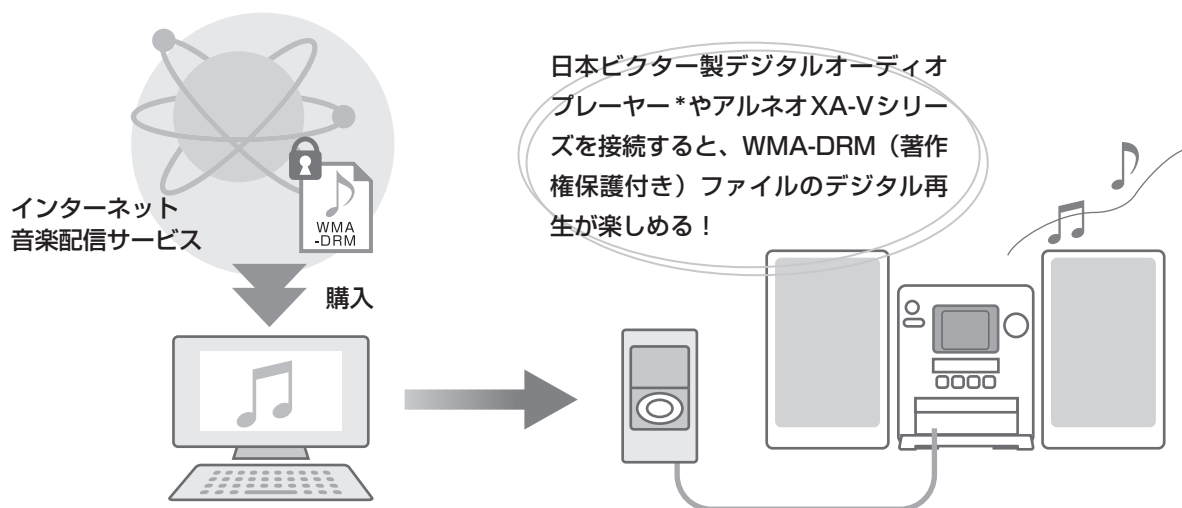
曲を内蔵メモリーに録音する

➡61ページ

いろんな音源から曲を取り込める！

CDの曲情報を取り込む

➡58ページ

携帯電話につなげばMagicSync（マジックシンク）でCDの曲情報を取り込める！

曲を持ち出して聞く

著作権保護された音楽も再生

➡33ページ

* XA-C210/C110/C51/C109/C59。
  ただし、XA-C109/C59はファームウェアのバージョンアップが必要です。
  (➡33ページ)

携帯電話を使って本機でできること

携帯電話を本機でご使用になる前に ー必ずお読みくださいー

携帯電話を接続するための準備：

USB端子に接続するとき：

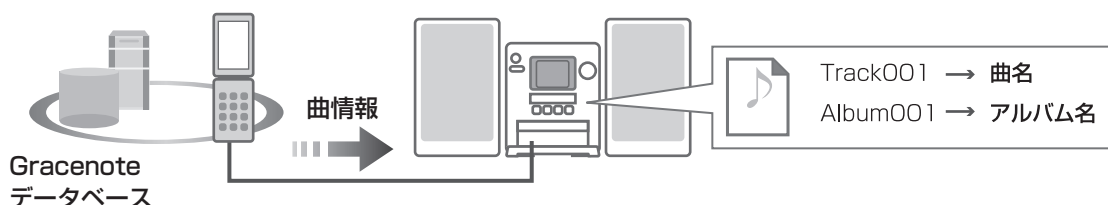
- お使いの携帯電話に合ったUSBケーブル（市販品）をご用意ください。
- 充電機能付きのUSBケーブルで接続すると、携帯電話を充電することができます。

LINE IN端子に接続するとき：

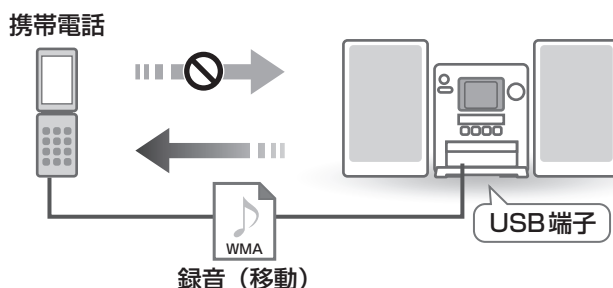
- オーディオコード（平型プラグ用）CN-FM100-Bなど（別売り）をご用意ください。

音楽CDと本機の内蔵メモリーの曲情報を携帯電話で取得するー MagicSync ～USB端子に接続～

本機と携帯電話を接続してMagicSync®を実行すると、インターネット上のGracenoteデータベースにアクセスし、音楽CD、本機の内蔵メモリーにある曲のアルバム名、アーティスト名、曲名などの情報を読み込みます。

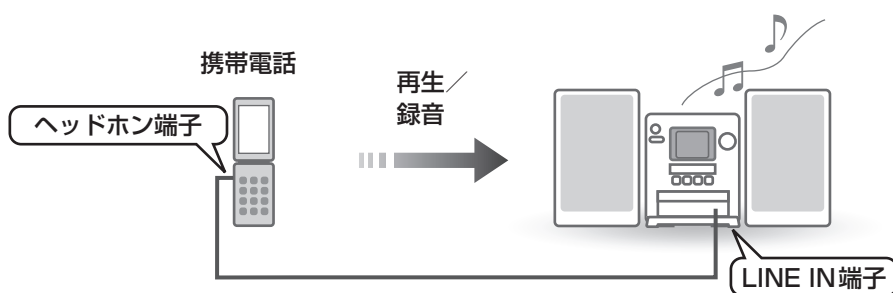
- お使いの携帯電話が本機のMagicSync機能に対応しているか確認してください。（添付の「本機の対応携帯電話機種一覧」をご覧ください。最新の対応携帯電話リストはホームページで確認できます。http://www.victor.co.jp/audio_w/keitai/）
- MagicSyncを利用する場合にかかるパケット通信料やインターネット接続料金は、お客様の負担となります。

「曲情報を取得するー MagicSync ー」➡58ページ

本機の内蔵メモリーにある曲を携帯電話に録音（移動）する
～ USB端子に接続～

- 接続している携帯電話が本機のUSB接続での録音機能に対応しているか確認してください。（添付の「本機の対応携帯電話機種一覧」の録音の欄をご覧ください。最新の対応携帯電話リストはホームページで確認できます。http://www.victor.co.jp/audio_w/keitai/）

- USB端子に接続した携帯電話の曲を本機に録音（移動）することはできません。このため、本機から携帯電話に録音（移動）した曲を本機に再転送することはできません。
- 携帯電話の曲を本機で再生または本機に録音する場合は、下記のように本機のLINE IN端子に接続してください。

携帯電話の曲を本機で再生、本機に録音 ～LINE IN端子に接続～

携帯電話をLINE IN端子に接続して、携帯電話の曲を再生・録音できます。

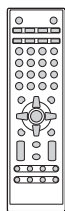
- 携帯電話を本機のUSB端子に接続したときは、携帯電話の曲の再生、携帯電話からの録音はできません。

「携帯電話・外部機器をつないで聞く」➡**41**ページ
「携帯電話・外部機器から録音する」➡**72**ページ

もくじ

本書の見かた

- 主にリモコンのボタンを使って操作説明しています。本体に同じマークのボタンがある場合には、本体のボタンもお使いいただけます。
- 本文中のボタン名は、数字ボタン以外は［ボタン名］で表示しています。
- 本書内のイラストは、説明のため簡略化や誇張しているものがあります。
- 特に断りのない限り、「アルネオ」は「アルネオ XA-Vシリーズ」を指します。

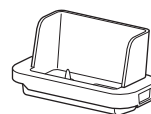
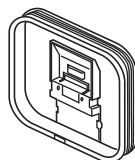
付属品の確認

• リモコン（1個）

RM-SUXGM77-W

• リモコン動作確認用
単４乾電池（2本）

• FM簡易型アンテナ（1本）

• AMループアンテナ（1個）

• アルネオドックアダプター

安全上のご注意 —はじめにお読みください—

▶ 絵表示について

この取扱説明書と製品には、いろいろな絵表示が記載されています。
これらは、製品を安全に正しくお使いいただき、人への危害や財産への損害を未然に防止するための表示です。絵表示の意味をよく理解してから本文をお読みください。

⚠ 警告

この表示の注意文を無視して、誤った取り扱いをすると、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容を示しています。

⚠ 注意

この表示の注意文を無視して、誤った取り扱いをすると、「傷害を負ったり物的損害が想定される」内容を示しています。

▶ 絵表示の説明

注意をうながす記号

一般的注意

感電

行為を禁止する記号

禁止

分解禁止

水場での使用禁止

接触禁止

行為を指示する記号

一般的指示

電源プラグを抜く

⚠ 警告

電源プラグを抜く

万一、次のような異常が発生したときはすぐに使用をやめる。

- 煙が出ている、へんなにおいがするとき
- 内部に水や異物が入ってしまったとき
- 落としたり、破損したとき
- 電源コードが傷んだとき（芯線の露出や断線など）

すぐに電源を切り、必ず電源プラグをコンセントから抜く。異常が発生したまま使用していると、火災や感電の原因となります。煙が出なくなるのを確認してから販売店に修理を依頼してください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。

分解禁止

分解や改造をしない。カバーを外さない。

火災や感電の原因となります。内部の点検や修理は、お買い上げの販売店にご依頼ください。

水場での使用禁止

風呂場やシャワー室では使用しない。

本機の中に水が入ると、火災や感電の原因となります。

本機の中に物を入れない。

通風孔やディスク挿入口などから、金属物や燃えやすいものが入ると、火災や感電の原因となります。特に小さいお子様のいるご家庭では注意してください。

交流100V（ボルト）以外の電源電圧で使用しない。

表示された電源電圧以外では、火災・感電の原因となります。本機を使用できるのは日本国内のみです。

This set is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.

電源コードを傷つけない。

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となります。特に、次のことに注意してください。

- 電源コードを加工しない
- 電源コードを無理に曲げない
- 電源コードをねじらない
- 電源コードを引っ張らない
- 電源コードを熱器具に近づけない
- 電源コードの上に家具などの重い物をのせない

電源プラグは根元まで確実に差し込む。

差し込みが不完全だと、発熱したりほこりが付着して火災や感電の原因となります。また、たこ足配線も、コードが熱を持ち危険ですのでしないでください。

電源プラグは定期的に清掃する。

電源プラグとコンセントの間に、ゴミやほこりがたまって湿気を吸うと、絶縁低下を起こして、火災の原因となります。定期的に電源プラグをコンセントから抜き、ゴミやほこりを乾いた布で取り除いてください。

水ぬれ禁止

本機の上に水などの入った容器を置かない。

花びん、化粧品、薬品など水の入った容器を置かないでください。こぼれたり、中に水が入った場合は、火災や感電の原因となります。

接触禁止

雷が鳴り出したら、アンテナ線や電源プラグに触れない。

感電の原因となります。

本機の包装に使用しているポリ袋は、小さなお子様の手の届くところに置かない。

頭からかぶると窒息の原因となります。

⚠ 注意

電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない。

電源コードを引っ張ると、コードに傷がつき、火災や感電の原因となることがあります。電源プラグを持って抜いてください。

ぬれ手禁止

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない。

感電の原因となることがあります。

電源プラグを抜く

長期間使用しないときは、電源プラグを抜く。

電源が切れているときでも本機には、わずかな電流が流れています。
安全および節電のため、電源プラグをコンセントから抜いてください。

置き場所に注意する。

次のような所に置くと、火災や感電の原因となることがあります。

- 調理台や加湿器のそばなど、油煙や湯気が当たる所
- 湿気やほこりの多い所
- 熱器具の近くなど高温になる所
- 窓ぎわなど水滴の発生しやすい所

ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かない。

バランスがくずれて倒れたり、落ちたりして、けがの原因となることがあります。

通風孔をふさいだり、風通しの悪い場所で使用しない。

本機の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。特に次のことに注意してください。

- あお向けや横倒し、逆さまにしない
- 本箱、押し入れなど風通しの悪い狭い所に押し込まない
- テーブルクロスを掛けない
- 本や雑誌などをのせない
- じゅうたんや布団の上に置かない
- 設置するときは、壁などから10cm以上離す

電源プラグを抜く

お手入れをするときは、電源プラグを抜く。

電源が切れているときでも本機には、わずかな電流が流れています。
電源プラグがコンセントに接続されていると、感電の原因となることがあります。

電源プラグを抜く

移動するときは、接続したコードや電源プラグを抜く。

接続したまま移動すると、コードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。

はじめから音量を上げすぎない。

突然大きな音が出て、スピーカーを破損したり、聴力障害の原因となることがあります。電源を切る前に音量（ボリューム）を下げておき、電源が入ってから徐々に上げてください。

⚠ 注意

ヘッドホンを使用するときは、音量を上げすぎない。

耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

手を挟まれないよう注意

ディスク挿入口に、手を入れない。

けがの原因になることがあります。特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。

3年に一度は内部の清掃を販売店に依頼する。

内部にほこりがたまったまま使用すると、火災の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。

可動部の作動中には無理な操作を加えない。

一つの動作が終了してから、次の操作に移ってください。誤動作や故障の原因となることがあります。

本機の上に重いものを置かない。

テレビなどの重い物や本機からはみ出るような大きな物を置くと、バランスがくずれて倒れたり、落ちたりして、けがの原因となることがあります。

電池の取り扱いに注意する。

電池の取り扱いを誤ると、電池が破裂したり、液もれして、火災・けがや周囲を汚す原因となることがあります。次のことに注意してください。

- 指定以外の電池を使用しない
- 電池のプラス（+）とマイナス（−）を間違えない
- 電池のプラス（+）とマイナス（−）をショートさせない
- 電池を加熱しない
- 分解しない
- 火や水の中に入れない
- 新しい電池と一度使用した電池を混ぜて使用しない
- 種類の違う電池と混ぜて使用しない
- 乾電池は充電しない
- 長期間使わないときは、電池を取り出しておく
  もし、電池が液もれをしてしまったときは、リモコンの内部についた液をよく拭きとってください。万一、もれた液体が身体についたときは、水でよく洗い流してください。

一般的注意

電源プラグが容易に抜き差しできる空間を設ける。

本機は電源プラグの抜き差しで、主電源が「入」/「切」します。本機を設置するときは、できるだけコンセントの近くに設置してください。

欧州連合のリサイクルマークです。

使用上のご注意

本機の置き場所について

故障などを防止するために、次のような場所には置かないでください。

- 湿気やほこりの多い所
- バランスの悪い不安定な所
- 熱器具の近く
- OA機器やけい光灯のすぐそば
- 風通しの悪い狭い場所
- 直射日光の当たる所
- 極端に寒い所
- 振動の激しい所
- テレビや他のアンプ、チューナーのそば
- 磁気を発生する所

ご注意

本機の使用環境温度は、5℃ ～ 35℃です。この範囲外の温度で使用すると、正しく動作しなかったり故障の原因となることがあります。

露、水滴がついたら

次のようなとき、本機内部のレンズに露、水滴が付いて正しく再生できない場合があります。

- 暖房を始めた直後
- 湯気や湿気の多いところに置いてあるとき
- 寒い所から急に暖かい部屋に移動したとき

このようなときは、電源を入れたまま約1～2時間待ってから、ご使用ください。

本体の清掃

パネル操作面が汚れたら柔らかい布でからぶきしてください。汚れがひどいときは、水で布をしめらすか、中性洗剤を少し布に付けてふき、あとからからぶきしてください。

ご注意

シンナーやベンジン、アルコールなどの化学薬品でふいたり、殺虫剤をかけないでください。変色したり表面の仕上げをいためることがあります。

ステレオを聞くときのエチケット

ヘッドホンをご使用になるときには、耳を刺激しないよう適度な音量でお楽しみください。

ステレオで音楽をお楽しみになるときは、隣近所に迷惑がかからないような音量でお聞きください。
特に、夜は小さな音でも周囲によく通るものです。窓を閉めたりヘッドホンをご使用になるなどお互いに気を配り、快い生活環境を守りましょう。このマークは音のエチケットのシンボルマークです。

データのお取り扱いについて

- 本機の故障または不測の事態などにより、再生・録音において利用の機会を逸したために発生した損害などの補償については、ご容赦ください。大切なデータはパソコンなどにバックアップを取っておくことをお勧めします。
- 本機と接続機器間での録音（移動）・再生のときに、データ［内蔵メモリー、USB接続機器（携帯電話を含む）、アルネオ、MD］の消失または破損が生じた場合の補償はご容赦ください。
- MagicSyncで取得した曲情報が、本機の故障または不測の事態により、消失した場合の補償についてもご容赦ください。

準備する

接続する

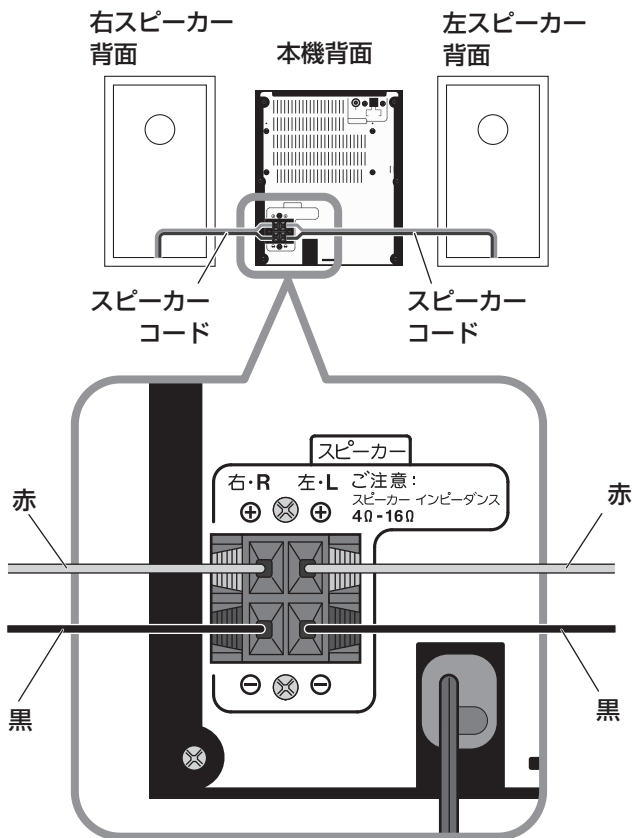
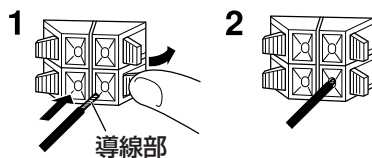
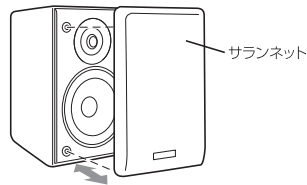
ーすべての接続が終わるまで電源プラグを差し込まないでくださいー

スピーカーの接続

ご注意

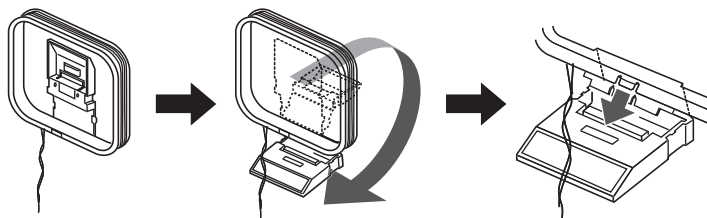
- スピーカーコードは確実に⊕と⊖に接続してください。スピーカーコードが外れて本体の金属部分に接触すると、故障の原因になります。
- スピーカー端子の⊕と⊖をショートさせないでください。故障の原因となります。
- ほかのスピーカーとは、一緒に接続しないでください。負荷インピーダンスが変わり、故障の原因となります。

お知らせ

- スピーカーコードの接続を間違えると、ステレオ感や音質がそこなわれます。
- 本機に接続できるスピーカーのインピーダンスは4Ω～16Ωです。
- 本機の内部で発生した熱を放出するために、両側にスピーカーを設置したり、物を置いたりするときは、1cm以上の間隔をあけてください。
- 本機のスピーカーは防磁設計になっておりません。テレビの近くに設置するときは、テレビに色ムラが生じない位置まで離してください。

スピーカー端子の接続

サランネットは取りはずすことができます。

接続後、スピーカーコードを軽く引っ張って抜けないことを確認してください。

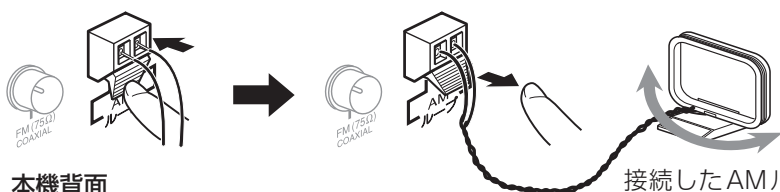
アンテナの接続

▶ AMループアンテナ（付属品）を接続する

AMループアンテナを組み立てる

アンテナ線の先端にビニールがついているときは、ねじりながら抜き取ります。

ご注意

AMループアンテナは、アンテナ線が枠に巻かれた状態のままお使いください。
枠からはずすとアンテナの効果がなくなり、感度が悪くなります。

AMループアンテナを接続する

本機背面

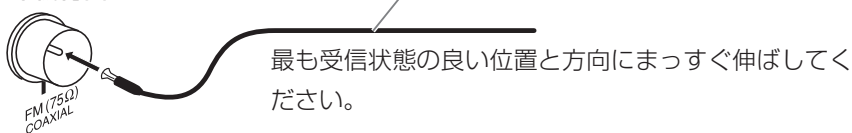
接続したAMループアンテナを左右に回し、最も受信状態の良い方向に向けて置きます。

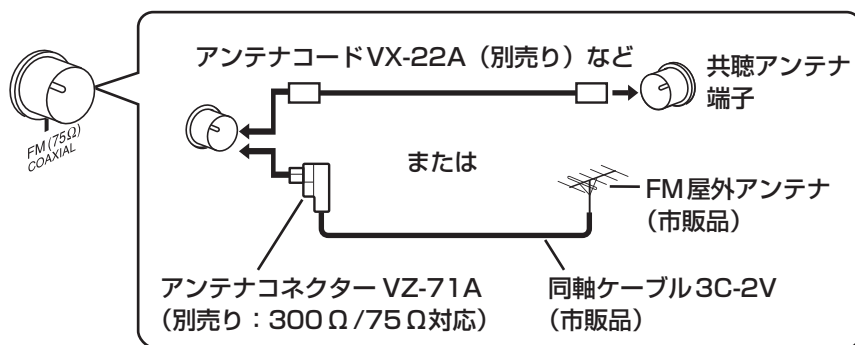
お知らせ

アンテナ線が他の端子に触れないようにご注意ください。受信の妨げになることがあります。

▶ FM簡易型アンテナ（付属品）を接続する

本機背面

FM簡易型アンテナ

最も受信状態の良い位置と方向にまっすぐ伸ばしてください。

付属のFM簡易型アンテナではうまく受信できないときや、マンションなどの壁の共聴アンテナ端子を使うとき

電波状況によっては、FMフィーダーアンテナ：CN-511A（別売り：300 Ω対応）がご利用になれます。この場合もアンテナコネクターVZ-71A（別売り）が必要です。

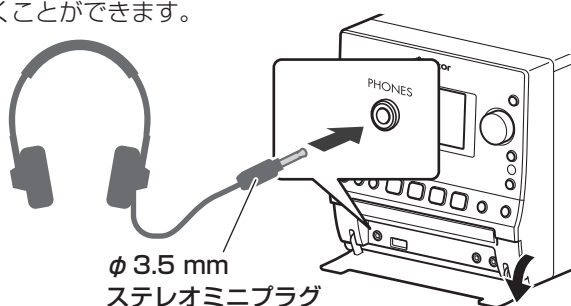
お知らせ

- 付属品以外のアンテナを接続する際の詳細については、アンテナおよびアンテナコネクターの取扱説明書を参照してください。
- アンテナの設置場所を決めるときは、実際の放送を聞きながら行なってください。（➡ **24**ページ「ラジオを聞く」）

ヘッドホンの接続

ヘッドホン（別売り）を接続して聞くことができます。

ご注意

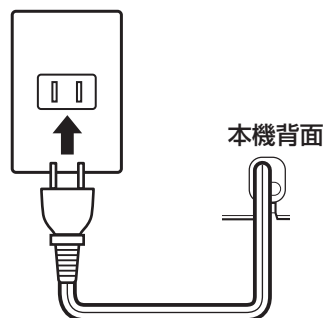
- ヘッドホンを使用するときは、音量を上げすぎないでください。
- ヘッドホンを接続すると、スピーカーから音が出なくなります。

電源プラグの接続

電源プラグは、すべての接続が終わってから差し込んでください。

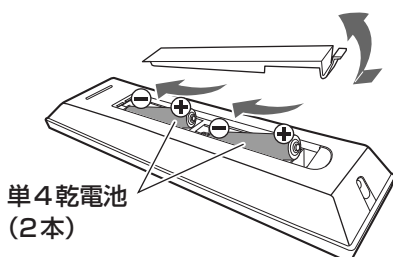
お知らせ

電源プラグを抜いたり、停電したときは、時計の設定はお買い上げ時の状態に戻ります（タイマーの設定内容は保持されます）。それ以外の設定は電源が切れても記憶されます。

ご注意

動作中にいきなり電源プラグを抜くと、記録されている音楽データが破損することがあります。必ず電源ボタンを押して電源を切ってから、電源プラグを抜いてください。

リモコンに電池を入れる

ご注意

- 付属の乾電池は動作確認用です。早めに新しい乾電池と交換してください。
- 乾電池は、「安全上のご注意」（➡**8**～**11**ページ）をお読みの上、正しくお取り扱いください。
- 落としたりぶつけたりなど、リモコンに強い衝撃を与えないでください。

▶ リモコンを使うには

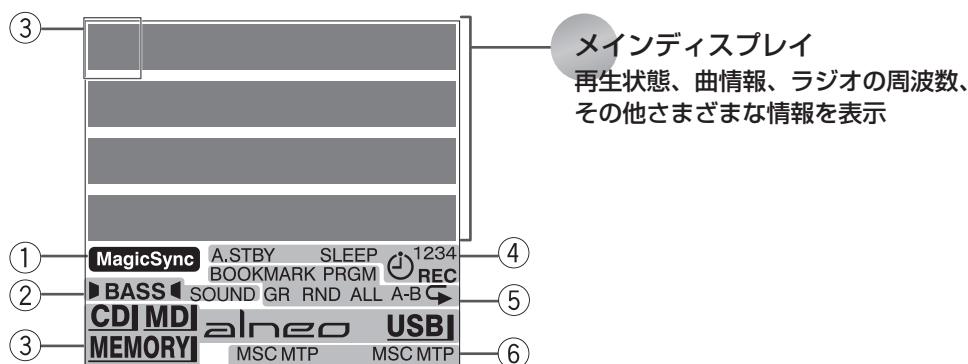
- リモコンを使うときは、本体正面に向けて操作してください。
- 操作が可能な距離は本体のリモコン受光部から約5m以内です。
- 操作範囲が狭くなったり、本体に近づけないと操作できなくなったりしたときは、新しい乾電池と交換してください。

各部の名前とはたらき

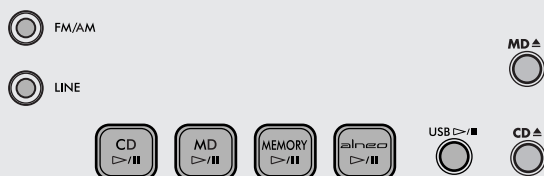
リモコン

本体

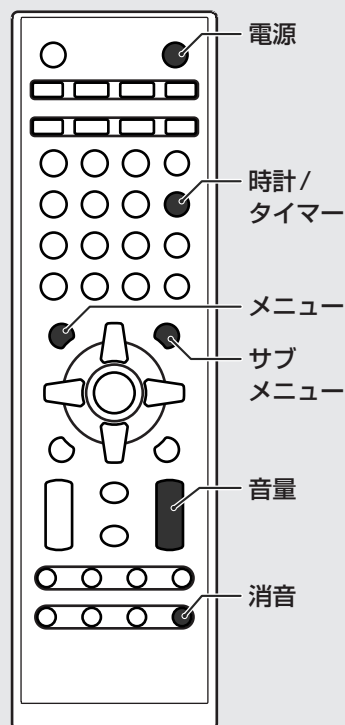
表示窓
(➡18ページ)
MD挿入口
(➡27ページ)
電源ボタン
電源の入り／切り
(➡19ページ)
[選曲]
「ミュージック」
メニューの表示
[マジックシンク]
曲情報の取得
(➡58ページ)
[FM/AM]
(➡24ページ)
[LINE]
(➡41ページ)
[録音]
録音の開始
(➡67～79ページ)
基本操作部
[⏮][⏭] 曲の頭出し、
早送り／早戻し
[■] 停止
ソース（音源）
ボタン
CD トレイ
アルネオ端子
アルネオ XA-V シリーズを接続
(➡38ページ)
[メニュー]
・メニューの表示
・一つ前に戻る
(➡21ページ)
[音量／スクロール]
・音量の調節（➡19ページ）
・メニュー表示時：メニューの
上下スクロール（➡21ページ）
[決定]
リモコン受光部
MD取り出しボタン
CD取り出しボタン
LINE IN/OUT端子
LINE IN端子：
外部機器を接続（➡41ページ）
LINE OUT端子：
本機の音声をデジタルオーディオプレーヤーや他のオーディオ機器に録音するときは、別売のステレオミニプラグコードで本機のLINE OUT 端子と接続機器の音声入力端子を接続してください。
PHONES端子
ヘッドホンを接続（➡15ページ）
USB端子
USB機器を接続
(➡34ページ)
Victor
PHONES
USB
PULL-OPEN

表示窓

①曲情報	MagicSync	MagicSync（曲情報の取得）が可能なときに点灯（➡**58**ページ）
②音質	BASS	重低音を強調（➡**43**ページ）
	SOUND	音に効果を持たせる（サウンドモード）（➡**43**ページ）
③再生ソース（音源）	/ CD	CDを聞く（➡**22**ページ）
		ラジオを聞く（➡**24**ページ）
	/ MD	MDを聞く（➡**27**ページ）
	/ MEMORY	内蔵メモリーを聞く（➡**29**ページ）
	/ USB	USB機器を聞く（➡**32**ページ）
	/ alneo	アルネオを聞く（➡**38**ページ）
		外部機器を聞く（➡**41**ページ）
④時計・タイマー	SLEEP	スリープタイマー（➡**101**ページ）
	1234	再生タイマー（➡**105**ページ）
	1234 REC	録音タイマー（➡**102**ページ）
	A.STBY	オートスタンバイ（➡**101**ページ）
⑤再生方法	BOOKMARK	ブックマーク（➡**53**ページ）
	PRGM	プログラム再生（➡**50**ページ）
	/ ALL	リピート再生（➡**44**ページ）
	A-B	A-Bリピート再生（➡**44**ページ）
	RND	ランダム再生（➡**45**ページ）
	GR	グループ再生（➡**46**ページ）
⑥USBモード	MTP	USBモード（➡**33**、**40**ページ）
	MSC	

電源を入れる / 切る

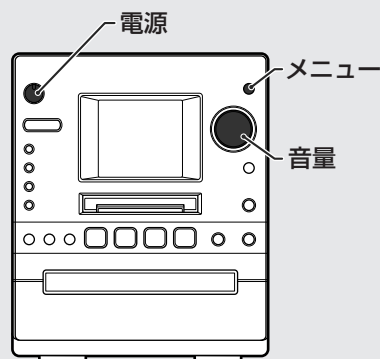
1

［CD ▲］［MD ▲］以外のボタンを押したときは、再生も始まります。

音量を調節する

1

• 0 ～ 40の範囲で調節できます。

▶ 音を一時的に消す

• もう一度押すと元の音量に戻ります。

時計を合わせる

1 ［時計/タイマー］を押す

時計/タイマー
時計設定
タイマー 1　[--]
タイマー 2　[--]

2 「時計設定」➔「時刻合わせ」を選び、［決定］を押す

時計設定
時刻合わせ
12/24h

3 ［◄］［►］で設定する項目にカーソルを合わせ、［▲］［▼］で「時」「分」「曜日」を合わせる

- AM/PM表示は、24時間表示に設定しているときは表示されません。

4 ［決定］を押す

時計設定
時刻合わせ
12/24h

「時計設定」（手順2）の画面になります。

5 ［メニュー］を2秒押しつづける

再生画面に戻ります。

お知らせ

- メニュー操作の詳細については右ページをご覧ください。
- 操作の途中で［メニュー］を押すと、1つ前の手順に戻ります。
- 操作の途中で［キャンセル］を押すと、再生画面に戻ります。（設定内容は取り消されます。）
- 「メニュー」➔「設定」➔「共通設定」➔「時計/タイマー」からも時計を設定できます。
- 月に1分程度のずれが生じます。定期的に時計を合わせ直してください。
- 電源プラグが抜かれたり、停電したときは、時計の設定はお買い上げ時の状態に戻ります。時計を合わせ直してください。
- 録音中および電源が切れているときは、時計の設定はできません。

▶ 12時間表示/24時間表示を切り換えるには

上記の手順2で「時計設定」➔「12/24h」を選んで設定します。

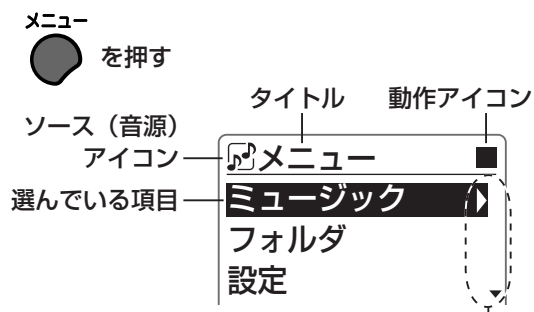
メニュー / サブメニューを操作する

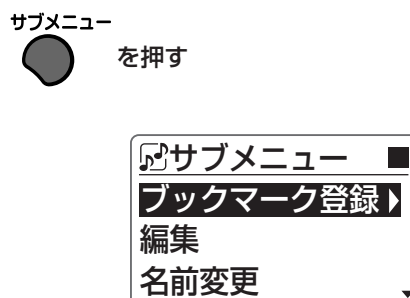
本機には、メニューとサブメニューがあります。
メニューからは、選曲や、各種設定などができます。
サブメニューからは、そのとき選択されている項目に対して、名前の変更、移動などの操作ができます。
メニュー、サブメニューの表示内容は、ソース（音源）や再生状態によって変わります。

・メニュー項目の一覧（➡ **113**ページ）
・サブメニュー項目の一覧（➡ **121**ページ）

メニュー／サブメニューを表示する

▶ メニューを表示する

メニュー を押す

▶ サブメニューを表示する

サブメニュー を押す

▲ 見えていない項目が上にあるときに表示します。
▼ 見えていない項目が下にあるときに表示します。
▶ 次の選択項目があるときに表示します。

メニュー／サブメニューを操作する

操作		リモコン	本体
項目を選ぶ		▲ ▼	音量/スクロール
次の選択項目を表示する		決定 または ▶	決定
1つ前に戻る			
	メニュー	メニュー または ◀	メニュー
	サブメニュー	サブメニュー または ◀	—
選択を決定		決定	決定
メニューから再生画面に戻る		メニュー 2秒押しつづける	メニュー 2秒押しつづける
サブメニューから再生画面に戻る		キャンセル *	—

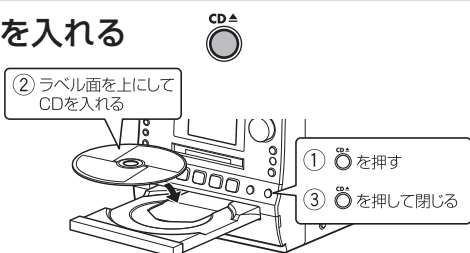
お知らせ

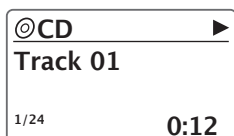
この取扱説明書では、メニュー・サブメニューの項目を「選ぶ」と書いてある場合､その項目を「色が反転した状態にする」ことを表しています。

お知らせ

* 名前変更（➡ **83**ページ）をしているときは、［キャンセル］を押すと文字が削除されます。
再生画面に戻るには■を押してください。

CDを聞く

1 CDを入れる

2 [CD] を押す

再生が始まります。

頭出し（スキップ）

現在の曲の頭出し　：[|◀◀] を押す
前の曲の頭出し　　：[|◀◀] を2回押す
次の曲の頭出し　　：[▶▶|] を押す

早戻し・早送り

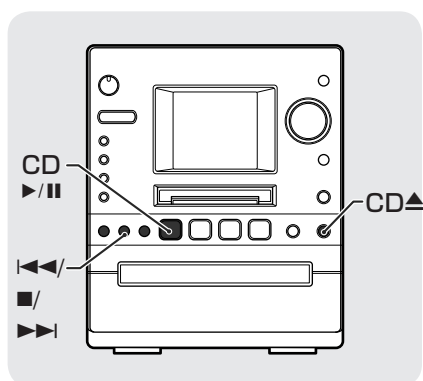
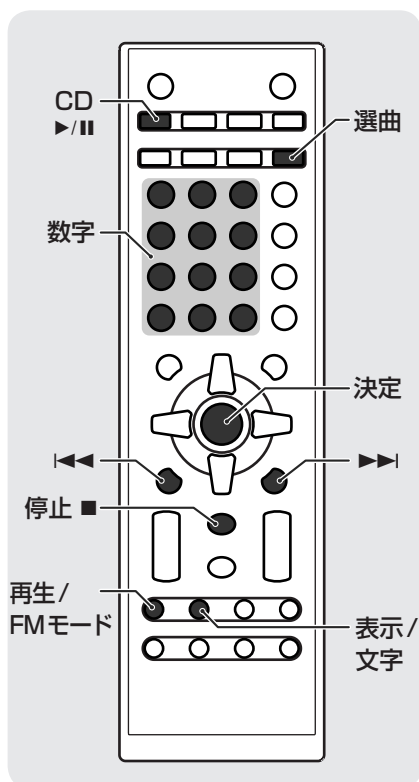
早戻し：[|◀◀] を押しつづける
早送り：[▶▶|] を押しつづける

停止：[停止 ■] を押す

トラック番号を直接指定する

「3」を選ぶ：　③を押す
「10」を選ぶ：　⑩を押す
「20」を選ぶ：　≧10→②→⓪と押す
「23」を選ぶ：　≧10→②→③と押す

お知らせ

再生を停止すると、次の再生は再び1曲目から始まります。

▶ トラックの一覧から曲を選ぶ

1 [決定] を押す

トラックの一覧が表示されます。

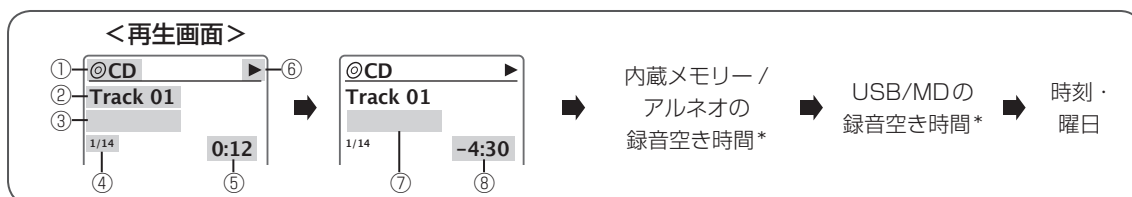
2 曲を選び、[決定] を押す

選んだ曲から再生が始まります。

お知らせ

- 「メニュー」➔「ミュージック」➔「トラック」からもトラックの一覧を表示できます。
- 「選曲」➔「トラック」からもトラックの一覧を表示できます。

▶ 画面表示

［表示/文字］を押すと、時刻表示や録音空き時間などに表示を切り換えることができます。

①ソース（音源）名
②曲名（曲情報がないときはTrack01、Track02…表示）
③アーティスト名（曲情報がないときは表示なし）
④トラック番号/トラック総数（停止時：トラック総数）
⑤再生経過時間（停止時：総再生時間）
⑥動作アイコン（▶：再生、■：停止、❚❚：一時停止、▶▶：早送り、◀◀：早戻し）
⑦アルバム名（曲情報がないときは表示なし）
⑧再生中の曲の残り時間

* 録音先のMD/USB機器/アルネオがないときは、録音空き時間は「-:- -」と表示されます。

再生できるディスクについて

ご注意

- ディスクの特性・記録状態・傷・汚れ、またはプレーヤーのレンズ汚れ・結露などにより再生できないことがあります。
- CDテキストの表示には対応していません。

ディスクの種類	説明
音楽CD COMPACT disc DIGITAL AUDIO	CD-DA • CDロゴマークの有無や、パッケージのご注意をお読みになり、CD規格に準拠したディスクであることをお確かめください。
CD-R/RW COMPACT disc DIGITAL AUDIO ReWritable / COMPACT disc DIGITAL AUDIO Recordable	音楽CDフォーマットで作成したCD

【音楽CDについて】

CD-DA規格に準拠していないCDは動作の保証はできません。

【CD-R/RWについて】

- CD-R/RWディスクを使用されるときは、ディスクの使用上のご注意をよくお読みください。
- パケットライト方式（UDFフォーマット）で記録されたディスクは再生できません。
- ファイナライズ処理されていないディスクは再生できません。
- 記録フォーマットについては、お手持ちのCD-R/RWドライブまたは記録用ソフトウェアの取扱説明書をご覧ください。

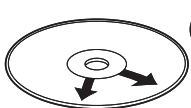
▶ CDの取り扱いかた

- CDにテープやシールなどを張ったり字を書いたりしないでください。
- CDは曲げないでください。
- ハートや花などの形をしたシェイプCD（特殊形状のCD）は、絶対に使用しないでください。故障の原因となります。

▶ CDのお手入れ

ほこりやゴミ、指紋などを柔らかい布でふきとってください。

ご注意

シンナーやベンジンなどは絶対に使用しないでください。

必ず内側から外側へ。

連続したキズは音飛びの原因となります。

ラジオを聞く

FMまたはAMを受信します。

1 [FM/AM] をくり返し押して、「FM」または「AM」を選ぶ

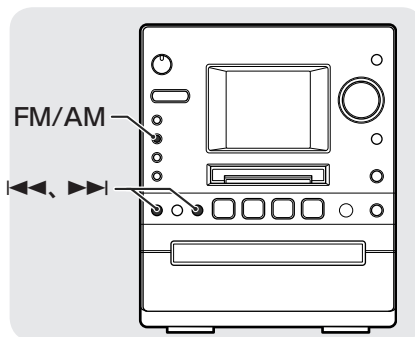
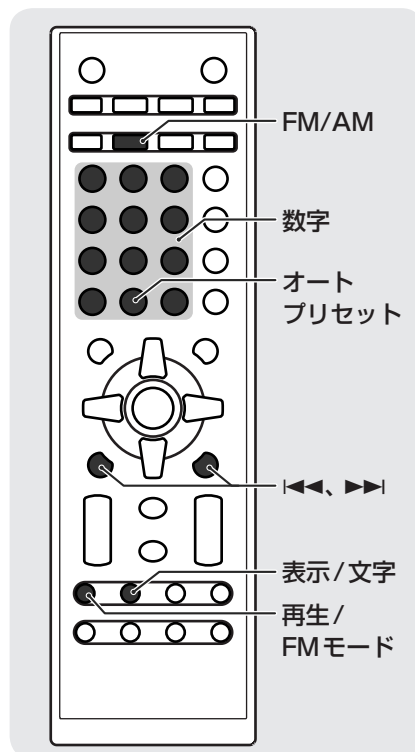
2 放送局を選ぶ

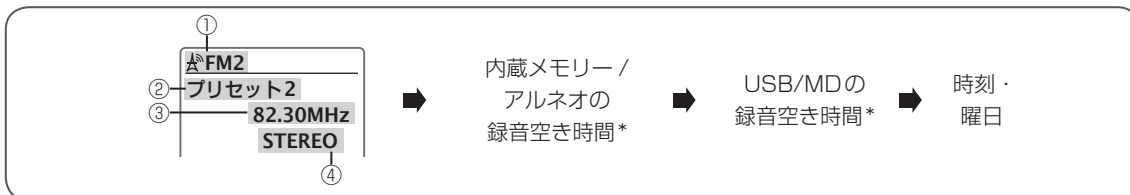
[|◀◀] または [▶▶|] を押しつづけ、周波数が変わり始めたら離してください。
受信できる放送局が見つかると、自動的に止まります。

FM
82.30MHz
STEREO

- [|◀◀] または [▶▶|] をくり返し押すと、周波数がFMでは0.10 MHzずつ、AMでは9 kHzずつ変わります。

お知らせ

本機はAMステレオ放送には対応していません。

▶ 画面表示

[表示/文字] を押すと、時刻表示や録音空き時間などに表示を切り換えることができます。

①バンド（AM：AM放送、FM：FM放送）名、
　プリセット番号（マニュアル選局時：表示なし）
②放送局名（未設定時：プリセット番号）
③周波数
④FMモード

* 録音先のMD/USB機器/アルネオがないときは、録音空き時間は「-:- -」と表示されます。

ラジオ局を登録する（プリセット）

FMを最大30局、AMを最大15局まで登録することができます。

▶ 自動で登録する（オートプリセット）

1 [FM/AM]をくり返し押して、「FM」または「AM」を選ぶ

FM
82.30MHz
STEREO

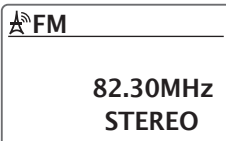
2 [オートプリセット]を押しつづける

「オートプリセットを開始しますか？」と表示されるまで押しつづけてください。

FM
オートプリセット
を開始しますか？
はい　いいえ

3 「はい」を選び、[決定]を押す

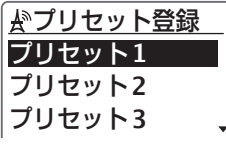
選局が始まり、受信できる放送局の低い周波数から順番に登録されます。

FM
オートプリセット
82.30MHz
2

- 登録が終了すると、プリセット番号1に登録されたラジオ局が受信されます。

▶ 手動で登録する

1 登録したいラジオ局を受信する

➡ 24ページ

FM
82.30MHz
STEREO

2 [サブメニュー]を押す

サブメニューが表示されます。

サブメニュー
プリセット登録

3 「プリセット登録」を選び、[決定]を押す

プリセット登録リストが表示されます。

プリセット登録
プリセット1
プリセット2
プリセット3

4 登録したいプリセット番号を選び、[決定]を押す

「プリセットに登録しました」と表示され、登録したプリセット番号の受信画面になります。

FM 3
プリセット3
82.30MHz
STEREO

お知らせ

- オートプリセットの操作はFM、AMのそれぞれについて行なってください。
- FMでオートプリセットを実行すると、それまでのFM局の登録は全て削除されます。AMでオートプリセットを実行すると、それまでのAM局の登録は全て削除されます。
- ソース（音源）がFMまたはAMのときに、「メニュー」➔「オートプリセット」からも登録できます。
- オートプリセットでFMのラジオ局を登録すると、FMモードは全て「オート」になります。（➡ 26ページ）
- 雑音の多いラジオ局も登録されることがあります。このようなときは、手動で登録し直してください。

お知らせ

手動でラジオ局を登録したときは、FMモードも記憶されます。（➡ 26ページ）

▶ プリセット登録したラジオ局を選ぶ

1　FMまたはAM受信中に、数字ボタンで聞きたいラジオ局のプリセット番号を押す

FM 3
プリセット3
82.30MHz
STEREO

「3」を選ぶ：　③を押す
「10」を選ぶ：　⑩を押す
「23」を選ぶ：　≧10→②→③と押す

お知らせ

- 「メニュー」→「プリセットチャンネル」からもプリセット登録したラジオ局を選べます。
- 受信中に［決定］を押すと、プリセット登録したラジオ局の一覧が表示されます。聞きたいラジオ局を選んで［決定］を押すとその局を受信できます。

プリセット登録したラジオ局に名前を付ける

プリセット登録したラジオ局を受信したときに、ラジオ局名などを表示させることができます。

1　名前を付けたい局を受信する

FM 3
プリセット3
82.30MHz
STEREO

ご注意

⏮/⏭でラジオ局を選んだときは名前を付けることはできません。数字ボタンで選局してください。

2　［サブメニュー］を押す

サブメニューが表示されます。

サブメニュー
プリセット登録
プリセット名変更

3　「プリセット名変更」を選び、［決定］を押す

プリセット名変...
プリセット名入力
|
[A]

4　ラジオ局名を入力し、［決定］を押す

FM3
変更しました

- 文字入力の方法は、「文字入力のしかた」（➡ 83ページ）をご覧ください。

お知らせ

ラジオ局名を入力後、再度オートプリセットや手動プリセットを行うと、局名は削除されます。

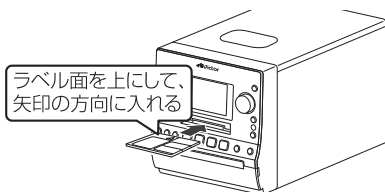
FMモードを切り換える

FMステレオ放送が雑音で聞きにくいときは、音声をモノラルにすると聞きやすくなることがあります。
［再生/FMモード］を押すごとに、FMモードが次のように切り換わります。

設定	表示窓
●オート	STEREO（ステレオ受信時）
モノラル	MONO

●：お買い上げ時の設定

MDを聞く

1 本機の電源を入れ、MDを入れる

ご注意

電源が切れているときにMDを入れないでください。
無理に押し込むと、故障の原因となります。

2 ［MD］を押す

MD ▷/II

再生が始まります。

MD ▶
Track001
1/46
G1 SP
0:38

頭出し（スキップ）

現在の曲の頭出し　：［|◀◀］を押す
前の曲の頭出し　　：［|◀◀］を２回押す
次の曲の頭出し　　：［▶▶|］を押す

早戻し・早送り

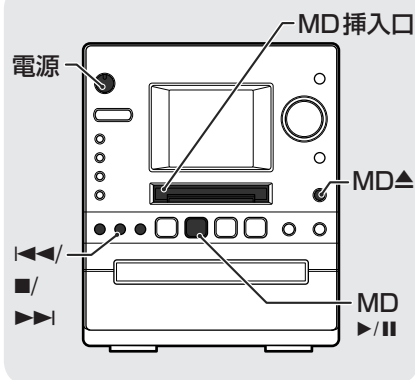
早戻し：［|◀◀］を押しつづける
早送り：［▶▶|］を押しつづける

グループスキップ

次のグループにスキップする：グループスキップ ▶ >>|

前のグループにスキップする：グループスキップ |<< ◀

停止：［停止 ■］を押す

MDの取り出し：MD⏏

トラック番号を直接指定する

「3」を選ぶ：　③を押す
「10」を選ぶ：　⑩を押す
「20」を選ぶ：　≧10→②→⓪と押す
「23」を選ぶ：　≧10→②→③と押す
「123」を選ぶ：　≧10→≧10→①→②→③と押す

お知らせ

再生を停止すると、次の再生は再び１曲目から始まります。

▶ トラックの一覧から曲を選ぶ

1 **［決定］を押す**

トラックの一覧が表示されます。

トラック
Silent Night
Track002
VACATION!

2 **曲を選び、［決定］を押す**

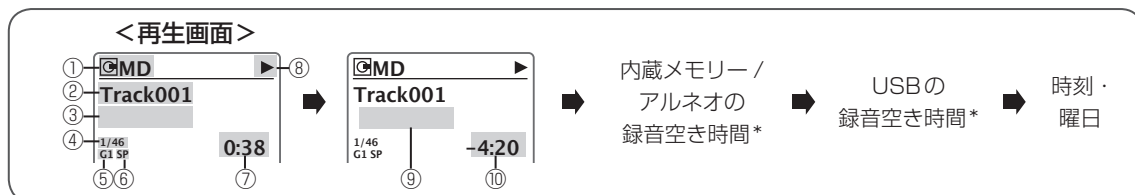
選んだ曲から再生が始まります。

お知らせ

- 「メニュー」➔「ミュージック」➔「トラック」からもトラックの一覧を表示できます。
- 「選曲」➔「トラック」からもトラックの一覧を表示できます。
- 「メニュー」➔「ミュージック」➔「グループ」または「選曲」➔「グループ」を選ぶと、グループの一覧を表示できます。

▶ 画面表示

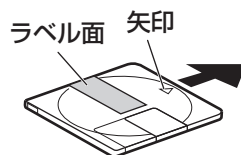
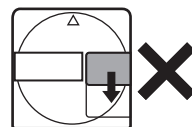
表示/文字

［表示/文字］を押すと、時刻表示や録音空き時間などに表示を切り換えることができます。

①ソース（音源）名
②曲タイトル（曲タイトルがないときはTrack001、Track002…表示）
③ディスクタイトル名（ディスクタイトル名がないときは表示なし）
④トラック番号/トラック総数（停止時：トラック総数）
⑤グループ番号（停止時：グループ総数、グループに登録されていないときは表示なし）
⑥録音品質（停止時：表示なし）
⑦再生経過時間（停止時：総再生時間）
⑧動作アイコン（▶：再生、■：停止、II：一時停止、▶▶：早送り、◀◀：早戻し）
⑨グループタイトル名（グループタイトル名がないときはGroup01、Group02…表示、グループに登録されていないときは表示なし）
⑩再生中の曲の残り時間

* 録音先のUSB機器/アルネオがないときは、録音空き時間は「-:- -」と表示されます。

MDの取り扱いについて

- シャッターは開けないでください。無理に開けようとすると、MDが壊れます。

- 曲名などを記入したラベルは、指定の場所以外には貼らないでください。ラベルエリアよりはみ出したり、はがれかかったままMDを使用すると、故障の原因となります。
- MDは△などの矢印に従って正しく入れてください。間違った方向で挿入すると、故障の原因となります。

内蔵メモリーを聞く

本機には2GBのフラッシュメモリーが内蔵されています。CD、MD、ラジオなどから内蔵メモリーに音楽を録音して、いつでも聞くことができます。

▶ 準備

内蔵メモリーに曲を録音する

➡61 ～ 80ページをご覧ください。

1 ［MEMORY］を押す

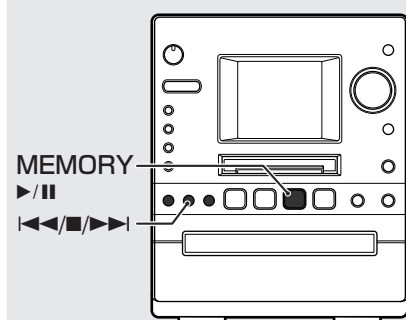
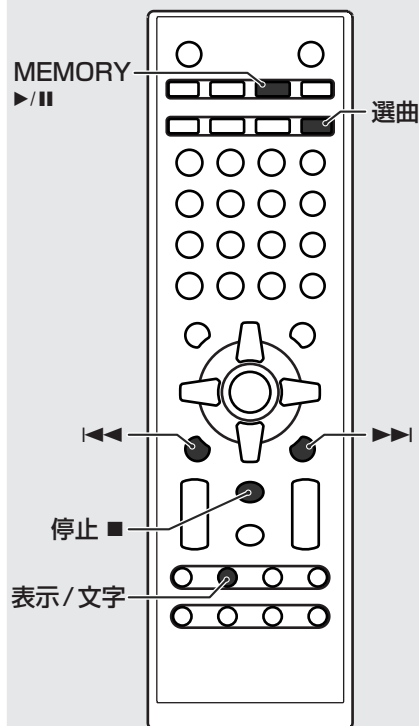
再生が始まります。

頭出し（スキップ）

現在の曲の頭出し　：［I◄◄］を押す
前の曲の頭出し　　：［I◄◄］を２回押す
次の曲の頭出し　　：［►►I］を押す

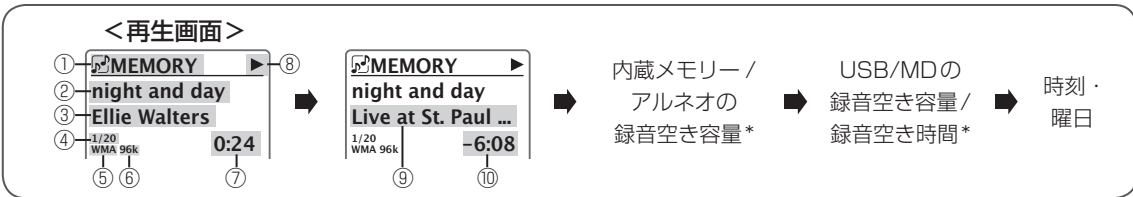
早戻し・早送り

早戻し：［I◄◄］を押しつづける
早送り：［►►I］を押しつづける

停止：［停止 ■］を押す

お知らせ

再生を一度停止すると、次の再生は前回聞いていた曲の頭から始まります。

▶ 画面表示

［表示/文字］を押すと、時刻表示や録音空き容量などに表示を切り換えることができます。

①ソース（音源）名
②曲名（曲情報がないときは、Track001表示）
③アーティスト名（曲情報がないときは録音元ソース名表示）
④トラック番号/トラック総数
⑤録音圧縮方式
⑥録音品質（ビットレート）（WAVファイルのときは表示なし）
⑦再生経過時間
⑧動作アイコン（▶：再生、■：停止、⏸：一時停止、▶▶：早送り、◀◀：早戻し）
⑨アルバム名（曲情報がないときはAlbum001）
⑩再生中の曲の残り時間

* 録音先のMD/USB機器/アルネオがないときは、録音空き容量/録音空き時間は「-:- -」または「---MB」と表示されます。

アルバム、アーティストなどの情報から曲を探す

1 ［選曲］を押す

「ミュージック」メニューが表示されます。

2 曲を探す

曲情報を利用して、いくつかの方法で曲を探すことができます。

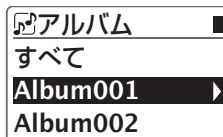
アルバム
すべて
Album001
Album002

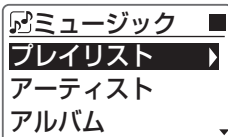
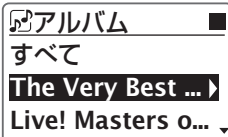
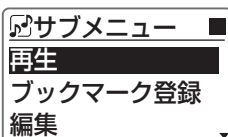
リスト項目	表示と構成
アーティスト	アーティストごとに表示します。 「アーティスト名」➔「アルバム名」➔「曲名」
アルバム	アルバムごとに表示します。 「アルバム名」➔「曲名」
ジャンル	ジャンルごとに表示します。 「ジャンル名」➔「曲名」
トラック	すべてのトラックを名前順に表示します。

3 曲を選び、［決定］を押す

選んだ曲から再生が始まります。

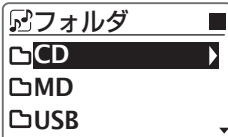
お知らせ

「メニュー」➔「ミュージック」からも「ミュージック」メニューを表示できます。

お知らせ

- アーティスト名は録音元のソース（音源）名になっていることがあります。（➡ 65ページ）
- 「アーティスト」で「すべて」を選ぶと、全ての曲がアーティスト名順（同一アーティストの中ではアルバム名順）に表示されます。
  「アルバム」または「ジャンル」で「すべて」を選ぶと、全ての曲がアルバム名順またはジャンル名順に表示されます。

お知らせ

アーティスト、ジャンル、トラックはおおむねアルファベット順に再生します。
アルバムはトラック番号順に再生します。

▶ あるアーティストの曲、あるアルバムの曲、あるジャンルの曲をすべて聞くには

お知らせ

「メニュー」➔「ミュージック」からも「ミュージック」メニューが表示できます。

1 **［選曲］を押す**

「ミュージック」メニューが表示されます。

ミュージック
プレイリスト
アーティスト
アルバム

2 **聞きたいアーティスト、アルバム、またはジャンルを選ぶ**

例：アルバムを選ぶ場合
① ［▲］［▼］で「アルバム」を選び、［決定］を押す
② ［▲］［▼］で聞きたいアルバムを選ぶ

アルバム
すべて
The Very Best ...
Live! Masters o...

例：アルバムを選んだ場合

3 **［サブメニュー］を押す**

サブメニューが表示されます。

サブメニュー
再生
ブックマーク登録
編集

お知らせ

再生中に［◀］［▶］を押すと、手順2で選んだ項目に応じて、前後のアーティスト、アルバム、ジャンルに移動します。

4 **「再生」を選び、［決定］を押す**

選んだ項目に含まれる曲が再生されます。

録音元のソース（音源）から曲を探す

1 **「メニュー」➔「フォルダ」を選び、［決定］を押す**

録音元のソース（音源）名の一覧が表示されます。

お知らせ

録音元のソース名のついたフォルダの中にさらに別のフォルダが含まれていることがあります。この場合は、目的のファイルを含むフォルダを選び、［決定］を押すと、そのフォルダの内容が表示されます。

2 **再生したいファイルを選び、［決定］を押す**

選んだ曲から再生が始まります。

USB機器を聞く

再生できるUSB機器について

▶ USBフラッシュメモリー

MSC（USBマスストレージ規格）に対応している機器

▶ デジタルオーディオプレーヤー

MSC（USBマスストレージ規格）またはMTPに対応し、Microsoft® Windows Media® Playerで音楽ファイルを転送できるプレーヤー

● 当社製デジタルオーディオプレーヤー 対応機種

種類	対応USB形式
XA-C210/C110/C51、XA-C109/C59、XA-Vシリーズ	MTP/MSC
XA-S/XA-F/XA-E/XA-MPシリーズ	MSC

XA-Vシリーズは本機上部のアルネオ端子に直接接続することもできます。
➡ **38**ページ

他社製品の動作確認済みモデルについてはホームページ（http://www.jvc-victor.co.jp/support/qa.html）をご覧ください。

お知らせ

- Microsoft® Windows Media® Player以外の楽曲管理ソフトで音楽ファイルを管理しているデジタルオーディオプレーヤー内の曲（ファイル）を本機にUSB接続して再生することはできません。本機のLINE IN端子に接続して再生してください。
- すべての機器についての動作を保証するものではありません。

USB機器で再生できるファイルについて

フォーマット	拡張子
MP3（8kbps ～ 320kbps、8kHz ～ 48kHz、VBR*）	「.MP3」「.mp3」
WMA/WMA-DRM（8kbps ～ 320kbps、8kHz ～ 48kHz、VBR*）	「.WMA」「.wma」
WAV（16bit、リニアPCM、8kHz ～ 48kHz/IMA-ADPCM）	「.WAV」「.wav」
AAC（16 kbps ～ 320 kbps、44.1 kHz・48 kHz、VBR*）	「.M4A」「.m4a」

* VBR：可変ビットレート

お知らせ

- サンプリング周波数とビットレートの組み合わせによっては、正常に再生できない場合があります。
- 本機は、MP3iおよびMP3 PROファイルには対応していません。
- WMA LosslessおよびボイスにはT対応していません。

AACファイルについて

- iTunesを使って作成したAACファイルを再生できます。
- iTunes Storeで購入した曲は再生できません。
- iTunesは、米国およびその他の国で登録されているApple Inc.の商標です。

▶ データ数の制限について

最大再生対応ファイル数	：	5000
1フォルダあたりの最大ファイル数	：	999
ファイルとフォルダの最大総数	：	20000
最大フォルダ階層数	：	7

▶ WAVファイル、AACファイルを再生するには

WAVファイル、AACファイルを再生するには、本機と接続機器をMSC（USBマスストレージ規格）接続する必要があります。
接続するデジタルオーディオプレーヤーがMTPとMSCの両方に対応している場合は、「本機のUSBモードを変更する」（➡ 下記）の手順で本機のUSBモードを「MSC」に変更してください。

▶ WMA-DRM（著作権保護付き）ファイルをデジタル再生するには

お知らせ
XA-C109/C59については、ファームウェアをVer.1.03.0641以降にバージョンアップする必要があります。以下のホームページの説明にしたがって、バージョンアップを行なってください。
http://www.jvc-victor.co.jp/download/dap/index.html

WMA-DRM（著作権保護付き）をデジタル再生するには、接続するUSB機器と接続される機器が両方ともデジタルメディアストリーミングに対応している必要があります。本機はデジタルメディアストリーミングに対応しています。

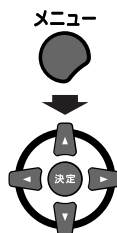
デジタルメディアストリーミング対応機種
弊社製デジタルオーディオプレーヤー：XA-C210/C110/C51、XA-C109/C59、XA-Vシリーズ

デジタルオーディオプレーヤーを接続してWMA-DRMファイルを再生するには
本機とデジタルメディアストリーミング対応のデジタルオーディオプレーヤーを接続してWMA-DRMファイルを再生するには、本機のUSBモードを「オート」にしてMTPで接続する必要があります。（「本機のUSBモードを変更する」➡ 下記）

本機のUSBモードを変更する

ご注意
USBモードを切り換えるときは、USB機器をはずしてから操作してください。USB機器を接続中は、USBモードの切り換えはできません。

1 ソース（音源）をUSBにする
① [USB] を押す
② [■] を押す

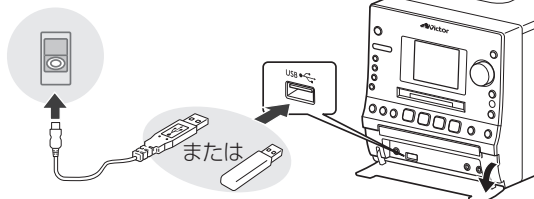
2 「メニュー」
➔「設定」
➔「USB設定」
➔「接続モード」を
選び、[決定] を押す

USB設定
再生設定
録音設定
接続モード

3 「オート」または「MSC」を選び、[決定] を押す

オート：MSC接続とMTP接続を自動的に切り換えます。（MTP優先）
MSC：MSCで接続します。

現在の接続モードが表示されます

USB機器を聞く

1 USB機器を接続する

2 [USB] を押す

再生が始まります。

頭出し（スキップ）

現在の曲の頭出し　：[|◀◀] を押す
前の曲の頭出し　　：[|◀◀] を2回押す
次の曲の頭出し　　：[▶▶|] を押す

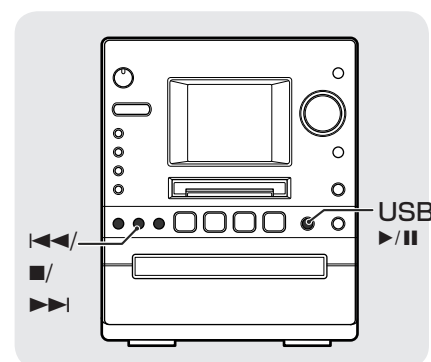
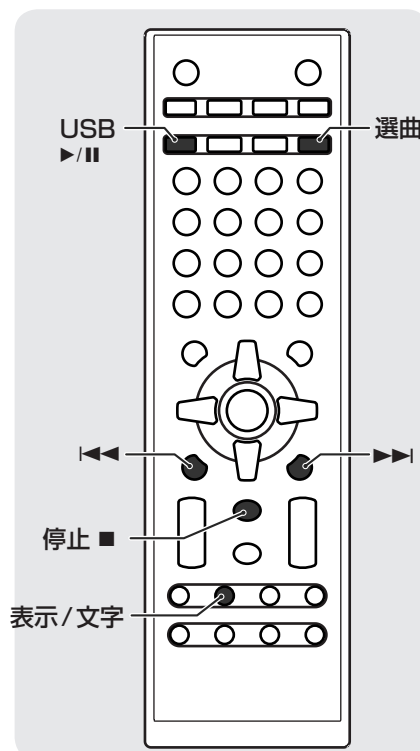
早戻し・早送り

早戻し：[|◀◀] を押しつづける
早送り：[▶▶|] を押しつづける

• デジタルオーディオプレーヤーによっては、早送り・早戻しの操作ができないことがあります。

停止：[停止 ■] を押す

お知らせ

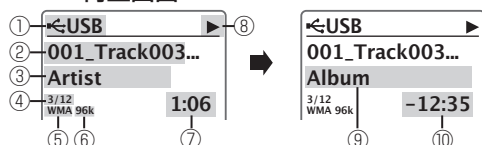
再生を停止すると、次の再生は前回聞いていた曲の頭から始まります。

▶ 画面表示

[表示/文字] を押すと、時刻表示や録音空き容量などに表示を切り換えることができます。

①ソース（音源）名
②曲名（曲情報がないときは、Track001表示）
③アーティスト名
④トラック番号/トラック総数
⑤録音圧縮方式
⑥録音品質(ビットレート)(WAVファイルのときは表示なし)
⑦再生経過時間（停止時：「0：00」表示）
⑧動作アイコン（▶：再生、■：停止、II：一時停止、▶▶：早送り、◀◀：早戻し）
⑨アルバム名（曲情報がないときはAlbum001）
⑩再生中の曲の残り時間

* 録音先のMD/USB機器/アルネオがないときは、録音空き容量/録音空き時間は「-:- -」または「---MB」と表示されます。

アルバム、アーティストなどの情報から曲を探す

お知らせ

「メニュー」➔「ミュージック」からも「ミュージック」メニューが表示できます。

お知らせ

- 内蔵メモリーから転送した曲の場合、「アーティスト名」には録音元のソース（音源）の名前がついていることがあります。(「FM」「LINE」など。)
- 「アーティスト」で「すべて」を選ぶと、全ての曲がアーティスト名順（同一アーティストの中ではアルバム名順）に表示されます。
「アルバム」または「ジャンル」で「すべて」を選ぶと、全ての曲がアルバム名順またはジャンル名順に表示されます。

お知らせ

アーティスト、ジャンル、トラックはおおむねアルファベット順に再生します。
アルバムはトラック番号順に再生します。

1 ［選曲］を押す

「ミュージック」メニューが表示されます。

ミュージック
プレイリスト
アーティスト
アルバム

2 曲を探す

曲情報を利用して、いくつかの方法で曲を探すことができます。

リスト項目	表示と構成
プレイリスト	ブックマークに登録済みの曲および作成済みのプレイリストを表示します。➡53ページ
アーティスト	アーティストごとに表示します。「アーティスト名」➔「アルバム名」➔「曲名」
アルバム	アルバムごとに表示します。「アルバム名」➔「曲名」
ジャンル	ジャンルごとに表示します。「ジャンル名」➔「曲名」
トラック	すべてのトラックを名前順に表示します。

3 曲を選び、［決定］を押す

選んだ曲から再生が始まります。

▶ あるアーティストの曲、あるアルバムの曲、あるジャンルの曲をすべて聞くには

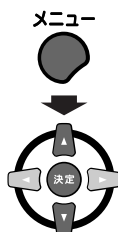
上記の手順2で聞きたいアーティスト、アルバム、またはジャンルを選び、サブメニューから「再生」を選んで［決定］を押します。

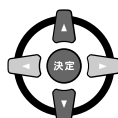
- 再生中に［◀］［▶］を押すと、手順2で選んだ項目に応じて、前後のアーティスト、アルバム、ジャンルに移動します。

フォルダから曲を探す

▶ ファイルを選んで再生する

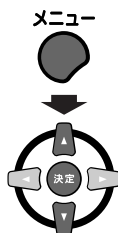
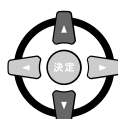
1 「メニュー」
➔「フォルダ」を選び、
［決定］を押す

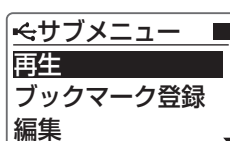
USB 機器にあるフォルダとファイルが表示されます。

2 再生したいファイルを選び、
［決定］を押す

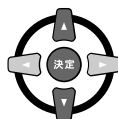
選んだ曲から再生が始まります。

お知らせ
：フォルダを示します
：ファイルを示します

▶ フォルダを選んで再生する

1 「メニュー」
➔「フォルダ」を選び、
［決定］を押す

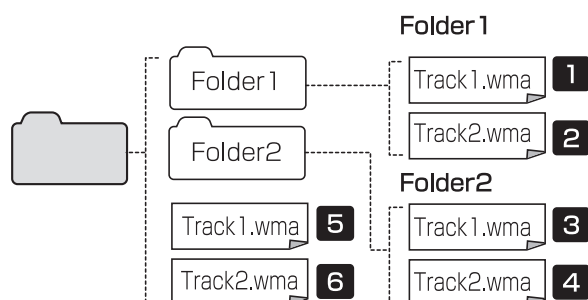
USB 機器にあるフォルダとファイルが表示されます。

2 再生したいフォルダを選ぶ

3 ［サブメニュー］を押す

サブメニューが表示されます。

4 「再生」を選び、［決定］を押す

フォルダに含まれる曲がすべて再生されます。

お知らせ
サブフォルダがある場合は、「サブフォルダを含むときの再生順序について」（➡ 37ページ）をご覧ください。

▶ サブフォルダを含むときの再生順序について

選択したフォルダにサブフォルダが含まれているときは、右のような順序で再生します。

Folder1
Folder1 Track1.wma 1
Track2.wma 2
Folder2
Folder2 Track1.wma 3
Track2.wma 4
Track1.wma 5
Track2.wma 6

▶ USB機器の接続について

- USBケーブル（市販品）を使って、本体前面のUSB端子とデジタルオーディオプレーヤー、USBフラッシュメモリーを接続することができます。
- USB機器を接続するときは、本機の電源を切ってから接続してください。
- USB機器を接続したりはずしたりするときは、必ず本機の音量を最小にしてください。
- USB機器をはずすときは、本機の動作が停止していることを確認してからはずしてください。再生中、録音中および編集中はUSB機器をはずさないでください。
- USB機器は、本機に直接接続してください。ハブを使った接続はしないでください。
- USB機器を接続するときは、USB機器の取扱説明書もご覧ください。
- 本機の電源が入っているとき、アルネオおよびUSB接続しているUSB機器（充電機能付きUSBケーブルで接続している携帯電話を含む）を充電することができます。
  本機の電源が切れているときも、スタンバイモード（➡110ページ）が「表示オン」に設定されていると、アルネオおよびUSB機器を充電できます。
- 本機のUSB（ ）端子はパソコンと接続できません。
- 接続したUSB機器の形状によっては、PHONES端子に干渉するため、ヘッドホンを接続できない場合があります。

▶ USB機器の記憶について

本機は、接続されたUSB機器を４台、アルネオを４台、計８台まで自動的に記憶することができます。一度本機が記憶したUSB機器は、次に接続したときに短時間で読み込むことができます。

- MTPで接続されたUSB機器を記憶することはできません。

お知らせ

- 次の場合は、USB機器を本機に接続したあと、本機の記憶内容を更新してください。
  - USB機器を読み込み途中ではずした場合
    読み込みが途中で中断されたため、本機の記憶内容が途中までとなり、次に接続したときにUSB機器内にある全てのファイルが読み込まれず、曲数が正しく表示されません。
  - 本機が記憶したUSB機器に、本機以外の機器でファイルの追加や削除を行った場合

  記憶内容を更新するには：

  ① ソース（音源）をUSBにする。

  ② サブメニューを表示し「最新情報に更新」を選び［決定］を押す。

  記憶内容の更新が始まります。更新が終わるとサブメニューに戻ります。
- 本機がUSB機器を４台記憶しているときに、新しく別のUSB機器を接続すると、本機が記憶している４台のうち、最も古い１台の記憶内容が削除され、新しく接続されたUSB機器が記憶されます。

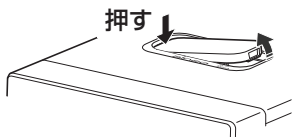
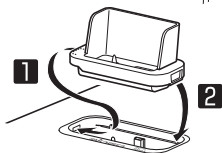
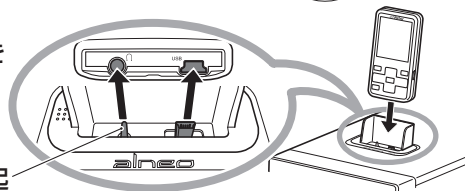
アルネオを聞く

当社製のデジタルオーディオプレーヤー「アルネオXA-Vシリーズ」(別売り)を、本機に直接接続して聞くことができます。

- 画像ファイルおよびビデオファイルは本機では再生できません。
- 他社製品には対応していませんので、接続しないでください。

1 アルネオ端子にアルネオを接続する

① **アルネオ端子のふたを取り外す**

ふたは保管してください。

② **付属のドックアダプターを本機に取り付ける**

③ **アルネオを差し込む**

2 [alneo]を押す

alneo ▶/II

再生が始まります。

⇐alneo ▶
A Dog in Heaven
AeroStones
3/63
MP3 128k 1:29

頭出し(スキップ)

現在の曲の頭出し　:[⏮] を押す
前の曲の頭出し　　:[⏮] を2回押す
次の曲の頭出し　　:[⏭] を押す

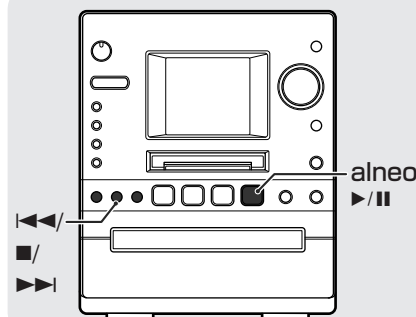
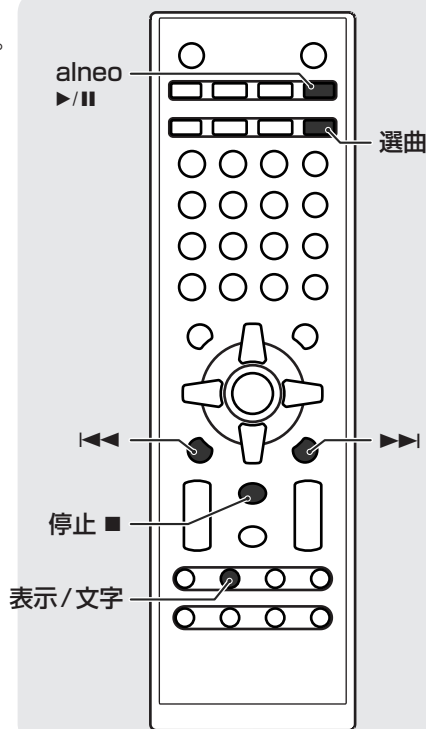
早戻し・早送り

早戻し:[⏮] を押しつづける
早送り:[⏭] を押しつづける

停止:[停止 ■] を押す

▶ アルネオを取り外すには

alneo連携モード(➡40ページ)が「オフ」の場合:
本機でアルネオの再生を停止させてから取り外してください。

alneo連携モードが「モード1」または「モード2」の場合:
ソース(音源)を「alneo」にして、本機の画面に「alneoを抜いてください」と表示されるまで[■]を押しつづけます。その後、アルネオを取り外してください。

お知らせ

- 長期間アルネオ端子を使用しないときは、ドックアダプターを取り外し、端子のふたを閉めておいてください。
- アルネオがMTPで接続(➡40ページ)されているときは、アルネオには「ジャケット表示画面」が表示されます。
- アルネオがMTPで接続されているときは、早戻し・早送りはできません。
- アルネオで再生できる音楽ファイルについては、アルネオに付属の取扱説明書をご覧ください。

▶ 画面表示

[表示/文字］を押すと、時刻表示や録音空き容量などに表示を切り換えることができます。

①ソース（音源）名
②曲名（曲情報がないときは、Track001 表示）
③アーティスト名
④トラック番号/トラック総数
⑤録音圧縮方式
⑥録音品質（ビットレート）（WAVファイルのときは表示なし）
⑦再生経過時間（停止時：「0：00」表示）
⑧動作アイコン（▶：再生、■：停止、II：一時停止、▶▶：早送り、◀◀：早戻し）
⑨アルバム名（曲情報がないときはAlbum001）
⑩再生中の曲の残り時間

* 録音先のMD/USB機器がないときは、録音空き容量/録音空き時間は「-:- -」または「---MB」と表示されます。

アルバム、アーティストなどの情報から曲を探す

お知らせ

「メニュー」➔「ミュージック」からも「ミュージック」メニューが表示できます。

お知らせ

「アーティスト」で「すべて」を選ぶと、全ての曲がアーティスト名順（同一アーティストの中ではアルバム名順）に表示されます。
「アルバム」または「ジャンル」で「すべて」を選ぶと、全ての曲がアルバム名順またはジャンル名順に表示されます。

お知らせ

アーティスト、ジャンル、トラックはおおむねアルファベット順に再生します。
アルバムはトラック番号順に再生します。

1 ［選曲］を押す

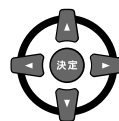
「ミュージック」メニューが表示されます。

2 曲を探す

曲情報を利用して、いくつかの方法で曲を探すことができます。

リスト項目	表示と構成
プレイリスト	ブックマークに登録済みの曲および作成済みのプレイリストを表示します。➔53ページ
アーティスト	アーティストごとに表示します。 「アーティスト名」➔「アルバム名」➔「曲名」
アルバム	アルバムごとに表示します。 「アルバム名」➔「曲名」
ジャンル	ジャンルごとに表示します。 「ジャンル名」➔「曲名」
トラック	すべてのトラックを名前順に表示します。

3 曲を選び、［決定］を押す

選んだ曲から再生が始まります。

▶ あるアーティストの曲、あるアルバムの曲、あるジャンルの曲をすべて聞くには

39ページの手順2で聞きたいアーティスト、アルバム、またはジャンルを選び、サブメニューから「再生」を選んで［決定］を押します。

お知らせ

再生中に［◀］［▶］を押すと、手順2で選んだ項目に応じて、前後のアーティスト、アルバム、ジャンルに移動します。

フォルダから曲を探す

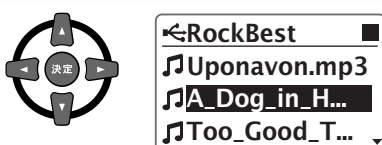
1 **「メニュー」➔「フォルダ」を選び、［決定］を押す**

アルネオに入っているフォルダとファイルが表示されます。

⇐フォルダ
RockBest
20080723
20080802

2 **再生したいファイルを選び、［決定］を押す**

選んだ曲から再生が始まります。

⇐RockBest
Uponavon.mp3
A_Dog_in_H...
Too_Good_T...

お知らせ

サブフォルダがある場合は、「サブフォルダを含むときの再生順序について」（➡ 37ページ）をご覧ください。

アルネオを接続したときの動作を設定する

1 **「メニュー」**
➔「設定」
➔「共通設定」
➔「alneo連携モード」
を選び、［決定］を押す

共通設定
MagicSync
alneo連携モード
時計／タイマー

2 **モードを選び、［決定］を押す**

alneo連携モ...
◉オフ
○モード1
○モード2

オフ： アルネオ側で設定していた再生リストや再生モードは引き継がれません。（お買い上げ時の設定）

モード1： アルネオ側で設定していた再生リストや再生モードに従って再生されます。

モード2： アルネオを接続すると、自動的に本機の電源が入り、ソース（音源）が「alneo」に切り換わります。アルネオ側で設定していた再生リストや再生モードに従って再生されます。

お知らせ

- 「モード1」または「モード2」に設定している場合は、USBモードの設定に関わらずMSCで接続されます。アルネオ上にジャケット画像は表示されません。
- USB機器の再生・録音中は、アルネオを接続してもソース（音源）は切り換わりません。
- 省電力設定（➡ 110ページ）が「表示オフ」に設定されていると、アルネオを接続しても自動的に電源は入りません。
- 一部の再生モードには対応していません。

アルネオのUSBモードを設定する

- USBモードについては33ページをご覧ください。

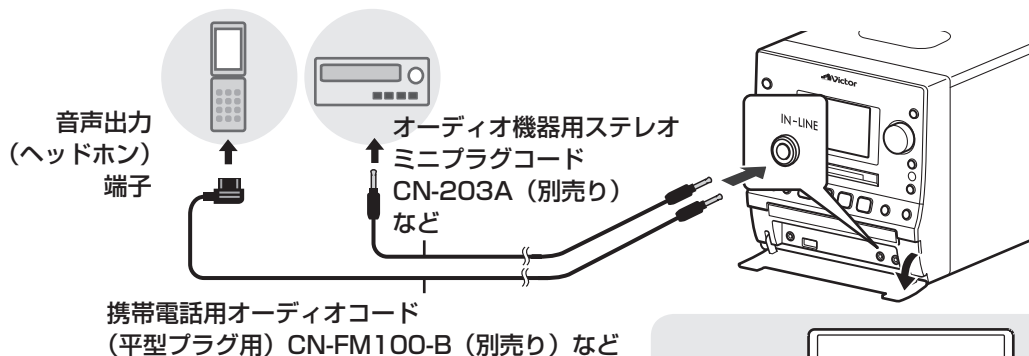
ソース（音源）を「alneo」にし、「メニュー」➔「設定」➔「alneo設定」➔「接続モード」から設定します。

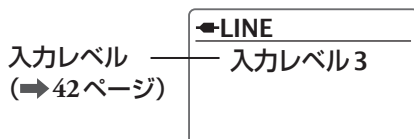
携帯電話・外部機器をつないで聞く

本機につないだ携帯電話やカセットデッキなどの音を聞くことができます。

1 LINE IN端子に外部機器をつなぐ

2 ［LINE］を押す

LINE

LINE

LINE
入力レベル ―― 入力レベル3
（➡42ページ）

3 外部機器を再生する

・詳しくは、外部機器の取扱説明書をご覧ください。

▶ 画面表示

［表示/文字］を押すと、時刻表示や録音空き容量などに表示を切り換えることができます。

① ソース（音源）表示

② 入力レベル

* 録音先のMD/USB機器/アルネオがないときは、録音空き時間は「-:- -」と表示されます。

▶ 音声入力レベルを調節するには

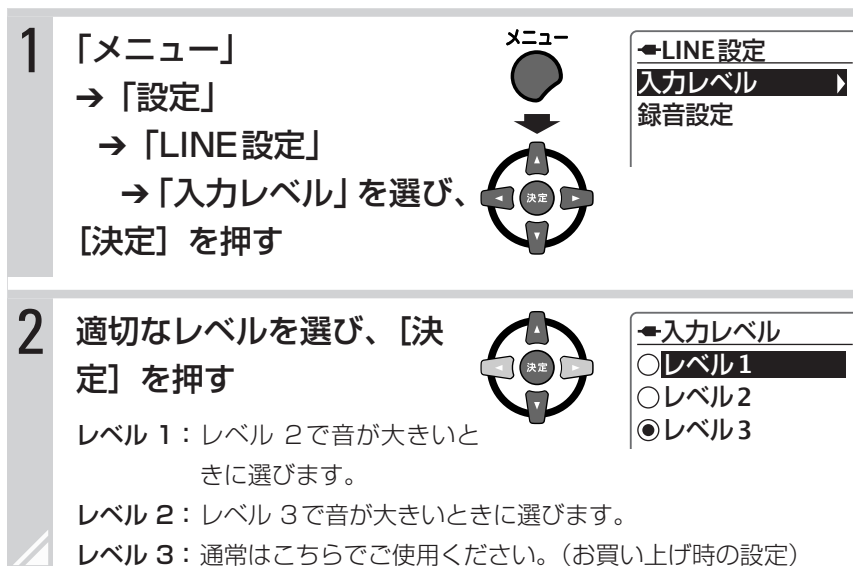
つないだ機器側の出力レベルが大きい、または小さいときは、本機の音声入力レベルを調節することができます。

1 「メニュー」
➔「設定」
➔「LINE設定」
➔「入力レベル」を選び、
［決定］を押す

2 適切なレベルを選び、［決定］を押す

レベル 1：レベル 2で音が大きいときに選びます。

レベル 2：レベル 3で音が大きいときに選びます。

レベル 3：通常はこちらでご使用ください。（お買い上げ時の設定）

お知らせ

- ［メニュー］を2秒押しつづけると、再生画面に戻ります。
- ソース（音源）がLINEのときに［セット］を2秒押しつづけても、音声入力レベルを調節することができます。押しつづけるごとに、音声入力レベルが切り換わります。

音質を調節する

低音/高音を調節する

1 **［低音/高音］を繰り返し押す**

押すごとに次のように切り換わります。

MEMORY
低音
0

2 **［音量＋］［音量－］を押す**

－５～＋５の範囲で調節できます。
- ５秒後に元のソース（音源）の表示に戻ります。

MEMORY
低音
+2

重低音を調節する（AHB PRO）

AHB PRO（アクティブハイパーバスプロ）をオンにすると、メリハリの効いた重低音が楽しめます。

お知らせ
AHB PROは録音音声に影響しません。

●：お買い上げ時の設定

1 **［AHB PRO］を押す**

押すごとに次のように切り換わります。

表示	設定	表示窓
● AHB PRO　オン	重低音が強調されます	▶BASS◀
AHB PRO　オフ	（通常の再生です）	（表示なし）

音に効果を持たせる（サウンドモード）

気分に合わせた音の世界を演出します。

お知らせ
サウンドモードは録音音声に影響しません。

●：お買い上げ時の設定

1 **［サウンドモード］を押す**

押すごとに次のように切り換わります。

表示	設定	表示窓
サウンドモード１	自然な音の広がりを実現します。	SOUND
サウンドモード２	耳に快い音を実現します。	SOUND
サウンドモード３	さらに深い音の広がりを実現します。	SOUND
●サウンドモード オフ	（通常の再生です）	（表示なし）

リピート再生する

曲をくり返し再生します。

1 停止中または再生中に［リピート］を押す

押すごとに、次のように切り換わります。

表示窓	項目名	内容
↻	1曲	1曲だけをくり返し再生します。
ALL ↻	すべて	• 現在選択中のアーティスト/アルバム/ジャンルなどに含まれる全ての曲をくり返し再生します。 • CDの全曲をくり返し再生します。 • MDの全曲をくり返し再生します。
A-B ↻	A-B	設定した再生区間をくり返し再生します。（内蔵メモリー、USB機器、アルネオのみ）
（表示なし）	オフ	リピート再生を解除します。

お知らせ

- 「メニュー」➔「設定」➔「CD設定」（「MD設定」/「メモリー設定」/「USB設定」）➔「再生設定」➔「リピート」からもリピート再生を設定できます。
- 次の操作をすると、リピート再生は解除されます。
  - CDまたはMDを取り出す
  - USB機器またはアルネオを取り外す
  - 電源を切る

▶ A-Bリピートの再生区間を設定するには

1 A-Bリピートしたい曲を再生する

2 ［リピート］をくり返し押して、A- ↻ を選ぶ

3 A-Bリピートを開始したい場所で［セット］を押す

開始点Aが設定されます。

お知らせ

- 2曲間でA-Bリピートを設定することはできません。
- ソース（音源）がUSBで、本機とUSB機器をMTP接続しているときは、A-Bリピートは設定できません。本機とUSB機器の接続モードをMSCにすると、設定できます。（「本機のUSBモードを変更する」➡33ページ）

お知らせ

- A-Bリピート区間を変更するには、A-Bリピート中に［セット］を押します。
- A-Bリピートを解除するには、［リピート］をくり返し押して、表示を消します。
- A-Bリピート再生中に［⏮］［⏭］で曲をスキップすると、A-Bリピートが解除されます。
- 開始点Aと終了点Bは、2秒以上あけてください。

4 **A-Bリピートを終了したい場所で［セット］を押す**

A-B

終了点Bが設定され、設定した区間がくり返し再生されます。

ランダム再生する

ランダム（無作為）な順序で再生することができます。

お知らせ

- ランダム再生中は、再生画面のトラック番号表示部に現在再生中の曲がランダムプレイの何番目かを表示します。（CD、MDの場合は再生中の曲の曲番号を表示します。）
- 「メニュー」➔「設定」➔「CD設定」（「MD設定」/「メモリー設定」/「USB設定」）➔「再生設定」➔「再生モード」➔「ランダム」からもランダム再生を設定できます。

1 **ランダム再生したいソース（音源）に切り換えて、停止する**

① **［CD］、［MD］、［MEMORY］、［alneo］または［USB］を押す**
② **［■］を押す**

2 **［再生/FMモード］をくり返し押して、表示窓にRND表示を点灯させる**

RND

3 **［CD］、［MD］、［MEMORY］、［alneo］または［USB］を押して再生する**

ランダム再生を解除するには、停止中に［再生/FMモード］をくり返し押して、RND 表示を消します。

- 電源を切ったとき、CD/MDを取り出したとき、USB機器/アルネオを取り外したときも、解除されます。

グループ単位で再生する

MDのお好みのグループだけを再生できます。

1 ソース（音源）をMDにする

① [MD] を押す
② [■] を押す

2 [再生/FMモード] をくり返し押して、表示窓にGR表示を点灯させる

3 [◄] [►] をくり返し押して、再生したいグループを選ぶ

4 [MD] を押す

グループ再生を解除するには、停止中に［再生/FMモード］をくり返し押して、GR表示を消します。

• 電源を切ったとき、MDを取り出したときも、解除されます。

お知らせ

• 選んだグループ内の曲が全て再生されると、自動的に停止します。
• 「メニュー」➔「設定」➔「MD設定」➔「再生設定」➔「再生モード」で「グループ」を選んでも、グループ再生を設定できます。
• グループがないときは「音楽ファイルがありません」と表示されます。［再生/FMモード］をくり返し押して、グループ再生を解除してください。

▶ グループリストからグループを選ぶ

1 「メニュー」
➔「ミュージック」
➔「グループ」を選び、
[決定] を押す

グループのリストが表示されます。

2 再生したいグループを選び、[決定] を押す

グループ内のトラックリストが表示されます。

3 [決定] を押す

選んだグループの再生が始まります。

お知らせ

グループがないときは、「グループ」は表示されません。

登録した曲を再生する（プログラム再生）

CD、MDそれぞれにつき最大32曲まで登録して再生できます。

・CDの曲とMDの曲を両方ふくむようなプログラムは作成できません。

CD

MD

再生したい曲を登録する

ご注意

プログラム再生中は、プログラムの登録や変更はできません。

お知らせ

・再生画面でサブメニューを表示して「プログラム登録」➔「新規登録」または「追加登録」からもプログラムを登録することができます。

1 **登録したい曲の再生中に［セット］を押す**

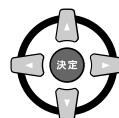
右の「No.1」はプログラムの登録番号です。

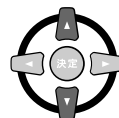
◎CD ▶
プログラムに
登録しました
No.1

2 **手順1をくり返し、登録したいトラックを追加する**

▶ トラックリストからプログラム登録する

1 **再生画面で［決定］を押す**

トラックリストが表示されます。

◎トラック ■
Track01
Track02
Track03

2 **登録したいトラックを［▲］［▼］で選ぶ**

3 **［セット］を押す**

右の「No.1」はプログラムの登録番号です。

◎CD ■
プログラムに
登録しました
No.1

4 **手順2,3をくり返し、登録したいトラックを追加する**

▶ 複数の曲をまとめてプログラム登録する

1 **再生画面で［決定］を押す**

トラックリストが表示されます。

◎トラック
Track01
Track02
Track03

2 **［サブメニュー］を押す**

サブメニューが表示されます。

◎サブメニュー
再生
プログラム登録

3 **「プログラム登録」➔「追加登録」または「新規登録」を選び、［決定］を押す**

- 「追加登録」を選ぶと、すでに登録されている曲の後ろに追加されます。
- 「新規登録」を選ぶと、すでにある登録は削除されます。

4 **登録したい曲を選び、［セット］を押す**

チェックマークのついた曲が登録されます。チェックマークをはずすには、再度［セット］を押します。

◎登録対象選択
☑Track01
☐Track02
☐Track03

5 **［決定］を押す**

登録確認の画面が表示されます。

◎追加登録
登録確認
はい　いいえ

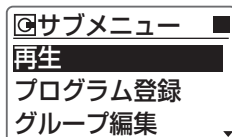
6 **「はい」を選び、［決定］を押す**

「プログラムに登録しました　No.×」と表示され、再生画面に戻ります。No. ×はプログラムの登録番号です。

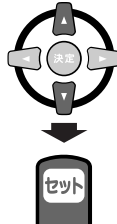
◎追加登録
登録確認
はい　いいえ

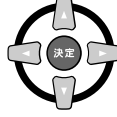
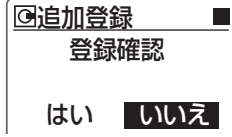
お知らせ

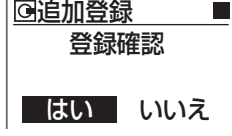
停止中にサブメニューから登録した曲は、アルファベット順に登録されます。登録した曲の順番を並べ替えるときは、「CDのプログラムの曲順を変更する」（➡ **50** ページ）または「MDのプログラムの曲順を変更する」（➡ **51** ページ）をご覧ください。

▶ グループの曲をまとめて プログラム登録する（MDのみ）

1 「メニュー」
➔「ミュージック」
➔「グループ」を選び、
［決定］を押す

グループリストが表示されます。

2 ［サブメニュー］を押す

サブメニューが表示されます。

3 「プログラム登録」
➔「追加登録」または
「新規登録」を選び、
［決定］を押す

- 「追加登録」を選ぶと、すでに登録されている曲の後ろに追加されます。
- 「新規登録」を選ぶと、すでにある登録は削除されます。

4 登録したいグループを［▲］［▼］で選び、［セット］を押す

選んだグループの曲がまとめてプログラムに登録されます。

- チェックマークをはずすには、再度［セット］を押します。

5 ［決定］を押す

登録確認の画面が表示されます。

6 「はい」を選び、［決定］を押す

「プログラムに登録しました　No.×」と表示され、再生画面に戻ります。
No.×はプログラムの登録番号です。

プログラム再生する

1 CDまたはMDを停止させる

2 [再生/FMモード] をくり返し押して、PRGM表示を点灯させる

PRGM

3 [CD] または [MD] を押す

登録した順に再生が始まります。

プログラム再生を解除するには：手順2でPRGM 表示を消します。

- プログラム再生を解除しても、プログラムの内容は削除されません。

▶ プログラムの内容を確認する

PRGM表示が点灯しているときに...

1 再生画面で [決定] を押す

プログラムの内容が表示されます。

◎プログラム
Track02
Track11
Track05

お知らせ

- 再生中は、プログラム再生に切り換えることはできません。
- 「メニュー」➔「ミュージック」➔「プログラム」でプログラムの内容を表示して［決定］を押しても再生できます。
- 「メニュー」➔「設定」➔「CD設定」（「MD設定」）➔「再生設定」➔「再生モード」で「プログラム」を選んでも、プログラム再生を設定できます。
- プログラムに曲が登録されていないきは「音楽ファイルがありません」と表示されます。[再生/FMモード] をくり返し押して、プログラム再生を解除してください。

お知らせ

「メニュー」➔「ミュージック」➔「プログラム」からも、プログラム内容を確認することができます。

プログラムを変更する

▶ CDのプログラムの曲順を変更する

1 「メニュー」➔「ミュージック」➔「プログラム」を選び、[決定] を押す

メニュー

プログラムの内容が表示されます。

◎プログラム
Track02
Track11
Track05

2 [サブメニュー] を押す

サブメニュー

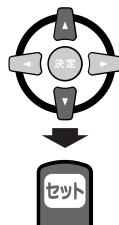
サブメニューが表示されます。

◎サブメニュー
再生
プログラム登録
編集

3 「編集」
➔「トラック並べ替え」を選び、[決定]を押す

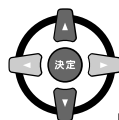
◎編集 ■
削除
トラック並べ替え

4 並べ替えたいトラックを選び、[セット]を押す

- 複数選ぶ場合は、[▲][▼]で項目を選び、[セット]を押してください。
- チェックをはずすには、もう一度[セット]を押してください。

◎並べ替え対... ■
☑Track02
☐Track11
☐Track05

5 [決定]を押す

◎挿入位置選択 ■
Track11
Track05
Track08

6 挿入位置を選び、[決定]を押す

◎挿入位置選択 ■
Track11
Track05
Track08

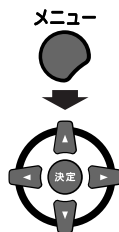
7 「はい」を選び、[決定]を押す

曲順が並べ替えられ、「変更しました」と表示されます。

◎トラック並べ... ■
並べ替え確認
はい いいえ

▶ MDのプログラムの曲順を変更する

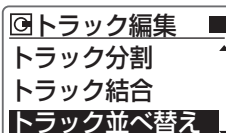
1 「メニュー」
➔「ミュージック」
➔「プログラム」を選び、[決定]を押す

プログラムの内容が表示されます。

プログラム ■
Track005
Track014
Track010

2 [サブメニュー]を押す

サブメニューが表示されます。

サブメニュー ■
再生
プログラム登録
トラック編集

3 「トラック編集」
➔「トラック並べ替え」を
選び、[決定] を押す

トラック編集
トラック分割
トラック結合
トラック並べ替え

4 並べ替えたいトラックを選び、[決定] を押す

並べ替え対...
Track005
Track014
Track010

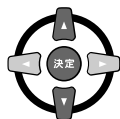
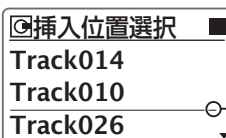
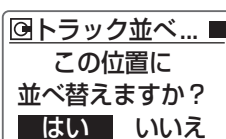
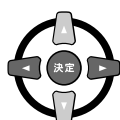
5 挿入位置を選び、[決定] を押す

挿入位置選択
Track014
Track010
Track026

挿入位置

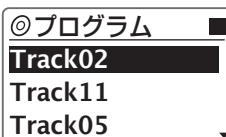
6 「はい」を選び、[決定] を押す

曲順が並べ替えられ、「変更しました」と表示されます。

トラック並べ...
この位置に
並べ替えますか？
はい　いいえ

▶ プログラムを削除する

1 プログラム再生の停止中に、[決定] を押す

プログラムの内容が表示されます。

プログラム
Track02
Track11
Track05

▼1 曲削除する

2 削除するトラックを選び、[キャンセル] を押す

▼全曲削除する

2 [キャンセル] を繰り返し押す

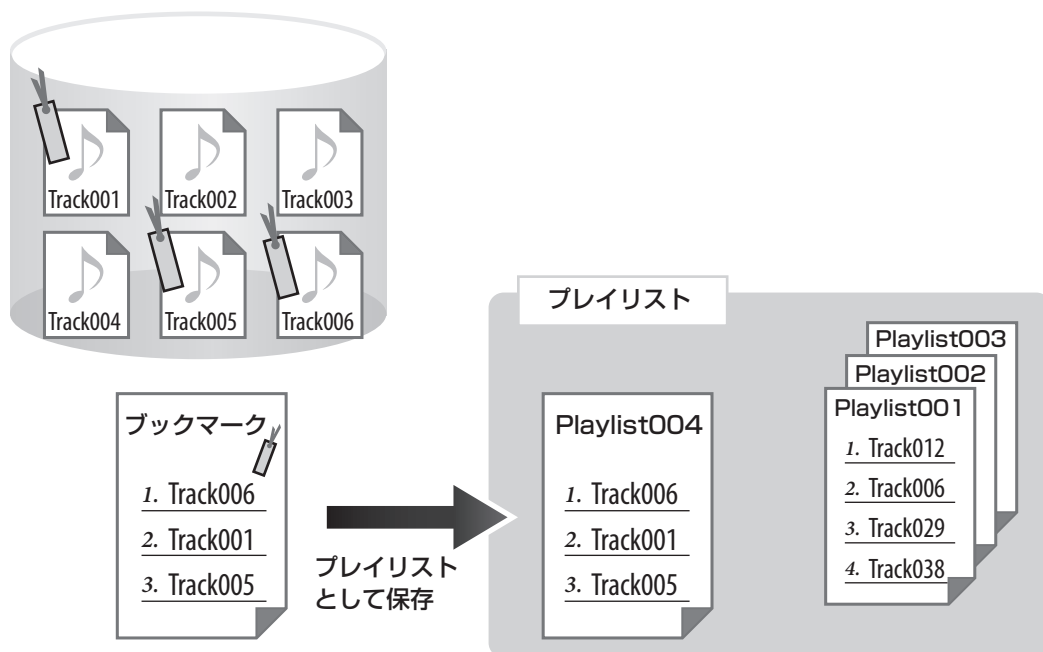
「表示する内容がありません」と表示されるまで繰り返し押してください。

お知らせ

- プログラム再生中はプログラムを削除することはできません。
- CD を取り出すと、CD のプログラムは削除されます。また、プログラムモードも解除されます。
- MD を取り出すと、MD のプログラムは削除されます。また、プログラムモードも解除されます。
- 電源を切ったときも、プログラム内容は削除され、プログラムモードも解除されます。

ブックマーク・プレイリストを使う

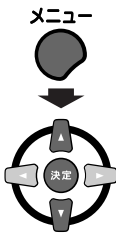
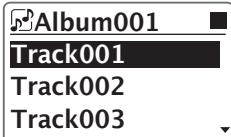
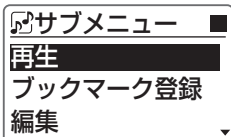
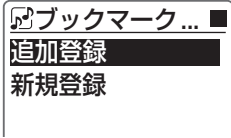
プレイリストとは、好きな曲を集めてリストにしたものです。
パーティーで楽しむためのプレイリスト、夜に聞きたいプレイリストなど、お好みの状況にあったプレイリストを作ることができます。

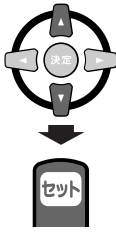
- プレイリストを作成するには、まず登録したい曲にブックマークをつけます。登録したい曲全てにブックマークをつけたら、ブックマークのついた曲の一覧をプレイリストとして保存します。

- ブックマークとプレイリストは、内蔵メモリー、USB機器、アルネオで作成できます。
- 異なるソース（音源）の曲をふくむようなブックマーク、プレイリストは作成できません。
- ブックマークやプレイリストを編集しても、曲自体が移動したり削除されたりすることはありません。
- 同じ曲を複数のプレイリストに登録することもできます。

曲にブックマークをつける

お知らせ

ブックマークのついた曲の再生画面ではBOOKMARK表示が点灯します。

BOOKMARK
MEMORY

1　ブックマークをつけたい曲の再生画面で［セット］を押す

「ブックマークに登録しました」と表示された後、再生画面に戻ります。

▶ 一度に複数の曲にブックマークをつける

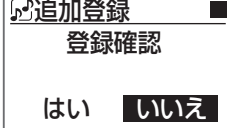
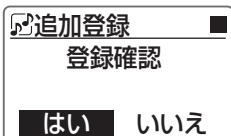
1 **[メニュー]**
➔「ミュージック」を
選び、[決定] を押す

ミュージック
プレイリスト
アーティスト
アルバム

2 **ブックマークをつけたい曲のうち１曲を選ぶ**

Album001
Track001
Track002
Track003

3 **[サブメニュー] を押す**

サブメニューが表示されます。

サブメニュー
再生
ブックマーク登録
編集

4 **「ブックマーク登録」**
➔「新規登録」または
「追加登録」を選び、
[決定] を押す

ブックマーク...
追加登録
新規登録

- 選んだ曲をブックマークの一覧に追加したい場合は「追加登録」を選んでください。
- 今ついているブックマークを全て削除して新たにブックマークをつけたい場合は「新規登録」を選んでください。

5 **ブックマークをつけたい曲を選び、[セット] を押す**

チェックマークのついた曲にブックマークがつきます。

- チェックマークをはずすには、もう一度 [セット] を押します。

登録対象選択
☑Track001
☐Track002
☐Track003

6 **[決定] を押す**

登録確認の画面が表示されます。

追加登録
登録確認
はい　いいえ

7 **「はい」を選び、[決定] を押す**

追加登録
登録確認
はい　いいえ

ブックマークの曲順を変更する

内蔵メモリーでブックマークのついた曲の順序を変更することができます。

お知らせ

- USB機器とアルネオのブックマークは曲順を変更することができません。
- プレイリストとして保存してしまうと曲順を変更することはできません。

1 ［メニュー］
➔「ミュージック」
➔「プレイリスト」
➔「ブックマーク」を選び、［決定］を押す

メニュー

ブックマークの内容が表示されます。

ブックマーク
Track023
Track009
Track007

2 移動したい曲を選ぶ

ブックマーク
Track023
Track009
Track007

3 ［サブメニュー］を押す

サブメニューが表示されます。

サブメニュー
再生
ブックマーク登録
編集

4 「編集」
➔「トラック並べ替え」を選び、［決定］を押す

並べ替え対...
☐Track023
☐Track009
☑Track007

5 並べ替えたい曲を選び、［セット］を押す

- チェックマークをはずすには、もう一度［セット］を押します。

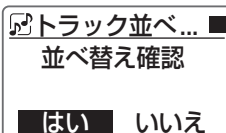
6 ［決定］を押す

挿入位置選択
Track009
Track035
Track015

7 挿入位置を選び、［決定］を押す

確認画面が表示されます。

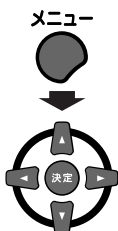
8 「はい」を選び、[決定] を押す

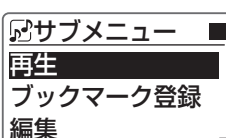
トラック並べ… ■
並べ替え確認
はい　いいえ

プレイリストを保存する

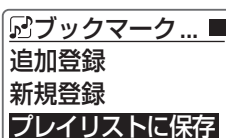
ブックマークのついた曲のリストを、プレイリストとして保存します。

1 [メニュー]
➔「ミュージック」
➔「プレイリスト」
➔「ブックマーク」を選び、[決定] を押す

ブックマーク ■
Track023
Track009
Track007

2 [サブメニュー] を押す

サブメニューが表示されます。

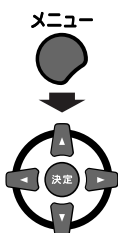
サブメニュー ■
再生
ブックマーク登録
編集

3 「ブックマーク登録」
➔「プレイリストに保存」を選び、[決定] を押す

ブックマーク… ■
追加登録
新規登録
プレイリストに保存

「保存しました」と表示されます。

お知らせ

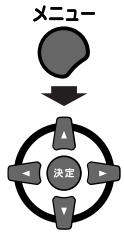
- プレイリストは、「ミュージック」➔「プレイリスト」の中に、作成した順に「Playlist001」、「Playlist002」…という名前で保存されます。
- プレイリストは名前を変更することができます。(➡ 83ページ)

ブックマーク・プレイリストを再生する

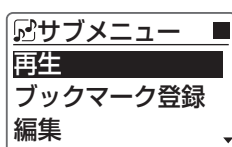
1 [メニュー]
➔「ミュージック」
➔「プレイリスト」を選び、[決定] を押す

▼ブックマーク再生：

2 「ブックマーク」を選び、[決定] を押す

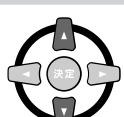
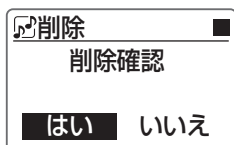
ブックマークのついている曲が表示されます。もう一度[決定] を押すと、再生が始まります。

▼プレイリスト再生：

2 再生したいプレイリストを選び、[決定] を押す

選んだプレイリストの曲が表示されます。もう一度 [決定] を押すと、再生が始まります。

ブックマーク・プレイリストを削除する

• プレイリストやブックマークを削除しても、曲自体は削除されません。

1 [メニュー]
→「ミュージック」
→「プレイリスト」を選び、
[決定] を押す

プレイリスト
ブックマーク
Playlist001
Playlist002

2 削除したいブックマークまたはプレイリストを選ぶ

例：Playlist001 を選んだ場合

3 [サブメニュー] を押す

サブメニューが表示されます。

4 「編集」
→「削除」を選び、[決定] を押す

5 削除したいプレイリストを選び、[セット] を押す

• チェックマークをはずすには、もう一度 [セット] を押します。

6 [決定] を押す

確認画面が表示されます。

7 「はい」を選び、[決定] を押す

曲情報を取得する — MagicSync —

本機と携帯電話を接続してMagicSync® を実行すると、インターネット上に存在するGracenoteデータベースにアクセスして、アルバム名、アーティスト名、曲名などの曲情報を読み込みます。（アナログ音源から録音した曲にも対応します。）

MagicSyncを使って曲情報を取得するには、以下の３つの方法があります。

- 本機に挿入したCDの曲情報を取得する。
- 内蔵メモリーに録音された曲の曲情報を取得する。
- CDから内蔵メモリーに録音するときに、録音と同時に曲情報を取得する。
（「CDから録音する」➡ 67ページ）

ご注意

- 内蔵メモリーにある曲の情報を取得するときは、アルバム単位など複数の曲情報を取得することはできません。１曲ずつ実行してください。
- ディスクによっては曲情報を取得できない場合もあります。
- 「共通設定」➔「MagicSync」➔「ディスク挿入時」の設定を「オン」にしておくと、CDを挿入したときに自動的にMagicSync開始画面が表示されます。
- 録音と同時に自動的にMagicSyncを開始するには、「共通設定」➔「MagicSync」➔「録音開始時」の設定を「オン」にしてください。

MagicSyncに必要な設定をする

1 携帯電話が本機のMagicSync機能に対応しているか確認する

添付の「本機の対応携帯電話機種一覧」のMagicSyncの欄をご確認ください。

2 接続する携帯電話の「USBモード設定」をデータ通信モードにする

設定方法はお持ちの携帯電話の取扱説明書をご覧ください。

3 本機の「携帯設定」を設定する

① メニューを表示して「設定」➔「共通設定」➔「MagicSync」➔「携帯設定」を選び、［決定］を押す

② オート（お買い上げ時の設定）/NTT ドコモ/SoftBank/au/NTT moperaUから選び、［決定］を押す

- 接続する携帯電話会社に設定すると、接続にかかる時間が短くなります。
- 「オート」に設定すると、NTT ドコモ/au/SoftBankの携帯電話との接続が可能になります。

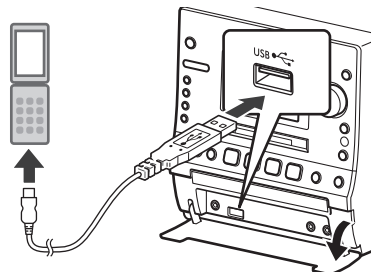
ご注意

- MagicSyncは携帯電話で通信するため、曲情報取得の際に通信費がかかります。料金については、添付の「MagicSync機能ご利用時の携帯電話通信料金について」をお読みください。
- 携帯電話の電池残量がほとんど残っていない状態や、電池切れの状態では接続しないでください。
- 携帯電話の電波状態によっては通信できない場合があります。携帯電話の電波状態をご確認ください。
- 携帯電話を接続しているときは、通話など携帯電話の操作はしないでください。
- 通信中はUSBケーブルを抜かないでください。
- 携帯電話接続中は、USBケーブルを伸ばした状態で本機からなるべく離して置いてください。

MagicSyncを使って曲情報を取得する

1 携帯電話をUSBケーブル（市販品）で接続する

MagicSync アイコンが点灯することを確認してください。点灯しないときは、携帯電話の設定と接続を確認してください。

▼CDの曲情報を取得する

2 CDを入れ、ソース（音源）を「CD」にする

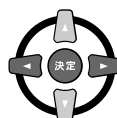
▼内蔵メモリーの曲情報を取得する

2 ソース（音源）を「MEMORY」にして、情報を取得したい曲を再生する

MEMORY ▶
Track001
Artist
1/20
WMA 96k 0:24

3 ［マジックシンク］を押す

MagicSync ■
パケット通信を
開始しますか？
はい いいえ

4 確認画面で「はい」を選び、［決定］を押す

曲情報の検索が始まります。

MagicSync ■
CD情報を
検索しています
キャンセル

5 検索結果を確認する

▼検索結果が１つの場合

内容を確認して［決定］を押す

1/1
◎アルバムタイトル
アーティスト名
ジャンル名

▼検索結果が複数ある場合

候補の中から１つを選び、［決定］を押す

1/3
◎アルバムタイトル
アーティスト名
ジャンル名

曲情報の反映された再生画面が表示されます。

MEMORY ▶
night and day
Ellie Walters
1/20
WMA 96k 0:24

お知らせ

［マジックシンク］を押してから検索結果画面が表示されるまでは、接続した携帯電話をはずさないでください。

MagicSync アイコンが点滅しているときは、内蔵メモリー内の曲情報を解析中です。

CDから内蔵メモリーに録音した曲のときは、手順5の後で右の画面が表示されることがあります。
情報取得した曲と同じCDから録音した曲が内蔵メモリーにある場合、それらの曲の情報も更新することができます。

MagicSync
同じCDの曲を全て
書き換えますか？
はい　いいえ

- 「はい」を選ぶと「タイトル情報を更新中です」と表示され、同じCDの曲の曲情報が更新されます。
- 「いいえ」を選ぶと、1曲だけの情報が更新されます。

お知らせ

1度読み込んだ曲情報は、最大CD100枚分まで内蔵メモリーに保存されます。1度曲情報を取得したCDを本機に入れると、曲情報が表示されます。100枚を越えたときは、一番古い情報から順に削除されます。

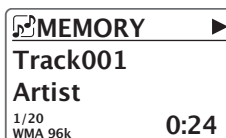
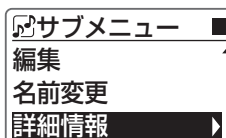
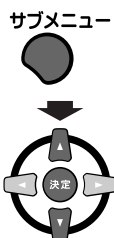
- 曲情報の書き換えには時間がかかることがあります。途中でやめたいときは［キャンセル］を押してください。
- 情報を取得したあとのファイルの曲情報は、次の「曲の情報を見る」で確認してください。

曲の情報を見る

内蔵メモリー/USB機器の曲（ファイル）の詳細情報を見ることができます。

1 情報を見たい曲を選ぶ

曲の選びかたについては、30、35ページをご覧ください。

MEMORY ▶
Track001
Artist
1/20
WMA 96k
0:24

2 サブメニューを表示して「詳細情報」を選び、［決定］を押す

アイコン	表示内容	アイコン	表示内容
	曲名		トラックナンバー
	アーティスト名		ファイルの種類
	アルバム名		ビットレート
	ジャンル名		再生時間
	リリース年		ファイルのある場所
	ファイル名		

録音する

録音について

録音先として以下の機器が選べます。

- 内蔵メモリー
- USBメモリー
- デジタルオーディオプレーヤー
- 携帯電話
- アルネオXA-Vシリーズ
- MD

お知らせ

本機の音声を外部機器に録音したい場合は、本機のLINE OUT端子に録音機器を接続してください。（➡17ページ）

▶ 録音可能な組み合わせ

録音可能な組み合わせは以下の通りです。

録音元 ＼ 録音先	内蔵メモリー	USBメモリー、デジタルオーディオプレーヤー（USB端子に接続）	携帯電話（USB端子に接続）	アルネオ（XA-Vシリーズ）	MD
内蔵メモリー	—				
USBメモリー、デジタルオーディオプレーヤー（USB端子に接続）	○（移動）*1 ➡74ページ	—		○（移動）*1 ➡74ページ	○ ➡78ページ
アルネオ（XA-Vシリーズ）				—	
携帯電話 USB端子に接続	×	—		×	×
携帯電話 LINE IN端子に接続	○ ➡72ページ	△*2			○ ➡72ページ
MD	○ ➡69ページ	△*2			—
CD	○ ➡67ページ				
ラジオ	○ ➡71ページ	△*2			○ ➡71ページ
外部機器	○ ➡72ページ	△*2			○ ➡72ページ

*1 内蔵メモリー、USBメモリー、デジタルオーディオプレーヤー、携帯電話、アルネオの間での録音はファイルの移動になり、録音元には曲は残りません。
また、MTP接続した機器間では曲の移動はできません。

*2 USB機器にはさまざまな種類と仕様のものがあるため、録音時の動作を完全には保証することができません。MD、ラジオ、外部機器の音声をUSB機器・アルネオに録音する場合は、必ず一度内蔵メモリーに録音してから、USB機器・アルネオに録音（移動）してください。（➡74ページ）

録音の準備をする

録音先の準備をする

▶ 内蔵メモリーに録音するとき

特に準備は必要ありません。

▶ 携帯電話に録音するとき

1 携帯電話が本機の録音機能に対応しているか確認する

添付の「本機の対応携帯電話機種一覧」の録音の欄をご覧ください。

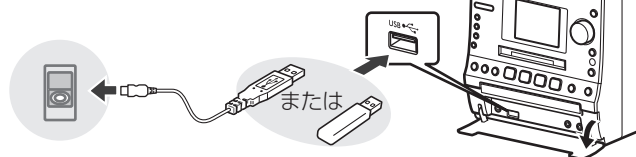
2 接続する携帯電話の「USBモード設定」をMTPモードにする

設定方法は、お持ちの携帯電話の取扱説明書をご覧ください。

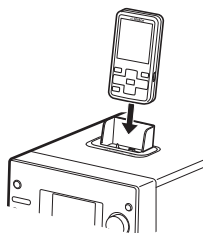
3 携帯電話をUSBケーブル（市販品）で接続する

> **ご注意**
>
> 内蔵メモリーから携帯電話に音楽ファイルを録音（移動）するときは、携帯電話の「USBモード設定」を「MTPモード」に設定してください。
>
> MagicSync機能を使うために携帯電話を接続するときは、「データ通信モード」に設定します（➡58ページ）。録音（移動）の場合と異なりますのでご注意ください。

▶ USBメモリー、デジタルオーディオプレーヤーに録音するとき

1 USB機器を本機のUSB端子に接続する

▶ アルネオに録音するとき

1 アルネオ端子にアルネオを接続する

➡38ページ

▶ MDに録音するとき

1 録音できるMDを本体に入れる

➡27ページ

MDへの録音について

- 録音品質（SP、LP2、LP4）は、混在させて録音できます。
- 本機は、通常の2倍の時間を録音できるモノラル録音には対応していません。ただし、モノラルソース（音源）を各録音品質で録音することはできます。
- MDには、最大254曲録音できます。それ以上録音しようとすると、「トラック数が制限を超えました」と表示されます。
- 録音するときは、本機がMDの未録部分を探して録音します。カセットテープのように上書きで録音することはできません。

▶ 大切な録音を消さないために

録音用MDには、大切な録音を誤って消さないための、誤消去防止つまみがついています。

録音・消去するときは
つまみを閉じる

誤って消してしまわないように
つまみを開く（消去防止状態）

ご注意

- MDの録音・編集中は、本機に振動を与えないでください。特に、「TOC書き込み中」の表示中は注意してください。MDが再生できなくなるおそれがあります。
- LP2またはLP4で録音された曲は、MDLPに対応していない機器では再生できません。曲タイトルの始めに「LP：」と表示され、無音状態になります。MDLPに対応した機器では「LP:」は表示されません。（「LP:」を付けるかどうか設定することができます。➡**68**、**72**、**73**、**79**ページ）

録音できるUSB機器について

▶ デジタルオーディオプレーヤー

MSC（USBマスストレージ規格）またはMTPに対応し、Microsoft® Windows Media® Playerで音楽ファイルを転送できるプレーヤー

- **当社製デジタルオーディオプレーヤー 対応機種**

種類	対応USB形式
XA-Vシリーズ、XA-C210/C110/C51、XA-C109/C59	MTP/MSC
XA-S/XA-F/XA-E/XA-MPシリーズ	MSC

お知らせ

- すべての機器について動作を保証するものではありません。
- 録音（移動）中はUSBケーブルまたは接続機器を抜かないでください。

▶ USBフラッシュメモリー

MSC（USBマスストレージ規格）に対応している機器

ご注意

プロテクト機能付きの場合は、解除してから接続してください。

▶ 携帯電話

録音対応機種については、添付の「本機の対応携帯電話機種一覧」の録音の欄をご覧ください。

お知らせ

- USB接続した携帯電話から内蔵メモリーに曲を録音（移動）することはできません。携帯電話から録音するときはLINE IN端子に携帯電話を接続してください。
- 内蔵メモリーから携帯電話へ曲を録音（移動）するときは、ファイル形式をWMAに設定してください。MP3形式では録音（移動）できません。

録音された曲の管理について

内蔵メモリーに録音された曲の情報

内蔵メモリーに録音されたトラックには、１曲ごとに以下のようなラベルがつけられます。
各ラベルをもとに曲を探すことができます。（「アルバム、アーティストなどの情報から曲を探す」➡30ページ）

- タイトル
- アーティスト名
- アルバム名
- ファイル名
- ジャンル
- 録音元ソース（音源）

▶ ラベルの命名規則

• USBメモリー、デジタルオーディオプレーヤー、アルネオから録音（移動）した曲

	曲情報があるとき	曲情報がないとき
タイトル	曲情報によるタイトル	録音元のファイル名
アーティスト名	曲情報によるアーティスト名	なし
アルバム名	曲情報によるアルバム名	なし
ファイル名	録音元のファイル名	録音元のファイル名
ジャンル	曲情報によるジャンル	なし
録音元ソース	「USB」または「alneo」	「USB」または「alneo」

• CDから録音した曲

	曲情報があるとき	曲情報がないとき
タイトル	曲情報によるタイトル	「Track001」、「Track002」…
アーティスト名	曲情報によるアーティスト名	「CD」
アルバム名	曲情報によるアルバム名	「Album001」、「Album002」…
ファイル名	[タイトル].wma	「001_Track001.wma」、「001_Track002.wma」…
ジャンル	曲情報によるジャンル	なし
録音元ソース	「CD」	「CD」

• MDから録音した曲

	曲情報があるとき	曲情報がないとき
タイトル	曲情報によるタイトル	「Track001」、「Track002」…
アーティスト名	曲情報によるアーティスト名	「MD」
アルバム名	曲情報によるアルバム名	「Album001」、「Album002」…
ファイル名	「001_[タイトル].wma」	「001_Track001.wma」、「001_Track002.wma」…
ジャンル	曲情報によるジャンル	なし
録音元ソース	「MD」	「MD」

• ラジオから録音した曲

	曲情報がないとき
タイトル	• プリセット名なし：[バンド]_[周波数]_[時間][曜日]_001 • プリセット名あり：[プリセット名]_[時間][曜日]_001
アーティスト名	FMまたはAM
アルバム名	• プリセット名なし：[周波数] • プリセット名あり：[プリセット名]
ファイル名	「001_[バンド]_[周波数]_[時間][曜日]_001.wma」、「002_[バンド]_[周波数]_[時間][曜日]_001.wma」…
ジャンル	なし
録音元ソース	「FM」または「AM」

• 外部機器、携帯電話から録音した曲

	曲情報がないとき
タイトル	「Line001」、「Line002」…
アーティスト名	「LINE」
アルバム名	「Line001」、「Line002」…
ファイル名	「001_[タイトル].wma」、「002_[タイトル].wma」…
録音元ソース	「LINE」

* ファイル名の拡張子はファイル形式によって変わります。

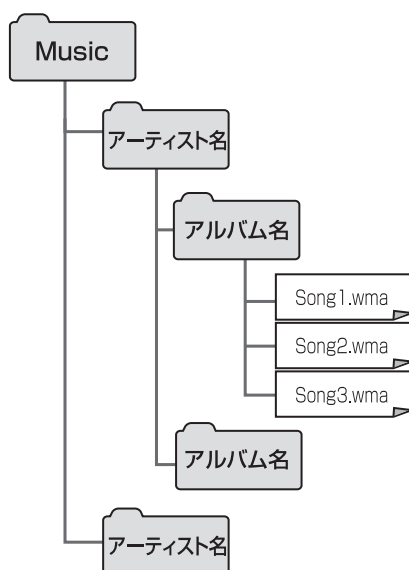
お知らせ

録音元ソースのラベルは編集できません。

USB機器／アルネオ間で録音（移動）した曲（ファイル）

元のフォルダ構造やファイル名、曲情報を保ったまま移動されます。

内蔵メモリーまたはCDから USB機器、アルネオに録音（移動）した曲

以下のような構造のフォルダが録音先に自動的に作られます。

アーティストフォルダ：

- 曲情報がある場合は、その情報をもとにアーティスト名がつけられます。
- 曲情報がない場合は、録音元のソース名（「MEMORY」または「CD」）がつけられます。

アルバムフォルダ：

- 曲情報がある場合は、その情報をもとにアルバム名がつけられます。
- 曲情報がない場合は、「Album001」「Album002」

ファイル名：

- 曲情報がある場合は、その情報をもとに「001_[曲名].wma」
- 曲情報がない場合は、「001_track001.wma」

* ファイル名の拡張子はファイル形式によって変わります。

MDに録音した曲

タイトル：

タイトルのない曲：track001、track002など

タイトルのある曲:元のタイトルがつきます。ただし、表示できるのは半角文字のみです。（「入力できる文字」➡84ページ）

- 全角文字や表示できない文字、記号は、スペースに変換されて表示されます。すべて全角文字のタイトルは「Track001」、「Track002」…になります。

グループ：

- 「MD録音」設定の「グループ作成」が「オン」のときは、一度に録音された曲は同じグループにまとめられます。
- 「MD録音」設定の「グループ作成」が「オフ」のときは、グループは作成されません。

CDから録音する

CD → USB alneo 携帯電話 内蔵メモリー MD

ご注意

ランダム再生中は、1曲録音になります。（停止中は、ランダム設定になっていると録音できません。）

お知らせ

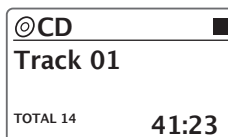
録音設定を途中でやめるには、［キャンセル］を押します。

1 録音先のソース（音源）を準備する

「録音先の準備をする」（➡62ページ）

2 ソース（音源）を「CD」にする

① ［CD］を押す

② ［■］を押す

◎CD ■
Track 01
TOTAL 14　41:23

・1曲だけ録音したい場合は、［I◀◀］［▶▶I］を押して録音したい曲を選んでください。

3 ［録音］を押す

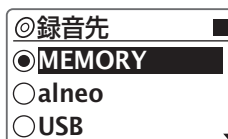
録音設定画面が表示されます。

◎録音メニュー ■
録音先　［MEM］
録音曲　［全曲］
録音方式　［標準］

4 録音先を選ぶ

① 「録音先」を選び、［決定］を押す

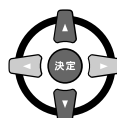
② 録音先を選び、［決定］を押す

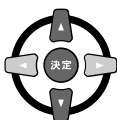
◎録音先 ■
◉MEMORY
○alneo
○USB

内蔵メモリーに録音するとき：「MEMORY」を選ぶ
アルネオに録音するとき：「alneo」を選ぶ
USB機器に録音するとき：「USB」を選ぶ
MDに録音するとき：「MD」を選ぶ

5 録音する曲を選ぶ

① 「録音曲」を選び、［決定］を押す

② 「1曲」または「全曲」を選び、［決定］を押す

◎録音曲 ■
◉1曲
○全曲

選択した曲だけを録音するとき：「1曲」を選ぶ
CD内の曲をすべて録音するとき：「全曲」を選ぶ

6 録音の設定をする

① 設定したい項目を選び、[決定] を押す

② 設定を選び、[決定] を押す

▼内蔵メモリー、USB機器、携帯電話、アルネオに録音する場合

■ **録音方式**

デジタル高速： 高速でデジタル録音します。（最大約４倍速）

デジタル標準： 通常の速さでデジタル録音します。

アナログ： 通常の速さでアナログ録音します。

■ **圧縮方式**

MP3： MP3で録音します。

WMA： WMAで録音します。

■ **録音品質**

HQ： 高音質で録音します。SP、LPに比べて録音できる曲数は少なくなります。

SP： 標準的な音質で録音します。

LP： 録音できる曲数が多くなりますが音質は劣ります。

▼MDに録音する場合

■ **録音方式**

デジタル高速： 高速でデジタル録音します。（最大約４倍速）

デジタル標準： 通常の速さでデジタル録音します。

アナログ： 通常の速さでアナログ録音します。

■ **録音品質**

SP： 標準のステレオ録音（MD80で最大80分の録音可）

LP2： ２倍長時間のステレオ録音（MD80で最大160分の録音可）

LP4： ４倍長時間のステレオ録音（MD80で最大320分の録音可）

■ **グループ作成**

オフ： 録音した曲はグループにはまとめられません。

オン： 一度に録音した曲は同じグループにまとめられます。

■ **LP:の付加**

オフ： ステレオ長時間録音をするとき、曲タイトルの頭に「LP：」をつけません。

オン： ステレオ長時間録音をするとき、曲タイトルの頭に「LP：」をつけます。

7 [録音] を押す

録音が始まります。

◎CD→MEM ●
A Dog in Heaven
AeroStones
1/14
MP3 HQ
0:46

お知らせ

「デジタル標準」または「アナログ」を選んだ場合は、曲を聞きながら録音できます。

お知らせ

- CDからMDに録音する場合は、74分以内に同じ曲を高速録音することはできません。（➡ 123ページ）
- タイトルの頭に「LP:」をつけると、LP2またはLP4で録音された曲を判別しやすくなります。ただし、入力できるタイトルの文字数が少なくなります。（「MDに入力できる文字数について」➡ 84ページ）

お知らせ

「メニュー」➔「MagicSync」➔「自動設定」➔「録音開始時」を「オン」に設定していると、録音と同時にMagicSyncを使って曲情報を取得します（➡ 58ページ）。「携帯電話を接続して確認してください　はい　いいえ」と表示されますので、携帯電話を接続して［決定］を押してください。

お知らせ

録音を途中で止めるには、［■］を押します。

8 「データベース更新中」–「録音が終了しました」と表示されたら、[決定] を押す

> **ご注意**
> プログラムモードの時は録音方式として「デジタル高速」を選ぶことはできません。

▶ 複数の曲を選んで録音するには（プログラム録音）

67ページの手順2で、録音したい曲をプログラムに登録し、プログラム再生します。（「登録した曲を再生する（プログラム再生）」➡47、50ページ）
その後は通常の録音と同じように、67ページの手順3から操作してください。
手順5では「全曲」を選んでください。

MDから内蔵メモリーへ録音する

1 ソース（音源）を「MD」にする

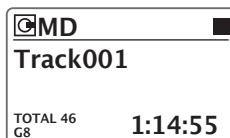
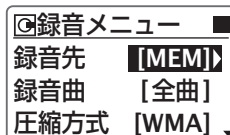
① [MD] を押す
② [■] を押す

- 1曲だけ録音したい場合は、[|◀◀] [▶▶|] を押して録音したい曲を選んでください。

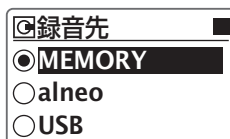
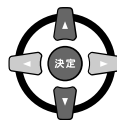
MD	■
Track001	
TOTAL 46 G8	1:14:55

2 [録音] を押す

録音設定画面が表示されます。

録音メニュー	■
録音先	[MEM]
録音曲	[全曲]
圧縮方式	[WMA]

> **お知らせ**
> 録音設定を途中でやめるには、[キャンセル] を押します。

3 録音先を確認する

① 「録音先」を選び、[決定] を押す
② 録音先が「MEMORY」になっていることを確認して [決定] を押す

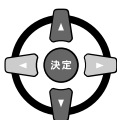
録音先 ■
◉MEMORY
○alneo
○USB

4 録音する曲を選ぶ

① 「録音曲」を選び、[決定] を押す
② 「1曲」または「全曲」を選び、[決定] を押す

録音曲 ■
◉1曲
○全曲

選択した曲だけを録音するとき：「1曲」を選ぶ
MD内の曲をすべて録音するとき：「全曲」を選ぶ

5 録音の設定をする

① 「圧縮方式」、または「録音品質」を選び、[決定] を押す

② 設定を選び、[決定] を押す

■ 圧縮方式

MP3：MP3で録音します。

WMA：WMAで録音します。

■ 録音品質

HQ：高音質で録音します。SP、LPに比べて録音できる曲数は少なくなります。

SP：標準的な音質で録音します。

LP：録音できる曲数が多くなりますが音質は劣ります。

6 [録音] を押す

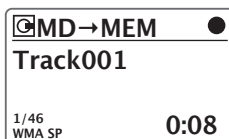
録音が始まります。

MD→MEM ●
Track001
1/46
WMA SP
0:08

7 「データベース更新中」－「録音が終了しました」と表示されたら、[決定] を押す

ご注意

ランダム再生中は、1曲録音になります。（停止中は、ランダム設定になっていると録音できません。）

お知らせ

録音を途中で止めるには、[■] を押します。

▶ 指定したグループの曲を録音するには

69ページの手順**1**で、録音したいグループを選び、グループ再生します。（「グループ単位で再生する」➡**46**ページ）

その後は通常の録音と同じように操作してください。

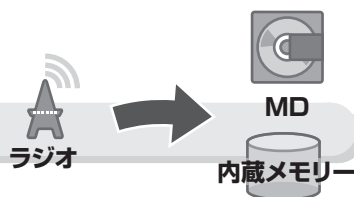
手順**4**では「全曲」を選んでください。

▶ 複数の曲を選んで録音するには（プログラム録音）

69ページの手順**1**で、録音したい曲をプログラムに登録し、プログラム再生します。（「登録した曲を再生する（プログラム再生）」➡**47**ページ）

その後は通常の録音と同じように、**69**ページの手順**2**から操作してください。

手順**4**では「全曲」を選んでください。

ラジオから録音する

ラジオ放送を内蔵メモリーまたはMDに録音します。

- あらかじめトラックマークの付けかたを設定してください。（➡下記）

お知らせ

トラックマークの付けかたは以下のようにして設定します：

1. ソース（音源）を「FM」、「AM」または「LINE」にする
2. 「メニュー」➔「設定」➔「FM設定」（または「AM設定」、「LINE設定」）➔「録音設定」➔「トラックマーク」

マニュアル：手動でトラックマークを付ける

タイム：5分間隔でトラックマークを付ける

オート：2秒以上の無音が続いたときに、自動でトラックマークを付ける

お知らせ

録音設定を途中でやめるには、[キャンセル] を押します。

1 ソース（音源）を「FM」または「AM」にする

2 録音したい放送局に周波数をあわせる

➡24ページ

FM 3
プリセット3
82.30MHz
STEREO

3 [録音] を押す

録音設定画面が表示されます。

録音メニュー
録音先 [MEM]
圧縮方式 [WMA]
録音品質 [SP]

4 録音先を選ぶ

①「録音先」を選び、[決定] を押す

② 録音先を選び、[決定] を押す

録音先
◉MEMORY
○alneo
○USB

内蔵メモリーに録音するとき：「MEMORY」を選ぶ
MDに録音するとき：「MD」を選ぶ

5 録音の設定をする

① 設定したい項目を選び、[決定] を押す

② 設定を選び、[決定] を押す

録音メニュー
録音先 [MEM]
圧縮方式 [WMA]
録音品質 [SP]

▼内蔵メモリーに録音する場合

■圧縮方式

MP3： MP3で録音します。
WMA： WMAで録音します。

■録音品質

HQ： 高音質で録音します。SP、LPに比べて録音できる曲数は少なくなります。
SP： 標準的な音質で録音します。
LP： 録音できる曲数が多くなりますが音質は劣ります。

▼MDに録音する場合

■グループ作成

オフ：　録音した曲はグループにはまとめられません。

オン：　一度に録音した曲は同じグループにまとめられます。

■録音品質

SP：　標準のステレオ録音（MD80で最大80分の録音可）

LP2：　２倍長時間のステレオ録音（MD80で最大160分の録音可）

LP4：　４倍長時間のステレオ録音（MD80で最大320分の録音可）

■LP:の付加

オフ：　ステレオ長時間録音をするとき、曲タイトルの頭に「LP：」をつけません。

オン：　ステレオ長時間録音をするとき、曲タイトルの頭に「LP：」をつけます。

6 ［録音］を押す

録音が始まります。

・トラックマークの設定を「マニュアル」にしているときは、トラックマークをつけたいところで［セット］を押してください。

FM→MEM ●
プリセット3
82.30MHz
ANALOG
WMA SP
1:47

7 録音を止めたいところで［■］を押す

お知らせ

・トラックマークをつけると、そこから別の曲として録音されます。内容に合わせてトラックマークをつけておくと、後で再生するときに便利です。

・トラックマークの間隔は10秒以上空けてください。10秒以内に［セット］を押すと、「しばらくお待ちください」と表示されます。「オート」の場合も10秒以内ではトラックマークは付きません。

携帯電話・外部機器から録音する

カセットデッキや携帯電話などをLINE IN端子に接続して、内蔵メモリーまたはMDに録音します。

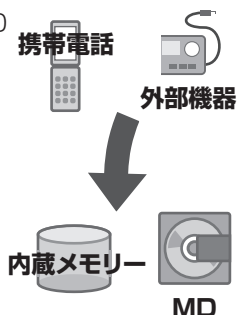
・あらかじめトラックマークの付けかたを設定してください。（➡71ページ）

・入力レベルを調節しておいてください。（➡42ページ）

1 録音元の機器を接続する

「携帯電話・外部機器をつないで聞く」➡41ページ

2 ソース（音源）を「LINE」にする

LINE
入力レベル3

お知らせ

本機にマイクやレコードプレーヤーを直接接続することはできません。アンプ（市販品）をLINE IN端子へ接続してから、それぞれの機器を接続してください。

マイク：マイクロフォンアンプまたはオーディオミキサー

レコードプレーヤー：フォノイコライザーアンプ

お知らせ

録音設定を途中でやめるには、[キャンセル] を押します。

ご注意

- 接続機器の音声が小さいと録音が開始できないことがあります。音量を確認し、入力レベルを調整(➡42ページ)してから録音してください。
- 接続機器の音声が小さくて自動で録音が始まらないときは、[録音] を押すと強制的に録音を開始することができます。（内蔵メモリーに録音中は、無音が30秒以上続いた場合、または音声が小さくて本機が音声を検出できない場合に、録音が自動停止します。MDに録音中は、録音は自動停止しません。録音が終わったら[■]を押してください。）
- 自動で録音が始まった場合は、30秒以上の無音が続くと録音が自動停止します。

3 [録音] を押す

録音設定画面が表示されます。

録音メニュー	
録音先	[MEM]
圧縮方式	[WMA]
録音品質	[SP]

4 録音先を選ぶ

① 「録音先」を選び、[決定] を押す

② 録音先を選び、[決定] を押す

録音先
◉MEMORY
○alneo
○USB

内蔵メモリーに録音するとき：「MEMORY」を選ぶ

MDに録音するとき：「MD」を選ぶ

5 録音の設定をする

① 設定したい項目を選び、[決定] を押す

② 設定を選び、[決定] を押す

録音メニュー	
録音先	[MEM]
圧縮方式	[WMA]
録音品質	[SP]

▼内蔵メモリーに録音する場合

■圧縮方式

MP3：MP3で録音します。

WMA：WMAで録音します。

■録音品質

HQ：高音質で録音します。SP、LPに比べて録音できる曲数は少なくなります。

SP：標準的な音質で録音します。

LP：録音できる曲数が多くなりますが音質は劣ります。

▼MDに録音する場合

■グループ作成

オフ：録音した曲はグループにはまとめられません。

オン：一度に録音した曲は同じグループにまとめられます。

■録音品質

SP：標準のステレオ録音（MD80で最大80分の録音可）

LP2：２倍長時間のステレオ録音（MD80で最大160分の録音可）

LP4：４倍長時間のステレオ録音（MD80で最大320分の録音可）

■LP:の付加

オフ：ステレオ長時間録音をするとき、曲タイトルの頭に「LP：」をつけません。

オン：ステレオ長時間録音をするとき、曲タイトルの頭に「LP：」をつけます。

6 ［録音］を押す

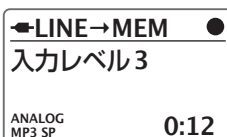
録音待機状態になります。

◆LINE→MEM ○
入力レベル3
ANALOG
MP3 SP
0:00

7 外部機器を再生する

◆LINE→MEM ●
入力レベル3
ANALOG
MP3 SP
0:12

音声が入力されると、録音が自動的に始まります。（サウンドシンクロ録音）

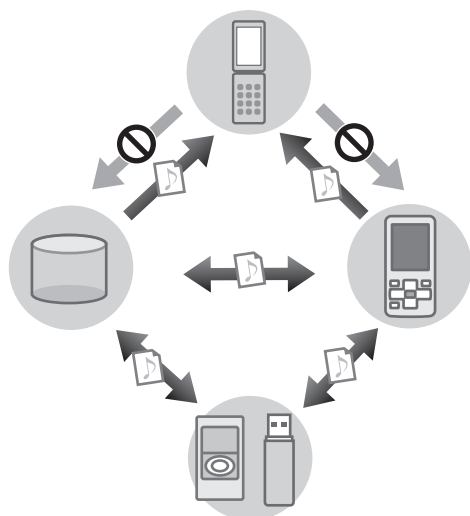
- トラックマークの設定を「マニュアル」にしているときは、トラックマークをつけたいところで［セット］を押してください。

8 音声の再生が終わったら、外部機器側の再生を停止し、本機の［■］を押す

録音が停止します。
「データベース更新中」－「録音が終了しました」と表示されたら［決定］を押してください。

お知らせ

- トラックマークをつけると、そこから別の曲として録音されます。内容に合わせてトラックマークをつけておくと、後で再生するときに便利です。
- トラックマークの間隔は10秒以上空けてください。10秒以内に［セット］を押すと、「しばらくお待ちください」と表示されます。「オート」の場合も10秒以内ではトラックマークは付きません。

内蔵メモリー、USB機器、アルネオ、携帯電話の間で曲を移動する

内蔵メモリーに録音した曲をUSB機器やアルネオに移して持ち出したり、USB機器やアルネオ内の曲を内蔵メモリーに移動したりできます。

ご注意

- 内蔵メモリー、USB機器、アルネオ、携帯電話の間での録音は曲（ファイル）の移動になり、録音元に曲（ファイル）は残りません。
- MTP接続した機器間では曲の移動はできません。
- 内蔵メモリーまたはアルネオから携帯電話に音楽ファイルを録音（移動）するときは、携帯電話の「USBモード設定」を「MTPモード」に設定してください。
- USB接続した携帯電話から内蔵メモリーに曲を録音（移動）することはできません。携帯電話から録音するときはLINE IN端子に携帯電話を接続してください。（➡72ページ）
- 携帯電話へ録音（移動）できる曲はWMAファイルのみです。
- USB機器内のWMA-DRMファイルは録音（移動）できません。

1曲だけ録音（移動）する

1 録音元、録音先の機器を準備する

➡62ページ

2 録音元のソース（音源）を選ぶ

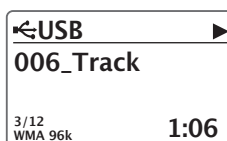
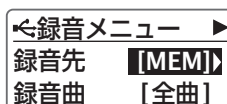
① [MEMORY]、[USB]、または［alneo］を押す
② [■］を押す

3 録音したい曲を再生する

USB ▶
006_Track
3/12
WMA 96k 1:06

4 ［録音］を押す

録音設定画面が表示されます。

録音メニュー ▶
録音先 [MEM]
録音曲 [全曲]

> **お知らせ**
> 録音設定を途中でやめるには、［キャンセル］を押します。

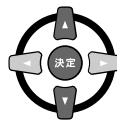
5 録音先を選ぶ

①「録音先」を選び、［決定］を押す
② 録音先を選び、［決定］を押す

録音先 ▶
◉MEMORY
○alneo
○MD

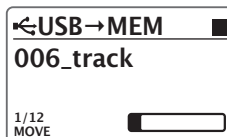
内蔵メモリーに録音するとき： 「MEMORY」を選ぶ
アルネオに録音するとき： 「alneo」を選ぶ
USB機器、携帯電話に録音するとき：「USB」を選ぶ

6 録音する曲を選ぶ

①「録音曲」を選び、［決定］を押す
②「1曲」を選び、［決定］を押す

> **お知らせ**
> • 録音中は音声は再生されません。
> • 録音を途中で止めるには、［■］を押します。

7 ［録音］を押す

「MEM・USB間の録音は移動になります」と表示されたら［決定］を押してください。
録音が始まります。

USB→MEM ■
006_track
1/12
MOVE

8 「移動が終了しました」と表示されたら、［決定］を押す

複数の曲をまとめて録音（移動）する

同じフォルダ内にある曲や、同じアルバムに含まれる曲を、まとめて録音（移動）することができます。

1 録音元、録音先の機器を準備する

➡62ページ

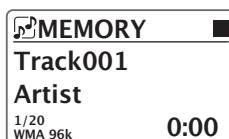
2 録音元のソース（音源）を選ぶ

① [MEMORY]、[USB]、または[alneo] を押す

② [■] を押す

MEMORY ■
Track001
Artist
1/20
WMA 96k
0:00

3 [選曲] を押す

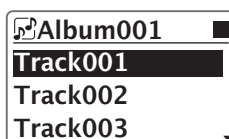
選曲

「ミュージック」メニューが表示されます。

ミュージック ■
プレイリスト
アーティスト
アルバム

4 録音したい曲のうちの１曲を選ぶ

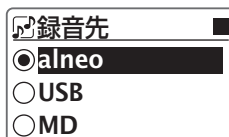
5 [録音] を押す

録音設定画面が表示されます。

録音メニュー ■
録音先 [USB]
録音曲 [選曲]

6 録音先を選ぶ

①「録音先」を選び、[決定] を押す

② 録音先を選び、[決定] を押す

録音先 ■
◉alneo
○USB
○MD

内蔵メモリーに録音するとき：	「MEMORY」を選ぶ
アルネオに録音するとき：	「alneo」を選ぶ
USB機器、携帯電話に録音するとき：	「USB」を選ぶ

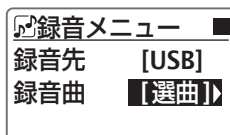
お知らせ

録音設定を途中でやめるには、[キャンセル] を押します。

7 録音する曲を選ぶ

①「録音曲」を選び、[決定] を押す

②「選曲」または「全曲」を選び、[決定] を押す

♪録音メニュー ■
録音先 [USB]
録音曲 [選曲]

録音する曲を選ぶとき：「選曲」を選ぶ
同じフォルダ／アルバム内の曲をすべて録音するとき：「全曲」を選ぶ

8 [録音] を押す

「MEM・USB間の録音は移動になります」と表示されたら [決定] を押してください。

▼手順7で「選曲」を選んだ場合

手順4で選んだ曲と同じ階層にある曲のリストが表示されます。
手順9,10へ進んでください。

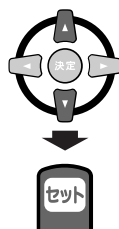
▼手順7で「全曲」を選んだ場合

録音が始まります。
手順11へ進んでください。

9 録音する曲を選ぶ

♪録音曲選択 ■
☑Track001
☐Track002
☐Track003

録音したい曲を選び、[セット] を押してください。
チェックマークのついた曲が録音されます。

- チェックマークをはずすには、もう一度 [セット] を押します。

10 [決定] を押す

録音が始まります。

- 録音中は音声は再生されません。

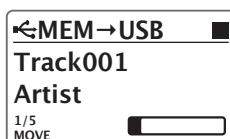
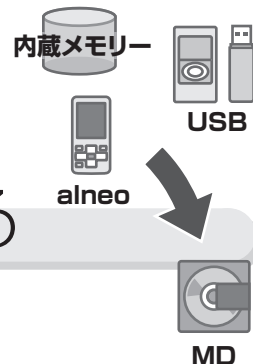
11 「移動が終了しました」と表示されたら、[決定] を押す

ご注意

- USB機器に録音中や、録音を停止して「移動が終了しました」と表示するまでは、接続機器を絶対に抜かないでください。
- 録音（移動）のときに空フォルダができることがあります。不要な場合は削除してください。(➡87ページ)

お知らせ

録音を途中で止めるには、[■] を押します。

USB
MD

内蔵メモリー、USB機器、アルネオからMDに録音する

1 録音元、録音先の機器を準備する

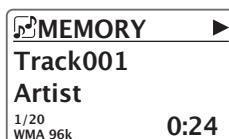
➡62ページ

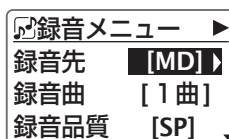
2 録音元のソース（音源）を選ぶ

① [MEMORY]、[USB]、または［alneo］を押す
② [■] を押す

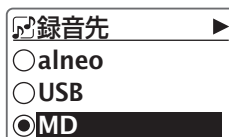
3 録音したい曲を再生する

MEMORY ▶
Track001
Artist
1/20
WMA 96k 0:24

4 ［録音］を押す

録音設定画面が表示されます。

録音メニュー ▶
録音先 [MD]
録音曲 [1 曲]
録音品質 [SP]

5 録音先を選ぶ

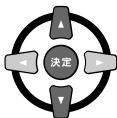
①「録音先」を選び、［決定］を押す
②「MD」を選び、［決定］を押す

録音先 ▶
○alneo
○USB
◉MD

お知らせ

録音設定を途中でやめるには、［キャンセル］を押します。

6 録音する曲を選ぶ

①「録音曲」を選び、［決定］を押す
②「1 曲」または「全曲」を選び、［決定］を押す

録音メニュー ▶
録音先 [MD]
録音曲 [1 曲]
録音品質 [SP]

選択した曲だけを録音するとき：　「1 曲」を選ぶ
選択した曲と同じフォルダ、アルバムの曲をすべて録音するとき：「全曲」を選ぶ

7 録音の設定をする

♪録音メニュー ▶
録音先 [MD]
録音曲 [１曲]
録音品質 [SP] ▶

■ グループ作成

オフ：　録音した曲はグループにはまとめられません。

オン：　一度に録音した曲は同じグループにまとめられます。

■ 録音品質

SP：　標準のステレオ録音（MD80で最大80分の録音可）

LP2：　２倍長時間のステレオ録音（MD80で最大160分の録音可）

LP4：　４倍長時間のステレオ録音（MD80で最大320分の録音可）

■ LP:の付加

オフ：　ステレオ長時間録音をするとき、曲タイトルの頭に「LP：」をつけません。

オン：　ステレオ長時間録音をするとき、曲タイトルの頭に「LP：」をつけます。

ご注意

録音が停止して「録音が終了しました」と表示されるまでは、接続機器を絶対に抜かないでください。

お知らせ

録音を途中で止めるには、［■］を押します。

8 ［録音］を押す

録音が始まります。

♪1TR→MD ●
Track005
Artist
34/50
ATRAC SP 0:06

9 「録音が終了しました」と表示されたら、［決定］を押す

▶ 複数の曲を選んで録音するには

録音したい曲にブックマークをつけるか、プレイリストとして保存し、そのブックマーク／プレイリストを再生します。（「ブックマーク・プレイリストを使う」➡**53** ～ **56**ページ）

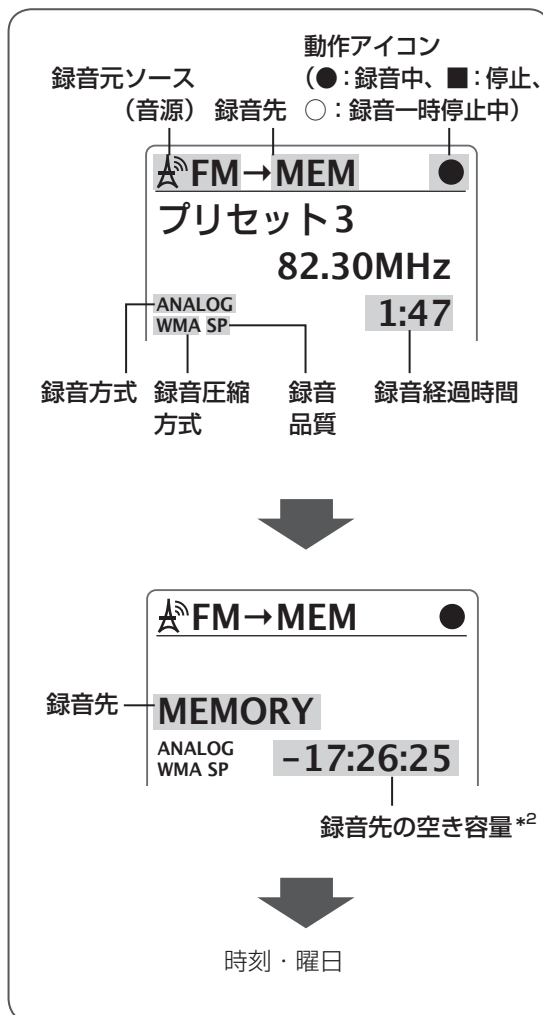
その後は通常の録音と同じように、**78**ページの手順**4**から操作してください。

手順**6**では「全曲」を選んでください。

録音画面について

［表示/文字］を押すと、時刻表示や録音残り時間などに表示を切り換えることができます。

▶ CD、内蔵メモリー、USBメモリー、携帯電話、アルネオから録音するとき

▶ ラジオ、外部機器から録音するとき

*1 1曲録音の場合は「1TR」と表示します。

*2 録音先の空き容量は、そのときの録音に使われる録音品質に応じて異なります。

曲情報を変更する

内蔵メモリー・MDの曲情報や、プレイリスト名を変更することができます。
内蔵メモリー：ファイル名、タイトル、アーティスト名、アルバム名、ジャンル名
MD：　　　　　タイトル、グループ名、ディスク名

内蔵メモリーの曲情報を変更する

例：「Album001」の名前を変更するとき

お知らせ
WAVファイルおよびAACファイルは、ファイル名のみ編集できます。

1
ソース（音源）を「MEMORY」にする

① [MEMORY] を押す
② [■] を押す

MEMORY ■
Track001
Artist
1/20
WMA 96k
0:00

2 「メニュー」
➔「ミュージック」
➔「アルバム」を選び、[決定] を押す

アルバムリストが表示されます。

アルバム ■
すべて
Album001
Album002

3 名前を変えたいアルバムを選ぶ

アルバム ■
すべて
Album001
Album002

4 [サブメニュー] を押す

サブメニューが表示されます。

5 「名前変更」を選び、[決定] を押す

サブメニュー ■
ブックマーク登録
編集
名前変更

6 「アルバム」を選び、[決定] を押す

準備
基本操作
再生(応用)
録音
編集
タイマー
設定
その他

7 名前を変更する

文字の入力については「文字入力のしかた」（➡ **83**ページ）をご覧ください。

名前変更 ■
アルバム名入力
Album001
[A]

> **お知らせ**
> 途中でやめるときは［■］を押します。

8 ［決定］を押す

名前が変更されます。

▶ ある曲の曲情報を変更したいとき

手順3の後で［決定］を押して編集したい曲を選びます。
手順6で変更したい項目を選んでください。

▶ あるアルバムに含まれる全ての曲の曲情報を変更したいとき

手順6で「アーティスト」または「ジャンル」を選んでください。選択したアルバムに含まれる全ての曲のアーティスト情報またはジャンル情報が変更されます。

MDの曲情報を変更する

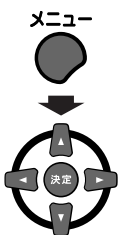
例：グループ名を変更するとき

1 ソース（音源）を「MD」にする

① ［MD］を押す
② ［■］を押す

MD ■
Track001
TOTAL 46
G8 1:14:55

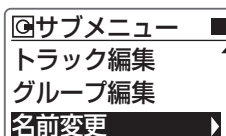
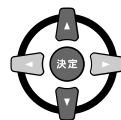
2 「メニュー」 ➔「ミュージック」 ➔「グループ」を選び、［決定］を押す

> **お知らせ**
> グループのないMDの場合は、「グループ」は表示されません。

3 名前を変えたいグループを選ぶ

グループ ■
Drive Best
Group02
Group03

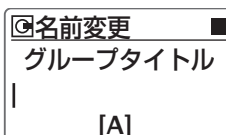
4 ［サブメニュー］を押す

サブメニューが表示されます。

5 「名前変更」を選び、[決定]を押す

6 「グループタイトル」を選び、[決定]を押す

7 名前を変更する

文字の入力については「文字入力のしかた」(➡ 下記)をご覧ください。

お知らせ

途中でやめるときは[■]を押します。

8 [決定]を押す

名前が変更されます。

▶ ディスク名を変更したいとき

手順6で「ディスクタイトル」を選び[決定]を押します。

▶ 曲のタイトルを変更したいとき

手順3の後で[決定]を押して編集したい曲を選びます。
手順6で「トラックタイトル」を選び[決定]を押します。

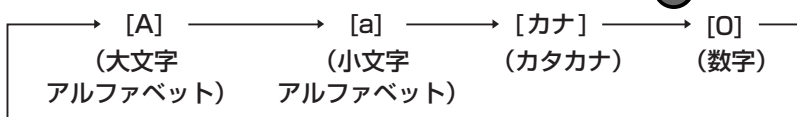
お知らせ

グループのないMDの場合は、手順1の後、編集したい曲を選び、手順4に進みます。

文字入力のしかた

▶ 入力する文字の種類を切り換えるには

[表示/文字]を押すごとに、次のように切り換わります。

表示/文字

▶ 入力位置を移動するには

[◀][▶]で入力位置を移動します。

▶ 文字を削除または追加するには

1文字消去： 消去したい文字の左側に[◀][▶]でカーソルを移動して[キャンセル]を押す

全文字消去： [キャンセル]を文字が消えるまで押しつづける

今ある名前に文字を追加する： [▶]でカーソルを追加する場所まで移動して文字を入力する

▶ 入力できる文字

数字ボタンを押すと、対応する文字が入力されます。

ボタン	大文字アルファベット	小文字アルファベット	数字	カタカナ
ア・記号 1	• 各種記号* ! " # $ % & ' ( ) * + , - . / : ; < = > ? @ _ ` • 空白スペース（□）		1	アイウエオァィゥェォ
カ・ABC 2	ABC	abc	2	カキクケコ
サ・DEF 3	DEF	def	3	サシスセソ
タ・GHI 4	GHI	ghi	4	タチツテト
ナ・JKL 5	JKL	jkl	5	ナニヌネノ
ハ・MNO 6	MNO	mno	6	ハヒフヘホ
マ・PQRS 7	PQRS	pqrs	7	マミムメモ
ヤ・TUV 8	TUV	tuv	8	ヤユヨャュョ
ラ・WXYZ 9	WXYZ	wxyz	9	ラリルレロ
オートプリセット ワヲン 0	（なし）	（なし）	0	ワヲン゛゜ー

* ■ の文字は、ファイル名には使用できません。

お知らせ

- 入力できる文字は半角です。全角文字、ひらがな、漢字は入力できません。
- 最大文字入力数は次の通りです。最大文字入力数を超える曲情報は、本機では表示・編集できません。曲情報を入力した機器などで編集してください。

  内蔵メモリー、ラジオ局名：128文字

  MD1枚：1792文字（タイトル名は最大61文字）

  MDの録音方式の制約により、実際に入力できる文字数はこれより少なくなります。
- 再生専用MDには、文字入力はできません。文字を入力しようとすると、「再生専用ディスクです」と表示されます。
- 誤消去防止状態のMDには、文字入力はできません。文字を入力しようとすると、「プロテクトされています」と表示されます。消去防止を解除してください。（➡ **63**ページ）
- MDに入力できる文字数について
  - カタカナは1文字あたりのデータ量が多いため、入力できる文字数が少なくなります。また、空白スペースは文字と同じデータ量を必要とします。
  - MDの録音設定で「LP:の付加」が「オン」に設定されていると、タイトルの前に「LP:」が自動でつき、「LP:」も文字数として数えられます。このため、「LP：」のつく曲数が多くなると、入力できる文字数は少なくなります。「LP:」はつけない設定にすることもできます。（➡ **68**、**72**、**73**、**79**ページ）

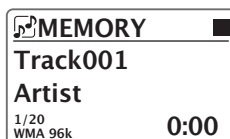
  例：　LP2またはLP4で120曲録音したMD：全曲に英数字で入力できる文字数は10文字です。
  　　　LP2またはLP4で60曲録音したMD：全曲にカタカナで入力できる文字数は10文字です。

内蔵メモリー、USB機器、アルネオの曲を削除する

内蔵メモリー、USB機器、アルネオ内のフォルダや曲（ファイル）を削除できます。

曲を削除する

ご注意

削除した曲を元に戻すことはできません。

1 削除したい曲の再生画面を表示する

MEMORY
Track001
Artist
1/20
WMA 96k
0:00

2 ［サブメニュー］を押す

サブメニューが表示されます。

サブメニュー
ブックマーク登録
編集
名前変更

お知らせ

途中でやめるときは［キャンセル］を押します。

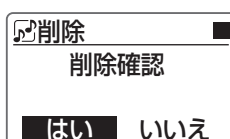
3 「編集」→「削除」を選び、［決定］を押す

削除確認画面が表示されます。

編集
削除

4 「はい」を選び、［決定］を押す

削除
削除確認
はい　いいえ

準備　基本操作　再生（応用）　録音　編集　タイマー　設定　その他

▶ 複数の曲（ファイル）を削除する

例：内蔵メモリーのAlbum001の曲を削除する場合

1

「メニュー」
→「ミュージック」
→「アルバム」を選び、
［決定］を押す

アルバムリストが表示されます。

2 「Album001」を選び、［決定］を押す

「Album001」に含まれる曲が表示されます。

3 ［サブメニュー］を押す

サブメニューが表示されます。

4 「編集」
→「削除」を選び、
［決定］を押す

1曲目にチェックマークが付いて表示されます。

> **お知らせ**
>
> 途中でやめるときは［キャンセル］を押します。

5 ［▲］［▼］で一緒に削除したい曲を選び、［セット］を押す

- チェックマークをはずすには、もう一度［セット］を押します。

削除対象選択
☑Track001
☐Track002
☑Track003

6 ［決定］を押す

削除確認画面が表示されます。

削除
削除確認
はい　いいえ

7 「はい」を選び、［決定］を押す

フォルダごと曲を削除する

例：USB 機器の「CD」フォルダの中の「Album001」フォルダと「Album003」フォルダを削除する場合

お知らせ

内蔵メモリーの中にある、録音元ソース（音源）名のついたフォルダは、この方法では削除できません。削除するには内蔵メモリーを初期化（フォーマット）して、全ての曲とフォルダを削除する必要があります。
（➡ 112ページ）

1 「メニュー」
➔「フォルダ」
➔「CD」を選び、
［決定］を押す

フォルダ
CD
FM
Artist001

2 「Album001」フォルダを選ぶ

フォルダ
Album001
Album002
Album003

3 ［サブメニュー］を押す

サブメニューが表示されます。

お知らせ

途中でやめるときは［キャンセル］を押します。

4 「編集」
➔「削除」を選び、
［決定］を押す

削除対象選択
Album001
Album002
Album003

選んだフォルダにチェックマークが付いて表示されます。

お知らせ

表示されているファイルも一緒に選ぶことができます。
🗀：フォルダを示します
♫：ファイルを示します

5 ［▲］［▼］で一緒に削除したいフォルダ、ファイルを選び、［セット］を押す

- チェックマークをはずすには、もう一度［セット］を押します。

削除対象選択
Album001
Album002
Album003

6 ［決定］を押す

削除確認画面が表示されます。

7 「はい」を選び、［決定］を押す

アルバムなどに含まれる曲をまとめて削除する（内蔵メモリー）

1 ［選曲］を押す

選曲

ミュージックメニューが表示されます。

ミュージック
プレイリスト
アーティスト
アルバム

2 削除したい項目を選ぶ

- **アーティストを削除するとき：**
  「アーティスト」から、削除したいアーティストを選ぶ
- **アルバムを削除するとき：**
  「アルバム」から、削除したいアルバムを選ぶ
- **ジャンルを削除するとき：**
  「ジャンル」から、削除したいジャンルを選ぶ

例：Album001を削除する場合

お知らせ

項目を反転させることで選択状態になります。［決定］を押して選んだ項目に含まれる曲のリストを表示すると、曲の削除になります。

3 ［サブメニュー］を押す

サブメニュー

サブメニューが表示されます。

サブメニュー
再生
ブックマーク登録
編集

4 「編集」→「削除」を選び、［決定］を押す

削除対象選択
すべて
☑Album001
☐Album002

削除対象選択画面でAlbum001にチェックマークが入って表示されます。

5 ［決定］を押す

削除確認画面が表示されます。

削除
削除確認
はい　いいえ

6 「はい」を選び、［決定］を押す

削除
削除確認
はい　いいえ

お知らせ

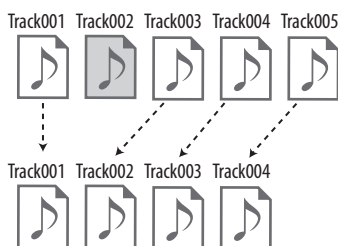
- 途中でやめるときは［キャンセル］を押します。
- 「すべて」を選ぶと表示されている項目すべてを削除します。
- リストから、別のアルバムも一緒に削除する場合は、［▲］［▼］で項目を選び、［セット］を押してください。
- チェックマークをはずすには、［セット］を押してください。

MDの曲を編集する

曲の名前を変える➡82ページ

曲を削除する

例：２曲目を削除した場合

ご注意

削除した曲を元に戻すことはできません。
よく確認してから削除してください。

1 ソース（音源）を「MD」にする

① [MD] を押す
② [■] を押す

MD ■
Track001
TOTAL 46
G8
1:14:55

2 [|◀◀] [▶▶|] で削除したい曲を選ぶ

MD ■
Track002
2/46
G1 LP2
0:00

3 [サブメニュー] を押す

サブメニューが表示されます。

サブメニュー ■
プログラム登録
トラック編集
グループ編集

お知らせ

途中でやめるときは［キャンセル］を押します。

4 「トラック編集」➔「トラック削除」を選び、[決定] を押す

削除確認画面が表示されます。

トラック編集 ■
トラック分割
トラック結合
トラック削除

5 「はい」を選び、[決定] を押す

トラック削除 ■
削除確認
はい いいえ

▶ 全ての曲を削除するには

手順4で「トラック編集」➔「全削除」を選んで［決定］を押します。

お知らせ

「サブメニュー」➔「グループ編集」➔「全削除」でも、全ての曲を削除できます。（➡95ページ）

▶ 複数の曲を削除する

最大15曲まで、一度に削除することができます。

1 ソース（音源）を「MD」にする

① [MD] を押す
② [■] を押す

MD ■
Track001
TOTAL 46 G8 1:14:55

2 「メニュー」→「ミュージック」→「トラック」を選び、[決定] を押す

トラックリストが表示されます。

トラック ■
Track001
Track002
Track003

3 [サブメニュー] を押す

サブメニューが表示されます。

サブメニュー ■
再生
プログラム登録
トラック編集

4 「トラック編集」→「トラック削除」を選び、[決定] を押す

削除対象選択 ■
☑Track001
☐Track002
☐Track003

お知らせ

途中でやめるときは［キャンセル］を押します。

5 [▲] [▼] で削除したい曲を選び、[セット] を押す

チェックマークをはずすには、もう一度［セット］を押します。

セット

削除対象選択 ■
☑Track001
☐Track002
☑Track003

6 [決定] を押す

削除確認画面が表示されます。

トラック削除 ■
削除確認
はい　いいえ

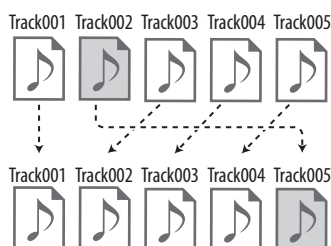
お知らせ

手順5でチェックマークを付けた曲数が15曲を超えていると、「一度に削除できる制限を超えました」と表示され、削除対象選択画面に戻ります。手順5に戻り、15曲以内になるようにチェックマークを付け直してください。

7 「はい」を選び、[決定] を押す

トラック削除 ■
削除確認
はい　いいえ

曲を並べ替える

例：2曲目を移動した場合

お知らせ

再生画面で［決定］を押して、トラックリストを表示することもできます。

1 「メニュー」➔「ミュージック」➔「トラック」を選び、［決定］を押す

トラックリストが表示されます。

トラック
Track001
Track002
Track003

2 ［サブメニュー］を押す

サブメニューが表示されます。

サブメニュー
再生
プログラム登録
トラック編集

お知らせ

途中でやめるときは［キャンセル］を押します。

3 「トラック編集」➔「トラック並べ替え」を選び、［決定］を押す

トラック編集
トラック分割
トラック結合
トラック並べ替え

4 並べ替えたい曲を選び、［決定］を押す

並べ替え対…
Track001
Track002
Track003

5 挿入位置を選び、［決定］を押す

確認画面が表示されます。

挿入位置選択
Track004
Track005
Track006

6 「はい」を選び、［決定］を押す

曲が並べ替えられ、「編集中」➡「変更しました」と表示されます。

トラック並べ…
この位置に
並べ替えますか？
はい　いいえ

曲を分ける

例：１曲目を分けた場合

1 分けたい曲を再生する

MD ▶
Track001
1/46 G1 SP 0:38

2 ［サブメニュー］を押す

サブメニューが表示されます。

サブメニュー

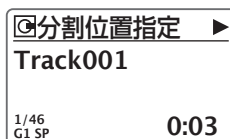
サブメニュー ▶
プログラム登録
トラック編集
グループ編集

3 「トラック編集」➔「トラック分割」を選び、［決定］を押す

トラック編集 ▶
グループ作成
トラック分割
トラック結合

4 分けたいところで［決定］を押す

押したところから約４秒間がくり返し再生されます。

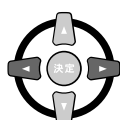
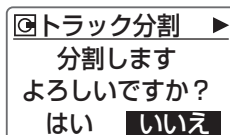
分割位置指定 ▶
Track001
1/46 G1 SP 0:03

5 分けるところを微調整する

- 分割位置は、－128～＋128（SP：標準モードで約±８秒）の範囲で微調整できます。
- 分割位置を調整しないときは「分割位置０」にします。

分割位置調整 ▶
Track001
分割位置 ◂ +3 ▸
1/46 G1 SP -:--

6 ［決定］を押す

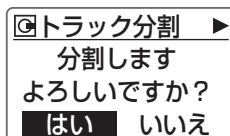
確認画面が表示されます。

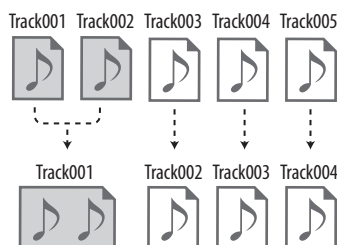
トラック分割 ▶
分割します
よろしいですか？
はい いいえ

7 「はい」を選び、［決定］を押す

「分割中」➡「分割しました」と表示され、再生画面に戻ります。

トラック分割 ▶
分割します
よろしいですか？
はい いいえ

お知らせ

- すでに254曲ある場合は、トラックを分けることはできません。（手順３で「トラック分割」が表示されません。）
- 途中でやめるときは［キャンセル］を押します。
- タイトルがついている曲を分けたときは、両方の曲に同じタイトルがつきます。

曲をつなげる

例：１曲目と２曲目をつなげた場合

お知らせ

- つなげられるのは隣り合った２曲です。
- タイトルがついている曲をつなげたときは、曲番号の小さい方の曲のタイトルになります。
- 途中でやめるときは［キャンセル］を押します。

1 「メニュー」
➔「ミュージック」
➔「トラック」を選び、
［決定］を押す

トラックリストが表示されます。

トラック
Track001
Track002
Track003

2 ［サブメニュー］を押す

サブメニューが表示されます。

サブメニュー
再生
プログラム登録
トラック編集

3 「トラック編集」
➔「トラック結合」を選び、
［決定］を押す

トラック編集
グループ作成
トラック分割
トラック結合

4 つなげたい曲を選び、
［決定］を押す

確認画面が表示されます。

結合対象選択
Track001
Track002
Track003

5 「はい」を選び、［決定］を押す

「結合中」➡「結合しました」と表示され、再生画面に戻ります。

トラック結合
トラックを
結合しますか？
はい　いいえ

お知らせ

以下の曲はつなげることはできません。「結合できません」と表示され、再生画面に戻ります。

- 録音品質（SP、LP2、LP4）が異なる曲
- デジタル録音した曲と、アナログ録音した曲
- １曲が８秒（録音品質：SP）以下の短い曲（「MDの制約について」➡123ページ）

MDのグループを編集する

・ 最大で99グループを管理することができます。

グループを削除する

例：Group02を削除した場合

1 **「メニュー」**
➔「ミュージック」
➔「グループ」を選び、
[決定]を押す

グループリストが表示されます。

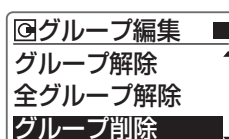
グループ
Group01
Group02
Group03

2 **[サブメニュー]を押す**

サブメニューが表示されます。

サブメニュー
再生
プログラム登録
グループ編集

3 **「グループ編集」**
➔「グループ削除」を選び、
[決定]を押す

グループ編集
グループ解除
全グループ解除
グループ削除

4 **削除したいグループを選び、[決定]を押す**

削除確認画面が表示されます。

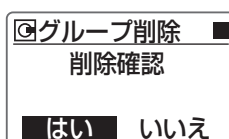
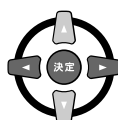
削除対象選択
Group01
Group02
Group03

5 **「はい」を選び、[決定]を押す**

「削除中」➡「削除しました」と表示されます。

グループ削除
削除確認
はい　いいえ

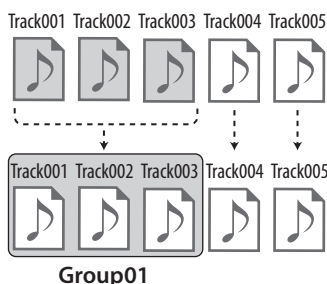
お知らせ

- 途中でやめるときは[キャンセル]を押します。
- 一度に1グループのみ削除できます。

> **お知らせ**
> 「サブメニュー」➔「トラック編集」➔「全削除」でも、全ての曲を削除できます。(➡89ページ)

▶ 全てのグループを削除するには

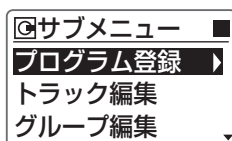
手順3で「グループ編集」➔「全削除」を選んで［決定］を押します。

グループを作る

曲をまとめてグループを作ることができます。
例：１曲目から３曲目までをグループにした場合

> **お知らせ**
> - グループにできるのは、どのグループにも登録されていない連続した曲です。
> - 最大99のグループまで作成できます。
> - 次の場合はグループを作成できません。（手順2で「グループ作成」は表示されません。）
>   - 99グループあるとき
>   - すべての曲がグループに登録されているとき
> - 途中でやめるときは［キャンセル］を押します。

1 **再生画面で［サブメニュー］を押す**

サブメニューが表示されます。

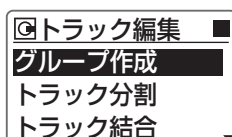
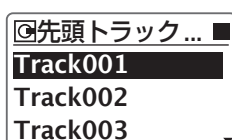
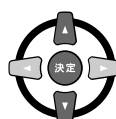
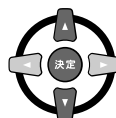
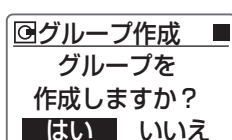
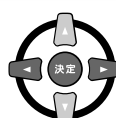
サブメニュー
プログラム登録
トラック編集
グループ編集

2 **「トラック編集」➔「グループ作成」を選び、［決定］を押す**

トラック編集
グループ作成
トラック分割
トラック結合

3 **グループの先頭にする曲を選び、［決定］を押す**

先頭トラック…
Track001
Track002
Track003

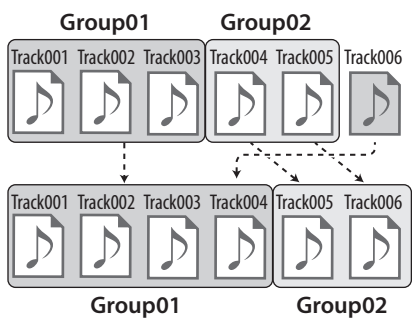
4 **グループの最後にする曲を選び、［決定］を押す**

最終トラック…
Track002
Track003
Track004

5 **「はい」を選び、［決定］を押す**

「作成中」➡「作成しました」と表示され、再生画面に戻ります。

グループに曲を追加する

曲を選んで、指定したグループの最後の曲として追加できます。

例：6曲目をGroup01に追加した場合

1 **再生画面で［サブメニュー］を押す**

サブメニューが表示されます。

サブメニュー
プログラム登録
トラック編集
グループ編集

2 **「グループ編集」➔「グループ登録」を選び、［決定］を押す**

グループ編集
グループ作成
グループ登録
グループ分割

3 **追加したい曲を選び、［決定］を押す**

登録対象選択
Track004
Track005
Track006

4 **登録したいグループを選び、［決定］を押す**

登録先選択
Group01
Group02
Group03

5 **「はい」を選び、［決定］を押す**

「登録中」➡「登録しました」と表示され、再生画面に戻ります。

グループ登録
グループに
登録しますか？
はい　いいえ

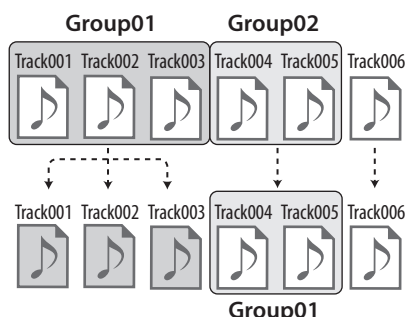
お知らせ

途中でやめるときは［キャンセル］を押します。

お知らせ

手順3で選んだ曲が、すでにそのグループに登録されているときは、「指定のグループに登録されています」と表示され、登録先選択画面に戻ります。登録するグループを選び直してください。

グループを解除する

例：Group01 を解除した場合

お知らせ

- グループを解除しても、曲は削除されません。
- 途中でやめるときは［キャンセル］を押します。

1 「メニュー」➔「ミュージック」➔「グループ」を選び、［決定］を押す

グループリストが表示されます。

グループ
Group01
Group02
Group03

2 解除したいグループを選ぶ

グループ
Group01
Group02
Group03

3 ［サブメニュー］を押す

サブメニューが表示されます。

サブメニュー
再生
プログラム登録
グループ編集

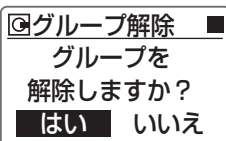
お知らせ

- 再生画面で、「サブメニュー」➔「グループ編集」➔「グループ解除」を選ぶと、現在選んでいる曲が登録されているグループを解除できます。
- 手順4で「グループ編集」➔「全グループ解除」を選ぶと、全てのグループが解除されます。

4 「グループ編集」➔「グループ解除」を選び、［決定］を押す

グループ編集
グループ結合
グループ並べ替え
グループ解除

5 解除したいグループを選び、［決定］を押す

解除対象選択
Group01
Group02
Group03

6 「はい」を選び、［決定］を押す

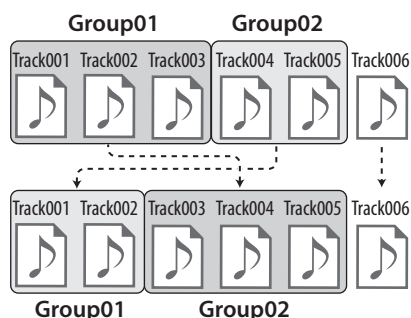
「解除中」➡「解除しました」と表示され、再生画面に戻ります。

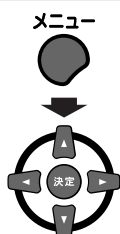
グループ解除
グループを
解除しますか？
はい　いいえ

グループを並べ替える

例：Group01 を移動した場合

1

「メニュー」
➔「ミュージック」
➔「グループ」を選び、
[決定] を押す

グループリストが表示されます。

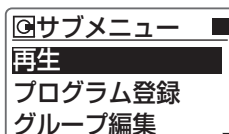
グループ
Group01
Group02
Group03

お知らせ

途中でやめるときは [キャンセル] を押します。

2

[サブメニュー] を押す

サブメニューが表示されます。

サブメニュー
再生
プログラム登録
グループ編集

3

「グループ編集」
➔「グループ並べ替え」を選び、[決定] を押す

グループ編集
グループ分割
グループ結合
グループ並べ替え

4

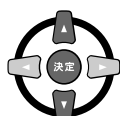
並べ替えたいグループを選び、[決定] を押す

並べ替え対...
Group01
Group02
Group03

5

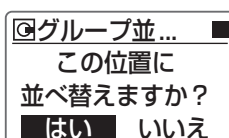
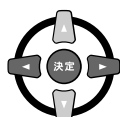
挿入位置を選び、[決定] を押す

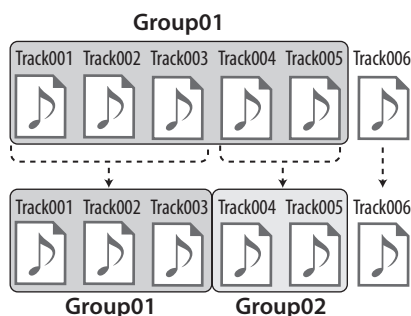
確認画面が表示されます。

挿入位置選択
Group02
Group03
Group04

挿入位置

6

「はい」を選び、[決定] を押す

「編集中」➡「変更しました」と表示され、再生画面に戻ります。

グループを分ける

例：Group01を2つに分けた場合

お知らせ

- 次の場合はグループを分けることはできません。（手順4で「グループ分割」は表示されません。）
  - 99グループあるとき
  - グループの総曲数が1曲のとき
- タイトルのついているグループを分けたときは両方のグループに同じタイトルがつきます。
- 途中でやめるときは［キャンセル］を押します。

1 「メニュー」
➔「ミュージック」
➔「グループ」を選び、
［決定］を押す

グループリストが表示されます。

グループ
Group01
Group02
Group03

2 分けたいグループを選ぶ

グループ
Group01
Group02
Group03

3 ［サブメニュー］を押す

サブメニューが表示されます。

サブメニュー
再生
プログラム登録
グループ編集

4 「グループ編集」
➔「グループ分割」を選び、
［決定］を押す

グループ編集
グループ分割
グループ結合
グループ並べ替え

5 分割したい位置を選び、
［決定］を押す

分割位置選択
Track002
Track003
Track004

6 「はい」を選び、［決定］を押す

「分割中」➡「分割しました」と表示され、再生画面に戻ります。

グループ分割
この位置で
分割しますか？
はい　いいえ

グループをつなげる

例：Group01 とGroup02 をつなげた場合

1 「メニュー」
➔「ミュージック」
➔「グループ」を選び、
［決定］を押す

グループリストが表示されます。

メニュー

グループ
Group01
Group02
Group03

2 ［サブメニュー］を押す

サブメニューが表示されます。

サブメニュー
再生
プログラム登録
グループ編集

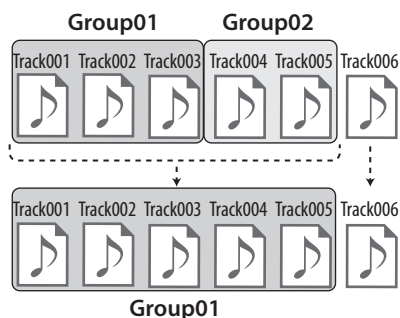
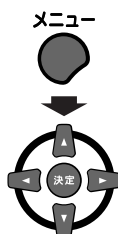
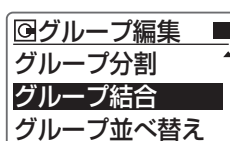
3 「グループ編集」
➔「グループ結合」を選び、
［決定］を押す

グループ編集
グループ分割
グループ結合
グループ並べ替え

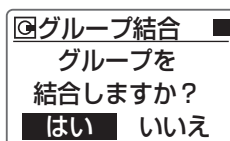
4 つなげたいグループを選び、［決定］を押す

結合対象選択
Group01
Group02
Group03

5 「はい」を選び、［決定］を押す

「結合中」➡「結合しました」と表示され、再生画面に戻ります。

グループ結合
グループを
結合しますか？
はい　いいえ

お知らせ

- つなげることができるのは隣り合った2つのグループです。
- タイトルがついているグループをつなげたときは、グループ番号の小さい方のグループのタイトルになります。
- 途中でやめるときは［キャンセル］を押します。

お知らせ

2つのグループの間にグループに登録されていない曲があるときは、グループをつなげることはできません。「結合できません」と表示され、手順4の結合対象選択画面に戻ります。つなげるグループを選び直してください。

タイマーを使う

本機には、スリープタイマー、再生タイマー、録音タイマーの３種類のタイマーがあります。
スリープタイマー１件、再生タイマーと録音タイマー合わせて４件を設定できます。

準備

タイマーの設定をする前に時計を合わせておいてください（➡20ページ）。

スリープタイマーを使う

設定した時間が経過すると自動的に電源が「切」になります。おやすみのときに便利です。

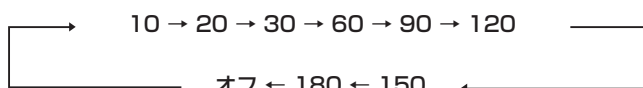
お知らせ

- スリープタイマーを設定すると、表示窓が暗くなります。
- 「メニュー」➔「設定」➔「共通設定」➔「スリープ」からも設定できます。

1 ［スリープ］を押す

スリープ

押すごとに、時間（単位：分）が以下のように切り換わります。

10 → 20 → 30 → 60 → 90 → 120 → 150 → 180 → オフ → 10

設定したい時間を表示させるだけで登録は完了です。

▶ 設定した時間を変更するには

［スリープ］をくり返し押して時間を選び直します。

▶ 設定した時間（残り時間）を確認するには

スリープタイマーが設定された状態で、［スリープ］を１回押します。

自動的に電源を切る（オートスタンバイ）

ラジオ以外のソース（音源）で、再生・録音の停止状態や無音状態が３分間以上続いたときに、電源が自動で切れます。

お知らせ

- 「メニュー」➔「設定」➔「共通設定」➔「オートスタンバイ」からも設定できます。
- 再生/録音の終了後や無音状態になると、表示窓の A.STBY 表示が点滅します。
- 再生/録音中に音量を「0」にしても、オートスタンバイは動作しません。

1 ［オートスタンバイ］を押す

オートスタンバイ

押すごとに次のように切り換わります。

表示	表示窓
オートスタンバイ　オン	A.STBY
●オートスタンバイ　オフ	（表示なし）

●：お買い上げ時の設定

準備 基本操作 再生（応用） 録音 編集 タイマー 設定 その他

録音タイマーを使う

指定した日時に自動的に電源が入り、ラジオ放送やLINE IN端子に接続した機器の音声を内蔵メモリーまたはMDに録音できます。再生タイマー、録音タイマー合わせて最大４件まで設定できます。
タイマーは電源「切」のときのみ動作します。設定後は本機の電源を切ってください。

お知らせ

- LINE接続機器の音声を録音する場合は、タイマー機能付き機器を使用してください。
- **タイマー開始時刻の４分前までに、タイマーの設定を終了して電源を「切」にしてください。**
- 最長録音可能時間は23時間56分です。
- **複数のタイマーを使う場合は、先に動作するタイマーの終了時刻と後に動作するタイマーの開始時間を、４分以上空けて設定してください。間隔が４分未満のとき、または重複しているときは、「他のタイマーとの間隔を４分以上あけてください」と表示されます。**
- 電源プラグをはずしたときや停電のときは、タイマーの設定項目内容は保持されますが、時計設定はお買い上げ時の状態に戻ります。時計を設定し直してください。
- 本機の時計は月に１分程度ずれるため、ときどき時計を合わせ直してください。（➡ **20**ページ）特に、録音タイマーを設定する前は正確な時刻に合わせることをお勧めします。
- 録音タイマーの動作中は、音量が0に設定されます。音声を聞きたいときは音量を調節してください。

1 タイマーの準備をする

録音したいソース（音源）を準備します。

ラジオ	放送局をプリセットしておく（➡ **25**ページ）
LINE	LINE IN端子（➡ **41**ページ）に再生機器を接続し、その機器の説明書に従う

MDに録音するときは

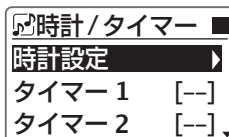
- 録音用MDを入れてください。
- 録音の空き時間を確認してください。（➡ **24**、**42**ページ）
- 誤消去防止つまみが閉じているかを確認してください。（➡**63**ページ）

2 録音の設定をする

設定方法と設定項目については以下をご覧ください。

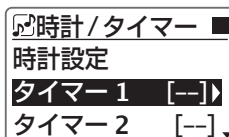
- ラジオから録音する（➡ **71**ページ）
- 外部機器から録音する（➡ **72**ページ）

3 ［時計 / タイマー］を押す

時計 / タイマー
時計設定
タイマー 1 [--]
タイマー 2 [--]

4 「タイマー 1」～「タイマー 4」のいずれかを選び、［決定］を押す

時計 / タイマー
時計設定
タイマー 1 [--]
タイマー 2 [--]

お知らせ

- タイマー設定を途中でやめるには、［キャンセル］を押します。
- １つ前の画面に戻るには［メニュー］を押します。

5 「設定」を選び、[決定] を押す

6 「録音タイマー」を選び、[決定] を押す

7 開始時刻と終了時刻を設定する

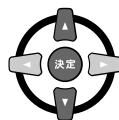
タイマー 1
開始 / 終了時刻
10:01PM–11:30PM

① 時刻を合わせる

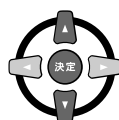
② 決定する

- 時刻を合わせ直したいときは、[◀] [▶] を押して修正したい位置にカーソルを合わせます。

8 繰り返しを設定する

「毎週」または「1 回」を選び、[決定] を押す

タイマー 1
繰り返し / 曜日
毎週　火曜日

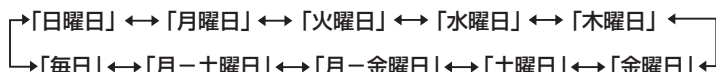
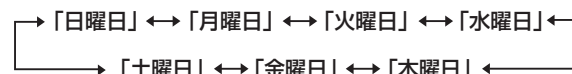
9 動作日を設定する

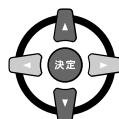
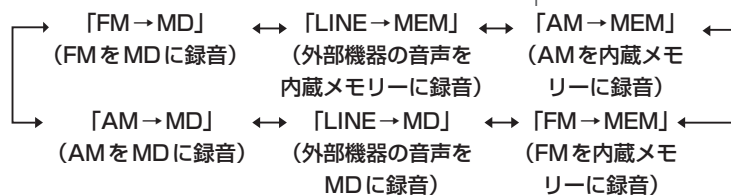
動作させたい曜日を選び、[決定] を押す

タイマー 1
繰り返し / 曜日
1回　火曜日

▼手順 8 で「毎週」を選んだとき

→「日曜日」↔「月曜日」↔「火曜日」↔「水曜日」↔「木曜日」←
→「毎日」↔「月－土曜日」↔「月－金曜日」↔「土曜日」↔「金曜日」←

▼手順 8 で「1 回」を選んだとき

→「日曜日」↔「月曜日」↔「火曜日」↔「水曜日」←
→「土曜日」↔「金曜日」↔「木曜日」←

10 録音元と録音先を選ぶ

録音元と録音先のソース（音源）を選び、[決定] を押す

タイマー 1
録音ソース
FM→MD

▼ラジオを録音するとき

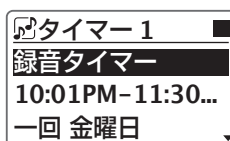
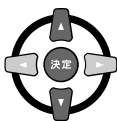
11 **録音放送局を選ぶ**

プリセットチャンネル一覧から選び、[決定]を押す

▼外部機器から録音するとき

手順12へ進んでください。

12 **設定内容を確認して、[決定]を押す**

タイマーが設定され、（数字は該当するタイマー番号）が表示されます。

13 **電源を切る**

08:48 PM
木曜日

タイマー録音した曲を再生するには

▶ 内蔵メモリーに録音した曲を再生するには

録音タイマーで内蔵メモリーに録音した曲は、メニューの「フォルダ」➔「タイマー録音」➔「FM」／「AM」／「LINE」から探すと便利です。

▶ MDに録音した曲を再生するには

録音タイマーでMDに録音した曲は、録音したMDの最後の曲として録音されます。最後の曲を選んで再生してください。

- MDに録音した曲の曲番号については、66ページをご覧ください。

再生タイマーを使う

指定した日時に自動的に電源が入り、CDやラジオが自動的に再生されます。再生タイマー、録音タイマー合わせて最大４件まで設定できます。

タイマーは電源「切」のときのみ動作します。設定後は本機の電源を切ってください。

お知らせ

- LINE接続機器の音声を再生する場合は、タイマー機能付き機器を使用してください。
- 再生タイマーが開始されると、音量が徐々に大きくなり、設定した音量になります。
- **タイマー開始時刻の４分前までに、タイマーの設定を終了して電源を「切」にしてください。**
- **複数のタイマーを使う場合は、先に動作するタイマーの終了時刻と後に動作するタイマーの開始時間を、４分以上空けて設定してください。間隔が４分未満のとき、または重複しているときは、「他のタイマーとの間隔を４分以上あけてください」と表示されます。**
- 電源プラグをはずしたときや停電のときは、タイマーの設定項目内容は保持されますが、時計設定はお買い上げ時の状態に戻ります。時計を設定し直してください。
- 本機の時計は月に１分程度ずれるため、ときどき時計を合わせ直してください。(➡ **20**ページ)

1 タイマーの準備をする

再生したいソース（音源）を準備します。

CD	CDを入れる
MD	MDを入れる
MEMORY	ブックマークまたはプレイリストを登録しておく（➡ **53**、**56**ページ）
USB	USB機器を接続し、ブックマークまたはプレイリストを登録しておく（➡ **53**、**56**ページ）
アルネオ	アルネオを接続し、ブックマークまたはプレイリストを登録しておく（➡ **53**、**56**ページ）
ラジオ	放送局をプリセットしておく（➡ **25**ページ）
LINE	LINE IN端子（➡ **41**ページ）に再生機器を接続し、その機器の説明書に従う

2 ［時計 / タイマー］を押す

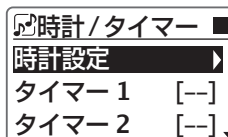
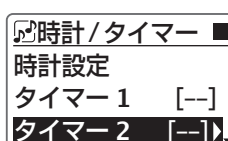
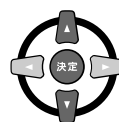
時計 / タイマー
時計設定
タイマー 1 [--]
タイマー 2 [--]

3 「タイマー 1」～「タイマー 4」のいずれかを選び、［決定］を押す

時計 / タイマー
時計設定
タイマー 1 [--]
タイマー 2 [--]

お知らせ

- タイマー設定を途中でやめるには、［キャンセル］を押します。
- １つ前の画面に戻るには［メニュー］を押します。

準備 / 基本操作 / 再生（応用） / 録音 / 編集 / タイマー / 設定 / その他

4 「設定」を選び、[決定] を押す

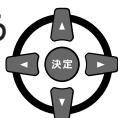
タイマー 2
設定

5 「再生タイマー」を選び、[決定] を押す

タイマー 2
タイマー種別
◉再生タイマー
○録音タイマー

6 開始時刻と終了時刻を設定する

① 時刻を合わせる

② 決定する

タイマー 2
開始/終了時刻
07:05AM-08:15AM

- 時刻を合わせ直したいときは、[◄] [►] を押して修正したい位置にカーソルを合わせます。

7 繰り返しを設定する

「毎週」または「1 回」を選び、[決定] を押す

タイマー 2
繰り返し/曜日
毎週　火曜日

8 動作日を設定する

動作させたい曜日を選び、[決定] を押す

タイマー 2
繰り返し/曜日
毎週　火曜日

▼手順7で「毎週」を選んだとき

→「日曜日」↔「月曜日」↔「火曜日」↔「水曜日」↔「木曜日」←
→「毎日」↔「月－土曜日」↔「月－金曜日」↔「土曜日」↔「金曜日」←

▼手順7で「1 回」を選んだとき

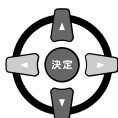
→「日曜日」↔「月曜日」↔「火曜日」↔「水曜日」←
→「土曜日」↔「金曜日」↔「木曜日」←

9 再生音量を設定する

音量（1 ～ 40）を選び、[決定] を押す

タイマー 2
再生音量
07

10 再生ソースを選ぶ

再生したいソース（音源）を選び、[決定] を押す

タイマー 2
再生ソース
FM

→「FM」↔「MD」↔「CD」↔「USB」←
→「AM」↔「LINE」↔「MEMORY」↔「alneo」←

11 再生する曲、放送局を選ぶ

▼FMまたはAMのとき: 再生する放送局を選ぶ

プリセットチャンネル一覧から選び、［決定］を押す

▼CDまたはMDのとき: 再生トラックを選ぶ

再生したいトラック番号（CD：1 ～ 99、MD：1 ～ 255）を選び、［決定］を押す

▼MEMORY、USBまたはalneoのとき:

再生プレイリスト/ブックマークを選ぶ

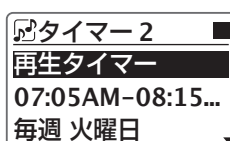
プレイリスト一覧またはブックマークから選び、［決定］を押す

▼LINEのとき

手順12へ進んでください。

> **お知らせ**
> - CD、MDにないトラックを選んだときは、1曲目から再生されます。
> - ブックマークとプレイリストがどちらも登録されていない場合は、内蔵メモリーまたはUSBの「メニュー」➔「ミュージック」➔「トラック」にあるトラックリストの順番で再生されます。

12 設定内容を確認して、［決定］を押す

タイマーが設定され、⏻2（数字は該当するタイマー番号）が表示されます。

13 電源を切る

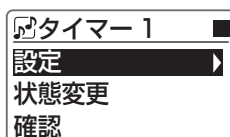
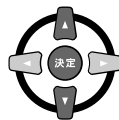
09:23 AM
土曜日

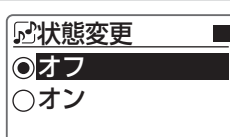
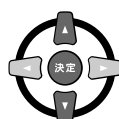
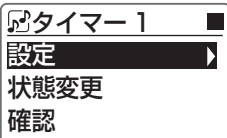
再生/録音タイマーをオフにするには

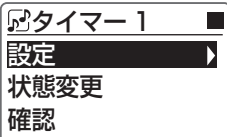
> **お知らせ**
> - 操作を途中でやめるには、［キャンセル］を押します。
> - 1つ前の画面に戻るには［メニュー］を押します。

1 ［時計/タイマー］を押す

2 オフにしたいタイマー番号を選び、［決定］を押す

タイマー 1
設定
状態変更
確認

3 「状態変更」を選び、［決定］を押す

4 「オフ」を選び、［決定］を押す

⏻1（再生タイマーの場合）または
⏻1 REC（録音タイマーの場合）が消えます。

> **お知らせ**
> 「オフ」にしても設定内容は削除されません。

再生/録音タイマーの設定を確認するには

1 ［時計/タイマー］を押す

2 確認したいタイマー番号を選び、［決定］を押す

タイマー 1
設定
状態変更
確認

3 「確認」を選び、［決定］を押す

設定の内容が表示されます。

タイマー 1
録音タイマー
10:01PM−11:30...
一回 金曜日

お知らせ

- タイマー設定の確認を途中でやめるには、［キャンセル］を押します。
- 1つ前の画面に戻るには［メニュー］を押します。

再生/録音タイマーの設定を変更するには

1 ［時計/タイマー］を押す

2 変更したいタイマー番号を選び、［決定］を押す

3 「設定」を選び、［決定］を押す

4 変更したい項目が表示されるまで［決定］を押す

お知らせ

変更方法は、各項目の設定方法をご覧ください。
（➡ 102～107ページ）

▶ 再生/録音タイマーの設定内容を消去するには

1 ［時計/タイマー］を押す

2 設定内容を消去したいタイマー番号を選び、［キャンセル］を２秒以上押しつづける

設定を変える

表示窓の色や明るさをお好みで変えられるほか、CDの取り出しを制限したり、内蔵メモリーの内容を全て消したりすることができます。
目的に合わせて、次のページを参照してください。

- 表示窓の色や明るさを変えたい（➡ 下記および110ページ）
- CDやMDが取り出せないようロックしたい（➡ 111ページ）
- 内蔵メモリーやMDの空き容量や録音可能時間を知りたい（➡ 111ページ）
- 内蔵メモリーの内容をすべて消したい（➡ 112ページ）

表示窓の表示を変える

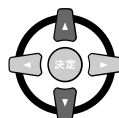
ソース（音源）ごとに表示窓の色を設定したり、表示の明るさを調節したりできます。

表示窓の色を変える

お知らせ

表示色の見えかたは、本機の使用環境や使用期間により異なって見えることがあります。

1 ［カラー］を押す

2 変更したい色（「赤」/「緑」/「青」）を選ぶ

3 色レベルを選ぶ

- 3色すべての「■」を消すことはできません。

4 手順2～3をくり返して、好みの色に調節する

5 ［カラー］を押す

設定が保存され、通常画面に戻ります。

カラー

準備　基本操作　再生（応用）　録音　編集　タイマー　設定　その他

明るさを変える（ディマー機能）

1 **［ディマー］を押す**

押すごとに、明るさが切り換わります。

設定	明るさ
モード1	やや暗くなる
モード2	暗いブルーになる
●オフ	元の明るさに戻る

お知らせ

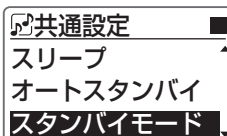
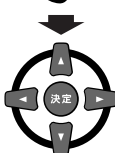
- 「メニュー」➔「設定」➔「共通設定」➔「ディマー」からも明るさを変えられます。
- モード2の色は変更できません。表示窓の色に関係なく暗いブルーになります。

●：お買い上げ時の設定

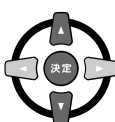
省電力設定をする（スタンバイモード）

省電力のために、スタンバイ時の表示窓の時計表示を消すことができます。

1 **「メニュー」**
➔「設定」
➔「共通設定」
➔「スタンバイモード」
を選び、［決定］を押す

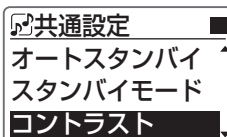
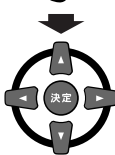
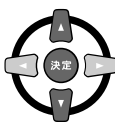
共通設定
スリープ
オートスタンバイ
スタンバイモード

2 **「表示オフ」を選び、［決定］を押す**

お知らせ

- 電源が切れているときに［ディマー］を押してもスタンバイモードの設定ができます。押すごとに「表示オフ」と「表示オン」が切り換わります。「表示オン」にするときは、「表示オン」が表示されるまで（約10秒）押しつづけてください。
- 「表示オフ」に設定していると、接続されたUSB機器およびアルネオは、本機のスタンバイ時には充電されません。

表示窓の表示の色合いを変える（コントラスト）

表示窓の表示の濃さをお好みに合わせて変更できます。

1 **「メニュー」**
➔「設定」
➔「共通設定」
➔「コントラスト」
を選び、［決定］を押す

共通設定
オートスタンバイ
スタンバイモード
コントラスト

2 **お好みの色の濃さに調節し、［決定］を押す**

0～10の範囲で調節できます。

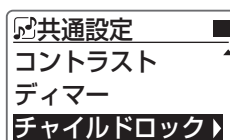
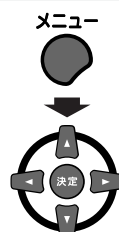
CDやMDの取り出しをロックする（チャイルドロック）

CDやMDを取り出せないように設定できます。小さなお子様のいたずら防止に便利です。

お知らせ

スタンバイ時に本体の■を押しながらCD⏏を押しても設定できます。スタンバイ時でスタンバイモードが「表示オフ」のときは、設定を表示するまで（約10秒）押しつづけてください。

1 「メニュー」
➔「設定」
➔「共通設定」
➔「チャイルドロック」
を選び、［決定］を押す

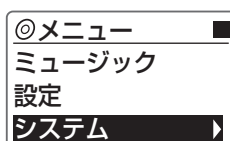
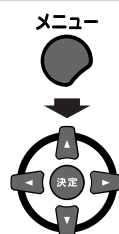
共通設定
コントラスト
ディマー
チャイルドロック

2 「オン」を選び、［決定］を押す

▶ チャイルドロックを解除するには

上記の手順2で「オフ」を選び、［決定］を押します。

本機の情報を表示する

1 「メニュー」
➔「システム」
を選び、［決定］を押す

◎メニュー
ミュージック
設定
システム

▼バージョン情報を見る

2 「バージョン情報」を選び、［決定］を押す

ファームウェアのバージョン情報が表示されます。

▼ストレージ情報を見る

2 「ストレージ情報」を選び、［決定］を押す

3 情報を見たいソース（音源）を選び、［決定］を押す

空き容量や曲数などが表示されます。

内蔵メモリー /アルネオ /USB 機器を初期化する（フォーマット）

内蔵メモリー

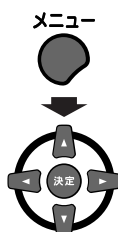
USB

alneo

内蔵メモリー、アルネオ、USB 機器内のデータをすべて消します。

1 フォーマットしたいソース（音源）を選ぶ

① [MEMORY]、[alneo] または [USB] を押す
② [■] を押す

2 「メニュー」➔「システム」➔「フォーマット」を選び、[決定] を押す

システム
バージョン情報
ストレージ情報
フォーマット

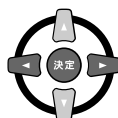
3 「はい」を選び、[決定] を押す

- 「いいえ」を選ぶと、1 つ前の画面に戻ります。

システム
フォーマットしますか？
はい　いいえ

4 「はい」を選び、[決定] を押す

内蔵メモリー、アルネオまたはUSB機器の内容が、すべて消去されます。

- 「いいえ」を選ぶと、フォーマットせずに 1 つ前の画面に戻ります。

システム
全消去されます
よろしいですか？
はい　いいえ

ご注意

削除したデータを元に戻すことはできません。

メニュー / サブメニュー項目一覧

メニュー項目

▶ CD

メニュー					詳細（選択可能な項目）	参照ページ
ミュージック	プログラム				プログラム再生	50
ミュージック	トラック				CD内の曲の一覧	22
設定	CD設定	再生設定	リピート		オフ、1曲、すべて	44
設定	CD設定	再生設定	再生モード		ノーマル、プログラム、ランダム	45, 50
設定	CD設定	録音設定	録音方式		デジタル高速、デジタル標準、アナログ	68
設定	CD設定	録音設定	メモリー録音	圧縮方式	MP3、WMA	68
設定	CD設定	録音設定	メモリー録音	録音品質	HQ、SP、LP	68
設定	CD設定	録音設定	alneo録音	圧縮方式	MP3、WMA	68
設定	CD設定	録音設定	alneo録音	録音品質	HQ、SP、LP	68
設定	CD設定	録音設定	USB録音	圧縮方式	MP3、WMA	68
設定	CD設定	録音設定	USB録音	録音品質	HQ、SP、LP	68
設定	CD設定	録音設定	MD録音	グループ作成	オフ、オン	68
設定	CD設定	録音設定	MD録音	録音品質	SP、LP2、LP4	68
設定	CD設定	録音設定	MD録音	LP：の付加	オフ、オン	68
設定	共通設定				➡「共通設定」（120ページ）	
システム	バージョン情報				本機のファームウェアのバージョンを表示	111
システム	ストレージ情報				内蔵メモリー、アルネオ、USB機器： 総容量、空き容量、全楽曲数を表示 MD：総時間、空き時間、全楽曲数を表示	111

▶ MD

<table>
<tr><th colspan="5">メニュー</th><th>詳細（選択可能な項目）</th><th>参照ページ</th></tr>
<tr><td rowspan="3">ミュージック</td><td colspan="4">プログラム</td><td>プログラム再生</td><td>50</td></tr>
<tr><td colspan="4">トラック</td><td>MD内の曲の一覧</td><td>28</td></tr>
<tr><td colspan="4">グループ</td><td>MD内のグループの一覧</td><td>28</td></tr>
<tr><td rowspan="9">設定</td><td rowspan="8">MD設定</td><td rowspan="2">再生設定</td><td colspan="2">リピート</td><td>オフ、1曲、すべて</td><td>44</td></tr>
<tr><td colspan="2">再生モード</td><td>ノーマル、プログラム、ランダム</td><td>45, 50</td></tr>
<tr><td rowspan="6">録音設定</td><td rowspan="2">メモリー録音</td><td>圧縮方式</td><td>MP3、WMA</td><td rowspan="6">70</td></tr>
<tr><td>録音品質</td><td>HQ、SP、LP</td></tr>
<tr><td rowspan="2">alneo録音</td><td>圧縮方式</td><td>MP3、WMA</td></tr>
<tr><td>録音品質</td><td>HQ、SP、LP</td></tr>
<tr><td rowspan="2">USB録音</td><td>圧縮方式</td><td>MP3、WMA</td></tr>
<tr><td>録音品質</td><td>HQ、SP、LP</td></tr>
<tr><td colspan="4">共通設定</td><td colspan="2">➡「共通設定」（120ページ）</td></tr>
<tr><td rowspan="2">システム</td><td colspan="4">バージョン情報</td><td>本機のファームウェアのバージョンを表示</td><td>111</td></tr>
<tr><td colspan="4">ストレージ情報</td><td>内蔵メモリー、アルネオ、USB機器：
総容量、空き容量、全楽曲数を表示
MD：総時間、空き時間、全楽曲数を表示</td><td>111</td></tr>
</table>

▶ MEMORY

メニュー					詳細（選択可能な項目）	参照ページ
ミュージック	プレイリスト				ブックマーク / プレイリスト一覧	56
	アーティスト				内蔵メモリー内の曲のアーティスト一覧	30
	アルバム				内蔵メモリー内の曲のアルバム一覧	
	ジャンル				内蔵メモリー内の曲のジャンル一覧	
	トラック				内蔵メモリー内の曲の一覧	
フォルダ	CD				CDから録音した曲の一覧	31
	MD				MDから録音した曲の一覧	
	alneo				アルネオから録音した曲の一覧	
	USB				USB機器から録音した曲の一覧	
	FM				FM放送から録音した曲の一覧	
	AM				AM放送から録音した曲の一覧	
	LINE				LINE INから録音した曲の一覧	
設定	メモリー設定	再生設定	リピート		オフ、1曲、すべて	44
			再生モード		ノーマル、ランダム	45
		録音設定	MD録音	グループ作成	オフ、オン	79
				録音品質	SP、LP2、LP4	
				LP：の付加	オフ、オン	
	共通設定				➡「共通設定」（120ページ）	
システム	バージョン情報				本機のファームウェアのバージョンを表示	111
	ストレージ情報				内蔵メモリー、アルネオ、USB機器： 総容量、空き容量、全楽曲数を表示 MD：総時間、空き時間、全楽曲数を表示	111
	フォーマット				内蔵メモリーを初期化	112

▶ USB/alneo

メニュー					詳細（選択可能な項目）	参照ページ
ミュージック	プレイリスト				ブックマーク/プレイリスト一覧	56
ミュージック	アーティスト				USB機器／アルネオ内の曲のアーティスト一覧	35, 39
ミュージック	アルバム				USB機器／アルネオ内の曲のアルバム一覧	35, 39
ミュージック	ジャンル				USB機器／アルネオ内の曲のジャンル一覧	35, 39
ミュージック	トラック				USB機器／アルネオ内の曲の一覧	35, 39
フォルダ					USB機器／アルネオ内のフォルダ、ファイルの一覧	36, 40
設定	USB設定／alneo設定	再生設定	リピート		オフ、1曲、すべて	44
設定	USB設定／alneo設定	再生設定	再生モード		ノーマル、ランダム	45
設定	USB設定／alneo設定	録音設定	MD録音	グループ作成	オフ、オン	79
設定	USB設定／alneo設定	録音設定	MD録音	録音品質	SP、LP2、LP4	79
設定	USB設定／alneo設定	録音設定	MD録音	LP：の付加	オフ、オン	79
設定	USB設定／alneo設定	接続モード			オート、MSC USB機器の接続モードの設定	33, 40
設定	共通設定				➡「共通設定」（120ページ）	
システム	バージョン情報				本機のファームウェアのバージョンを表示	111
システム	ストレージ情報				内蔵メモリー、アルネオ、USB機器： 総容量、空き容量、全楽曲数を表示 MD：総時間、空き時間、全楽曲数を表示	111
システム	フォーマット				USB機器／アルネオを初期化	112

▶ ラジオ（FM）

メニュー					詳細（選択可能な項目）	参照ページ
プリセットチャンネル					プリセットしたチャンネルの一覧（1 ～ 30）	26
オートプリセット					放送局を自動的にプリセット	25
設定	FM設定	FMモード			**オート、モノラル**	26
		録音設定	トラックマーク		**マニュアル**：手動でトラックマークを付ける **タイム**：5分間隔でトラックマークを付ける **オート**：2秒以上の無音が続いたときに、自動でトラックマークを付ける	72
			メモリー録音	圧縮方式	MP3、WMA	71, 72
				録音品質	HQ、SP、LP	
			alneo録音	圧縮方式	MP3、WMA	
				録音品質	HQ、SP、LP	
			USB録音	圧縮方式	MP3、WMA	
				録音品質	HQ、SP、LP	
			MD録音	グループ作成	オフ、オン	
				録音品質	SP、LP2、LP4	
				LP：の付加	オフ、オン	
	共通設定				➡「共通設定」（120ページ）	
システム	バージョン情報				本機のファームウェアのバージョンを表示	111
	ストレージ情報				内蔵メモリー、アルネオ、USB機器：総容量、空き容量、全楽曲数を表示 MD：総時間、空き時間、全楽曲数を表示	111

▶ ラジオ（AM）

<table>
<tr><th colspan="5">メニュー</th><th>詳細（選択可能な項目）</th><th>参照ページ</th></tr>
<tr><td colspan="5">プリセットチャンネル</td><td>プリセットしたチャンネルの一覧
（1 ～ 15）</td><td>26</td></tr>
<tr><td colspan="5">オートプリセット</td><td>放送局を自動的にプリセット</td><td>25</td></tr>
<tr><td rowspan="12">設定</td><td rowspan="11">AM設定</td><td rowspan="10">録音設定</td><td colspan="2">トラックマーク</td><td>マニュアル：
手動でトラックマークを付ける
タイム：
５分間隔でトラックマークを付ける
オート：
２秒以上の無音が続いたときに、自動でトラックマークを付ける</td><td>72</td></tr>
<tr><td rowspan="2">メモリー録音</td><td>圧縮方式</td><td>MP3、WMA</td><td rowspan="9">71,
72</td></tr>
<tr><td>録音品質</td><td>HQ、SP、LP</td></tr>
<tr><td rowspan="2">alneo録音</td><td>圧縮方式</td><td>MP3、WMA</td></tr>
<tr><td>録音品質</td><td>HQ、SP、LP</td></tr>
<tr><td rowspan="2">USB録音</td><td>圧縮方式</td><td>MP3、WMA</td></tr>
<tr><td>録音品質</td><td>HQ、SP、LP</td></tr>
<tr><td rowspan="3">MD録音</td><td>グループ作成</td><td>オフ、オン</td></tr>
<tr><td>録音品質</td><td>SP、LP2、LP4</td></tr>
<tr><td>LP：の付加</td><td>オフ、オン</td></tr>
<tr><td colspan="4">共通設定</td><td colspan="2">➡「共通設定」（120ページ）</td></tr>
<tr><td rowspan="2">システム</td><td colspan="4">バージョン情報</td><td>本機のファームウェアのバージョンを表示</td><td>111</td></tr>
<tr><td colspan="4">ストレージ情報</td><td>内蔵メモリー、アルネオ、USB機器：
総容量、空き容量、全楽曲数を表示
MD：総時間、空き時間、全楽曲数を表示</td><td>111</td></tr>
</table>

▶ LINE

メニュー					詳細（選択可能な項目）	参照ページ
設定	LINE設定	入力レベル			**レベル１、レベル２、レベル３** 外部機器からの音声入力レベルの調節	42
		録音設定	トラックマーク		**マニュアル**： 手動でトラックマークを付ける **タイム**： ５分間隔でトラックマークを付ける **オート**： ２秒以上の無音が続いたときに、自動でトラックマークを付ける	72
			メモリー録音	圧縮方式	MP3、WMA	73
				録音品質	HQ、SP、LP	
			USB録音	圧縮方式	MP3、WMA	
				録音品質	HQ、SP、LP	
			MD録音	グループ作成	オフ、オン	
				録音品質	SP、LP2、LP4	
				LP：の付加	オフ、オン	
	共通設定				➡「共通設定」（120ページ）	
システム	バージョン情報				本機のファームウェアのバージョンを表示	111
	ストレージ情報				内蔵メモリー、アルネオ、USB機器： 総容量、空き容量、全楽曲数を表示 MD：総時間、空き時間、全楽曲数を表示	111

▶ 共通設定

メニュー					詳細（選択可能な項目）	参照ページ
設定	共通設定	MagicSync	自動設定	ディスク挿入時	**オフ、オン** CD挿入時に曲情報を取得	58
				録音開始時	**オフ、オン** 録音開始時に曲情報を取得	58, 68
			携帯設定		**オート、NTTドコモ、SoftBank、au、NTT moperaU**	58
		alneo連携モード			**オフ、モード1、モード2**	40
		時計/タイマー	時計設定	時刻合わせ	時計の設定	20
				12/24h		
			タイマー 1 ～ 4		タイマーの設定	102, 105
		スリープ			スリープタイマーの設定（オフ、10分、20分、30分、60分、90分、120分、150分、180分）	101
		オートスタンバイ			**オフ、オン** オートスタンバイの設定	101
		スタンバイモード			**表示オフ、表示オン** スタンバイ時の時計表示の設定	110
		コントラスト			**0 ～ 10** 表示窓の濃さの設定	110
		ディマー			**オフ、ディマー 1、ディマー 2** 表示窓の明るさの設定	110
		チャイルドロック			**オフ、オン** CDやMDを取り出せないようにする設定	111

サブメニュー項目

- サブメニューの内容は、表示する条件によって異なります。
- LINEにはサブメニューはありません。

▶ CD

サブメニュー		詳細	参照ページ
再生		曲の再生	22
プログラム登録	追加登録	プログラムの追加登録	47
	新規登録	プログラムの新規登録	
編集	削除	プログラムリストの削除	52
	トラック並べ替え	プログラムのトラックを並べ替え	50, 51

▶ MD

サブメニュー		詳細	参照ページ
再生		曲の再生	27
プログラム登録	追加登録	プログラムの追加登録	49
	新規登録	プログラムの新規登録	
トラック編集	グループ作成	グループの作成	95
	トラック分割	曲の分割	92
	トラック結合	曲の結合	93
	トラック並べ替え	曲の移動	91
	トラック削除	曲の削除	89
	全削除	MDの全内容の削除	89
グループ編集	グループ作成	グループの作成	95
	グループ登録	グループに曲を追加	96
	グループ分割	グループの分割	99
	グループ結合	グループの結合	100
	グループ並べ替え	グループの並べ替え	98
	グループ解除	グループの解除	97
	全グループ解除	全てのグループの解除	
	グループ削除	グループの削除	94
	全削除	MDの全内容の削除	95
名前変更	トラックタイトル	トラックタイトルの変更	82
	グループタイトル	グループタイトルの変更	
	ディスクタイトル	ディスクタイトルの変更	

▶ MEMORY

サブメニュー		詳細	参照ページ
再生		曲の再生	30
ブックマーク登録	追加登録	ブックマークの追加登録	54
	新規登録	ブックマークの新規登録	
	プレイリストに保存	ブックマークからプレイリストを作成	56
編集	削除	曲の削除	85
名前変更	ファイル	ファイル名の変更	81
	タイトル	タイトル名の変更	
	アーティスト	アーティスト名の変更	
	アルバム	アルバム名の変更	
	ジャンル	ジャンル名の変更	
	プレイリスト	プレイリスト名の変更	
詳細情報	表示	曲の詳細情報を表示	60

▶ USB、アルネオ

サブメニュー		詳細	参照ページ
再生		曲、フォルダの再生	35, 39
ブックマーク登録	追加登録	ブックマークの追加登録	54
	新規登録	ブックマークの新規登録	
	プレイリストに保存	ブックマークからプレイリストを作成	56
編集	削除	曲、フォルダの削除	85
最新情報に更新		USB機器を最新の情報に更新	37
詳細情報	表示	曲、フォルダの詳細情報を表示	60

▶ ラジオ（FM/AM）

サブメニュー	詳細	参照ページ
プリセット登録	プリセットの登録	25
プリセット名変更	プリセット名の変更	26

制約について

MDの制約について

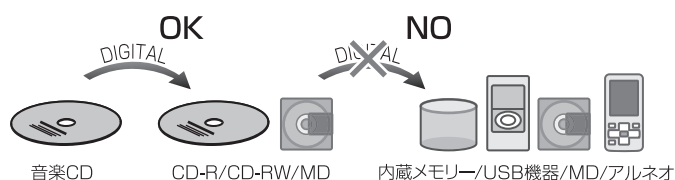
MDは、従来のカセットテープなどとは異なる独自の方式で情報を記録しています。このMDの記録方式にはいくつかの制約があるため、次のような症状になることがあります。これらは製品の故障ではありませんので、ご了承ください。

症状	原因
曲番号にも収録可能時間にも余裕があるのに「空き容量が足りません」が表示される。	部分的に消して録音し直す操作をくり返すと、ディスクのあちらこちらに空き部分ができます。このような録音をしたMDには、1曲のデータが空き部分に細かく分けて記録されます。録音中、分けられた部分が多くなると「空き容量が足りません」が表示されることがあります。分けられて時間の短い部分（SP：8秒以下、LP2：16秒以下、LP4：32秒以下）ができると、その曲は、「トラック結合」でつなげることはできません。また、その部分は消しても残り時間は増えません。 細かく分けて記録されている曲は、早送りや早戻しすると音が途切れることがあります。 また、MDLP規格による録音(MDLP)モードが異なる曲は、「トラック結合」でつなげることができません。デジタル録音した曲とアナログ録音した曲も「トラック結合」でつなげることはできません。
「トラック結合」機能が使えない。	
曲を消しても残り時間が増えない。 早送り、早戻しをすると、音が途切れることがある。	
録音した時間と残り時間を足しても、MDに表示された収録可能時間にならない。	MDは、最低でもSPモードで12秒、LP2で24秒、LP4で48秒の連続したスペースがないと録音できません。そのため、短い空き部分のたくさんできたMDは、実際に録音できる時間は、短くなります。

倍速録音に関して（HCMS）

MDは標準を超えるスピードで録音することが可能です。このため著作権を保護するための規制が必要になります。本機では、CDから一度高速録音した曲は、その曲の録音開始から74分が経過しないと、その曲の二度目の高速録音はできません。
例えば、CDの1曲目を高速録音した場合、高速録音が開始してから74分間は、そのCDの1曲目を再びMDに高速で録音することはできません。また、CDから高速録音をする場合、録音開始から74分以内に合計で101曲以上録音することはできません。100曲までの録音をすることができます。

SCMS (Serial Copy Management System)

CDのクリアな音を他のデジタル機器（MD、内蔵メモリー、USB、アルネオなど）にデジタル録音した場合、一度録音した機器から他の機器に再びデジタル信号のままコピーすることはできないようになっています。つまり、「コピーのコピー」を作ることはできません。この決まりをSCMS（シリアル・コピー・マネージメントシステム）といいます。シリアル・コピー・マネージメント・システムとは、著作権保護のため、デジタルオーディオ機器間でデジタル信号のままコピーできるのは１世代だけと規定したものです。本機は、この決まりに準拠して設計されています。

ご注意

たとえば、この規定により一度デジタル録音されたCDやMDからは、内蔵メモリー、USB機器、MDへデジタル録音することはできません。

CD-R/CD-RWはアナログ信号に変換後、録音されます。

お知らせ

あなたがラジオ放送やCD、テープなどから録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上権利者に無断で使用できません。なお、この商品の価格には、著作権法の定めにより、私的録音補償金が含まれています。

私的録音補償金についてのお問い合わせ先

社団法人　私的録音補償金管理協会

☎03-5353-0336（代）

商標と著作権について

- 本製品は曲情報の取得にトランステクノロジー社のMagicSync®、携帯電話によるデータ取得技術を使用しています。MagicSyncは携帯電話によるデータ取得技術の業界標準です。詳細は、トランステクノロジー社のホームページwww.transtechnology.co.jpをご覧ください。

MAGIC SYNC

- 音楽認識技術と関連情報はGracenote®社によって提供されています。Gracenoteは、音楽認識技術と関連情報配信の業界標準です。詳細は、Gracenote®社のホームページwww.gracenote.comをご覧ください。

- GracenoteからのCDおよび音楽関連データ:
  Copyright © 2000-2008 Gracenote. Gracenote Software: Copyright 2000-2008 Gracenote. この製品およびサービスは、以下に挙げる米国特許の 1 つまたは複数を実践している可能性があります: 5,987,525、#6,061,680、#6,154,773、#6,161,132、#6,230,192、#6,230,207、#6,240,459、#6,330,593、およびその他の取得済みまたは申請中の特許。一部のサービスは、ライセンスの下、米国特許 (#6,304,523) 用に Open Globe, Inc. から提供されました。Gracenote および CDDB は Gracenote の登録商標です。Gracenoteのロゴとロゴタイプ、および「Powered by Gracenote」ロゴはGracenoteの商標です。Gracenoteサービスの使用については、次の Webページをご覧ください: www.gracenote.com/corporate

- Microsoft、Windows Mediaは、Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- 本機は、ドルビーラボラトリーズの米国および外国特許に基づく許諾製品です。

搭載ソフトウェアに関する情報

Gracenote® エンド ユーザー使用許諾契約書

バージョン 20061005

本アプリケーション製品または本デバイス製品には、カリフォルニア州エメリービル市のGracenote, Inc.（以下「Gracenote」）のソフトウェアが含まれています。本アプリケーション製品または本デバイス製品は、Gracenote 社のソフトウェア（以下「Gracenoteソフトウェア」）を使用することにより、ディスクやファイルを識別し、さらに名前、アーティスト、トラック、タイトル情報（以下「Gracenoteデータ」）などの音楽関連情報をオンラインサーバーから、或いは製品に実装されたデータベース（以下、総称して「Gracenoteサーバー」）から取得し、さらにその他の機能を実行しています。お客様は、本アプリケーション製品または本デバイス製品の本来、意図されたエンドユーザー向けの機能を使用することによってのみ、Gracenoteデータを使用することができます。

お客様は、Gracenoteデータ、Gracenoteソフトウェア、およびGracenoteサーバーをお客様個人の非営利的目的にのみに使用することに同意するものとします。お客様は、いかなる第３者に対しても、Gracenote ソフトウェアやGracenoteデータを、譲渡、コピー、転送、または送信しないことに同意するものとします。

お客様は、ここで明示的に許可されていること以外に、Gracenoteデータ、Gracenote ソフトウェア、またはGracenote サーバーを使用または活用しないことに同意するものとします。

お客様は、お客様がこれらの制限に違反した場合、Gracenoteデータ、Gracenoteソフトウェア、およびGracenoteサーバーを使用するための非独占的な使用許諾契約が解除されることに同意するものとします。また、お客様の使用許諾契約が解除された場合、お客様はGracenote データ、Gracenoteソフトウェア、およびGracenoteサーバーのあらゆる全ての使用を中止することに同意するものとします。Gracenoteは、Gracenoteデータ、Gracenoteソフトウェア、およびGracenoteサーバーの全ての所有権を含む、全ての権利を保有します。いかなる場合においても、Gracenoteは、お客様に対して、お客様が提供する任意の情報に関して、いかなる支払い義務も負うことはないものとします。お客様は、Gracenote, Inc.が直接的にお客様に対して、本契約上の権利をGracenoteとして行使できることに同意するものとします。

Gracenoteのサービスは、統計処理を行う目的で、クエリを調査するために固有の識別子を使用しています。無作為に割り当てられた数字による識別子を使用することにより、Gracenoteサービスを利用しているお客様を認識、特定しないで、クエリを数えられるようにしています。詳細については、Webページ上の、GracenoteのサービスFに関するGracenote プライバシーポリシーを参照してください。

Gracenoteソフトウェアと Gracenoteデータの個々の情報は、お客様に対して「現状有姿」のままで提供され、使用許諾が行なわれるものとします。Gracenote は、Gracenote サーバーにおける全てのGracenote データの正確性に関して、明示的または黙示的にかかわらず、一切の表明や保証を致しません。Gracenoteは、妥当な理由があると判断した場合、Gracenoteサーバーからデータを削除したり、データのカテゴリを変更したりする権利を保有するものとします。Gracenoteソフトウェアまたは Gracenoteサーバーがエラーのない状態であることや、或いはGracenoteソフトウェアまたはGracenoteサーバーの機能が中断されないことの保証は致しません。Gracenoteは、Gracenoteが将来提供する可能性のある、新しく拡張、追加されるデータタイプまたはカテゴリを、お客様に提供する義務を負わないものとします。また、Gracenoteは、任意の時点でそのサービスを中止できるものとします。

Gracenoteは、市販可能性、特定目的に対する適合性、権利、および非侵害性について、黙示的な保証を含み、これに限らず、明示的または黙示的ないかなる保証もしないものとします。Gracenoteは、お客様によるGracenoteソフトウェアまたは任意のGracenoteサーバーの使用により得られる結果について保証をしないもとのとします。いかなる場合においても、Gracenoteは結果的損害または偶発的損害、或いは利益の損失または収入の損失に対して、一切の責任を負わないものとします。

準備 基本操作 再生（応用） 録音 編集 タイマー 設定 その他

McObject エンドユーザー使用許諾書

本機UX-GM77-B/-Wには、McObject社のデータベースソフト（以下本ソフトといいます）が搭載されています。本ソフトの使用条件等は以下のとおりです。

1. 著作権

本ソフトに関する著作権等の知的財産権は、McObject LLC（"McObject"）またはそのライセンサーに帰属するものです。日本ビクター（以下弊社）はMcObjectとのライセンス契約に基づき本ソフトを配布する正当な権限を有しています。本ソフトは、日本、アメリカ合衆国およびその他の国の著作権法ならびに関連する条約によって保護されています。

2. 権利の許諾

お客様は、本契約の条項に従って、本機上でのみ本ソフトを使用する非独占的な権利を本契約に基づき取得します。

3. 制限事項

お客様は、いかなる方法によっても、本ソフトの改変、リバースエンジニアリング、逆コンパイルまたは逆アセンブルをすることはできません。ただし、適法で認められる場合はこの限りではありません。

お客様は、本契約書に明示的に許諾されている場合または適法で認められる場合を除いて、本ソフトを全部または一部であるかを問わず、使用、複製することはできません。

お客様には本ソフトを使用許諾する権利はなく、またお客様は本ソフトを第三者に販売、貸与またはリースすることはできません。

4. 非保証

本ソフトは、一切の保証なく、現状で提供されるものであり、本ソフトの満足度、性能、正確性または成果（無過失を含みます）等、本ソフトに関して発生するいかなる問題も、お客様の責任および費用負担により解決されるものとします。また本ソフトによりお客様がお楽しみになっていることを妨げられたり、または侵害された場合も、一切の保証はありません。

5. 責任の制限

McObject、弊社および本ソフトの作成・提供に係ったいかなる者も、本契約その他いかなる場合においても、本ソフトに関連する間接、特別または付随的損害（逸失利益を含みます）（損害発生につきMcObject、弊社らが予見し、または予見し得た場合を含みます）について、一切責任を負いません。お客様は、本ソフトの使用に関連して第三者からお客様になされた請求に関連する損害、損失あるいは責任より弊社、McObjectおよびそれらの役員、従業員ならびに代理人を免責し、保証するものとします。

6. 契約期間

本契約は、お客様によって本機上の本ソフトが使用開始された日を以て発効し、次によって終了されない限り有効に存続するものとします。

お客様が本契約のいずれかの条項に違反したときは、弊社は、お客様に対し何らの通知、催告を行うことなく直ちに本契約を終了させることができます。その場合、弊社は、お客様の違反によって被った損害をお客様に請求することができます。なお、万一、本契約が終了したときには、お客様は本ソフトの使用を中止しなければならず、さらには本機に組み込まれた本ソフトをお持ちになることはできません。

7. 輸出管理

お客様は、本ソフトに適用される輸出管理についてのあらゆる法令規則を遵守することに同意するものとします。

8. その他

(1) 弊社の正当な代表者が署名した書面による場合を除き、本契約のいかなる修正、変更、追加、削除その他改変も無効とします。

(2) 本契約のいずれかの規定が日本国の法律で無効とされた場合も、残りの規定は依然有効とします。

(3) 本契約は日本国法を準拠法とします。本契約に関連または起因する紛争は、東京地方裁判所を第一審の専属的合意管轄裁判所としてこれを解決するものとします。

故障かな？と思ったら — 修理に出す前にもう一度お確かめください —

• ビクターホームページ（http://www.victor.co.jp/）から最新の製品Q&A情報をご覧いただけます。

	症状	原因	対処方法	参照ページ
共通	音が出ない。	ヘッドホンがつながれている。	ヘッドホンのプラグを抜いてください。	15
		音量が最小になっている。	音量を調節してください。	19
		消音になっている。	消音を解除してください。	19
	ディスプレイの時刻と曜日表示が点滅している。	電源コードが抜かれていた、または停電していた。	時計を設定し直してください。	20
	しばらく再生が止まっているとナレーションが始まる	デモ機能が働いている。	内蔵メモリーの「demo」フォルダとその中身を削除してください。	88
CD	演奏が始まらない。	CDが裏返しに入っている。	文字がある面を上にしてCDを入れ直してください。	22
		レンズに露がついている。	電源を入れたまま、乾くまで待ってください。（約1～2時間）	—
	音飛びする。	CDにキズがある。	CDを交換してください。	—
MD	演奏が始まらない。	レンズに露がついている。	電源を入れたまま、乾くまで待ってください。（約1～2時間）	—
	高速録音ができない。	CDのプログラム再生、ランダム再生になっている	［再生/FMモード］を押して、CDのプログラム再生、ランダム再生を解除する。	45, 50
	編集操作ができない。	再生モード（プログラム再生、ランダム再生、グループ再生）がオンになっている。	［再生/FMモード］を押して再生モードを解除する。	45, 46, 50
		誤消去防止になっている。	誤消去防止つまみを閉じてください。	63
ラジオ	雑音が多くて放送がうまく受信できない。	アンテナが調整されていない。	アンテナを調整し直すか本機の設置場所を変えてください。	14

	症状	原因	対処方法	参照ページ
MagicSync	曲情報を取得できない。	携帯電話が正しく接続されていない。	携帯電話を正しく接続し直してください。	**59**
		電波状態が悪い。	電波状態が良い場所に移動してください。	—
		曲情報がない。	曲名などを手動で入力してください。	**81**
タイマー	再生/録音タイマーがスタートしない。	電源が入っている。	電源を切ってください。	**19**
		現在時刻と曜日が合っていない。	時計を設定し直してください。	**20**
		タイマー表示（⏻）とタイマー番号（1 ～ 4）が表示されていない。	タイマーを設定し直してください。	**102, 105**
リモコン	リモコンが操作できない。	リモコンの乾電池が消耗している。	新しい乾電池（単4形）に交換してください。	**15**
		リモコン受光部に、直射日光などの強い光が当たっている。	強い光の当たらない場所で操作してください。	—
録音	音が出ない。	内蔵メモリー・USB機器間の録音（移動）、または高速録音をしている	内蔵メモリー・USB機器間の録音（移動）、および高速録音のときは、音は出ません。	—
	高速録音できない。	高速録音できない条件で、高速を選ぼうとしている	標準で録音してください。	**68**
USB／アルネオ	読み込みに時間がかかる。 内容が正しく表示されない。	本機がUSB機器を正しく記憶できていない	接続したUSB機器に対する本機の記憶内容を更新してください。	**37**
	本機がスタンバイ状態の時、USB機器が充電されない	「スタンバイモード」の設定が「表示オフ」になっている。	「スタンバイモード」の設定を「表示オン」にする。	**110**

▶ 上記の対処を行なっても正しく動作しないときは

- 本機はマイコンの働きで、多くの動作を行なっております。万一どのボタンを押してもうまく動作しないときは、一度電源プラグをはずし、しばらく待ってからつなぎ直してください。そのあと時計合わせをしてください。
- 大切な録音の場合は、必ず事前に試し録音をして正常に録音できることを確認してからお使いください。

メッセージが表示されたときは

▶ MagicSync機能

メッセージ	意味	対処方法	参照ページ
携帯電話との接続を確認してください	MagicSync実行時に携帯電話が接続されていない	携帯電話を接続してください。	59
携帯電話が接続されていません	携帯電話が接続されていない	携帯電話を接続してください。	59
データ通信モードになっていません	MagicSyncのときに携帯電話がMSC/MTPモードで接続されている	携帯電話のUSBモード設定をデータ通信モードにしてください。	58
通信エラーが発生しました	携帯電話の通信にエラーが発生した	電波状況を確認して、再度行なってください。	—
CD情報の取得に失敗しました	エラーが発生した	携帯電話を再接続してから、再度行なってください。	—
Track情報の取得に失敗しました	エラーが発生した	携帯電話を再接続してから、再度行なってください。	—

▶ 携帯電話

メッセージ	意味	対処方法	参照ページ
データ通信モードでは録音できません	携帯電話がデータ通信モードになっている	携帯電話のUSBモード設定を「MTP」にしてください。	74
転送できないトラックがありました	内蔵メモリーから携帯電話へ録音したファイルにMP3が含まれていた	携帯電話へMP3ファイルの転送はできません。	—
このUSB機器はフォーマットできません	携帯電話をフォーマットしようとした	携帯電話側でフォーマットしてください。	—
このUSB機器はUSB→MEM間の移動はできません	携帯電話をUSB接続して内蔵メモリーへ録音しようとした	携帯電話の音楽ファイルを録音するときは、LINE IN端子へ接続してください。	72
このUSB機器は本機では再生できません	携帯電話をUSB接続して再生しようとした	携帯電話の音楽ファイルを再生するときは、LINE IN端子へ接続してください。	41
このUSB機器はMP3では録音できません	携帯電話にMP3で録音しようとした	携帯電話への録音（移動）はMP3は対応していません。WMAで録音（移動）してください。	—

システムエラー

メッセージ	意味	対処方法	参照ページ
SYS Error: □□ (□□：エラー番号)	システムに異常が発生している	フォーマットしてください。それでも問題が発生する場合は、お買い上げの販売店またはビクターサービス窓口にご相談ください。	112

共通（MagicSync、携帯電話、システムエラーを除く）

メッセージ	意味	対処方法	参照ページ
転送できないトラックがありました	WMA-DRMファイルを内蔵メモリーへ録音しようとした	WMA-DRMファイルは本機に録音できません。	—
このUSB機器はフォーマットできません	本機でフォーマットできないUSB機器のとき	接続機器でのフォーマット方法を確認してください。	—
このUSB機器は認識できません	本機に対応していないUSB機器を接続している	本機に対応しているUSB機器を接続してください。	32
削除できないトラックがありました	WMA-DRMファイルを削除しようとした	WMA-DRMファイルは削除できません。削除したい場合はフォーマットしてください。	112
ライセンスが切れています再生できません	ライセンス切れのWMA-DRMファイルを再生しようとした	接続機器をパソコンで同期をとり、ライセンスを取得して再度本機に接続してください。	—
著作権保護されたトラックは再生できません	USBモードが「MSC」のとき、またはMSC接続をしているときに著作権保護付き（WMA-DRM）の曲を再生しようとしている。または「USBデジタルメディアストリーミング」非対応のMTP機器で著作権保護付き（WMA-DRM）の曲を再生しようとしている	「デジタルメディアストリーミング」対応のMTP機器の場合、USBモードを「オート」に切り換えてください。	33, 40
MTPモードでは設定できません	USBモードがMTPのとき、ABリピートを設定しようとした	USBモードがＭＴＰのときはABリピートは設定できません。	—
プロテクトされています	• USB機器にプロテクトがかかっている • MDが誤消去防止になっている	• USB機器のプロテクト機能を解除してください。 • MDの誤消去防止つまみを閉じてください	— 63

メッセージ	意味	対処方法	参照ページ
再生できません	本機で再生できないファイル、またはファイルが壊れている	この曲は再生できません。自動で次の曲へスキップします。	—
空き容量が足りません	内蔵メモリー /USB機器またはMDの容量がいっぱいになった	不要な曲を削除して空き容量を増やしてください。	**85, 89**
最大登録数を超えました	プレイリストの最大登録数（トラック数による）を越えた	プレイリストを削除してください。	**57**
ランダム再生での録音はできません	再生モードがランダムのときに録音しようとした	ランダム再生での録音はできません。	—
トラック数が制限を超えました	トラックの総数が最大値（内蔵メモリー：5000、MD：254）を越えた	トラックを削除してください。	**85～90**
データ数が制限を超えました	フォルダとファイルの総数が最大値（20000）を越えた	フォルダ、ファイルを削除してください。	**85～90**
録音できません	ファイルシステムに異常がある可能性があります	電源を入れ直し、再度実行してください。再度メッセージが表示される場合は、フォーマットしてください。	**112**
CANNOT RECORD. POWER OFF			
保存できません			
名前変更できません			
作成できません			
移動できません			
削除できません			
システム領域異常 フォーマットします	ファイルシステムが壊れている	再生順が変更されています。また、MagicSyncで取得した曲情報が消去されています。	—
データ領域異常 フォーマットします		強制フォーマットになりますので、データが全て消去されます。	
メモリー領域異常 フォーマットします			
同名が存在します	すでにある名前に変更しようとしている	まだ使用していない名前に変更してください。	**81**
データベースを再構築しました	データベースが壊れていたので、再構築を行った	再生順が変更されています。また、MagicSyncで取得した曲情報が消去されています。	—

▶ 共通（MagicSync、携帯電話、システムエラーを除く）（つづき）

メッセージ	意味	対処方法	参照ページ
再生中は変更できません	• CDまたはMDのとき：再生モードを再生中に変更しようとした	• 停止してから再生モードを変更してください。	—
	• 内蔵メモリーのとき：内蔵メモリー再生中に編集しようとした	• 内蔵メモリーは再生中は編集できません。停止してください。	—
	• MDのとき：グループ再生中、ランダム再生中またはプログラム再生中に、名前を変更しようとした	• 再生モードを解除してください。	**45, 46, 50**
SCMSエラー アナログで録音してください	著作権保護されたCD-R/CD-RWをデジタル録音しようとした	アナログで録音してください。	**68, 124**
74分以内に同じ曲の高速録音はできません	CDからMDに高速録音した曲を、その曲の録音開始から74分以内に再度録音しようとした	著作権保護のため、内部タイマーが働いています（HCMS）。74分以上待つか、標準で録音してください。	**67, 123**
高速録音できません 標準で録音してください	EmphasisCDのときは高速録音できません。	標準で録音してください。	**68**
高速録音できません 標準で録音します	USB機器への録音で、録音品質がHQのときは高速録音できません。	標準で録音してください。	**68**
プログラム再生中は登録できません	プログラム再生中にプログラム登録しようとした	プログラム再生中はプログラムの登録内容を変更できません。再生を停止してから変更してください。	—
プログラム再生中は削除できません	プログラム再生中にプログラム登録を削除しようとした		
プログラム再生中は変更できません	プログラム再生中にプログラム登録した曲順を変えようとした		
最大登録数を超えました	プログラムの最大登録数（32個）を越えた	プログラムされているトラックを削除してください。	**52**
高速録音中は変更できません	高速録音中に音量などのサウンド設定を変更しようとした	高速録音中は音量などのサウンド設定を変更できません。	—
録音用の一時メモリー不足です	MTP機器への転送のために録音を一時記憶しておくメモリーの容量が不足です	内蔵メモリーの不要な曲を削除して、空き容量を増やしてください。	**85**
このソースからのMTP機器への録音はできません	ラジオや外部機器からMTP機器への録音をしようとした	内蔵メモリーに録音してからMTP機器へ移動してください。	**61**

メッセージ	意味	対処方法	参照ページ
MTP機器間の録音はできません	MTP機器の間で録音しようとした	MTP機器間での録音はできません。内蔵メモリーに録音してからMTP機器へ移動してください。	**61, 74**
ロードに失敗しました	MDの挿入に失敗した	MDを入れ直してください。	**27**
読み込みに失敗しました	MDを読み込めない	MDを取り替えてください。	—
グループ数が制限を超えました	すでに99グループあるMDで、新しくグループを作成しようとした	グループは最大99グループまで管理できます。不要なグループを削除または解除してください。	**94, 97**
グループに登録されています	グループ登録されている曲を選んで、新しいグループを作ろうとした	グループに登録されていない曲を選んでください。	—
結合できません	MDのシステム上の制約です	「MDの制約について」をお読みください。	**123**
タイトル情報が制限を超えました	MDに合計1792文字を超えて入力しようとした	それ以上の文字は入力できません。	—
グループ情報が制限を超えました	グループに関する情報量の制限を超えている（グループに関する情報はタイトル領域に記録されます）	それ以上のグループは作れません。不要なディスクタイトルや曲タイトルを消してください。	**82**
指定のグループに登録されています	曲をグループに追加するときに、すでにその曲が登録されているグループを選んだ	別のグループを選んでください。	**96**
異常が発生しました	異常が発生した	電源を入れ直してください。	**19**
一度に削除できる制限を超えました	複数の曲をまとめて削除するときに、16曲以上選んだ	一度に削除できるのは16曲までです。	**86**
再生専用ディスクです	再生専用MDに録音・編集しようとした	録音用MDに取り換えてください。	—
空のディスクです	未録音のディスク	−	—
トラックプロテクトされています	MDの曲にプロテクトがかかっている	本機では解除できません。録音した機器で編集してください	—
開始・終了時刻が同じです	タイマーの開始時刻と終了時刻が一致している	開始時刻と終了時刻を4分以上あけてください。	**102, 105**
開始・終了時刻の間隔を4分以上あけてください	タイマーの開始時刻と終了時刻が3分以内に設定されている		
他のタイマーとの間隔を4分以上あけてください	他のタイマーとの間隔が3分以内に設定されている	他のタイマーとの間隔を4分以上あけてください。	**102, 105**

保証とアフターサービス（必ずお読みください）

保証書（別添）

保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

保証期間
お買い上げの日から１年間

補修用性能部品の最低保有期間

マイクロコンポーネントシステム補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切り後８年です。
補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理に関するご相談やご不明な点は

修理に関するご相談やご不明な点は、お買い上げの販売店または**135**ページの「ビクターサービス窓口案内」をご覧のうえ最寄りのサービス窓口にお問い合わせください。

修理を依頼されるときは　出張修理

127ページの**「故障かな？と思ったら」**に従ってお調べください。それでもなお異常のあるときは、使用を中止し、**お買い上げの販売店**に修理をご依頼ください。このとき不具合の発生したCDやMDなどのメディアも、一緒にご持参ください。

保証期間中は

修理に際しましては保証書をご提示ください。
保証書の規定に従って販売店が修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる製品については、お客様のご要望により有料で修理させていただきます。

便利メモ	お買い上げ日	
	お買い上げ店名	☎（　　　　）　　　－

お客様の個人情報のお取り扱いについて

ご相談窓口におけるお客様の個人情報につきましては､日本ビクター株式会社およびビクターグループ関係会社（以下、当社）にて、下記のとおり、お取り扱いいたします。

・お客様の個人情報は、お問い合わせへの対応、修理およびその確認連絡に利用させていただきます。
・お客様の個人情報は、適切に管理し、当社が必要と判断する期間保管させていただきます。
・次の場合を除き、お客様の同意なく個人情報を第三者に提供または開示することはありません。
　① 上記利用目的のために、協力会社に業務委託する場合。当該協力会社に対しては、適切な管理と利用目的外の使用をさせない措置をとります。
　② 法令に基づいて、司法、行政またはこれに類する機関から情報開示の要請を受けた場合。
・お客様の個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきましたご相談窓口にご連絡ください。

ビクターサービス窓口案内

（ビクターサービスエンジニアリング株式会社）

ビクター製品のアフターサービスはお買い上げの販売店へご相談ください

ご転居等で保証書記載のお買い上げ販売店にアフターサービスをご依頼になれない場合は、最寄りの「ご相談窓口」にご相談ください。

都道府県名	窓口名	TEL	所在地
【出張修理専門】のご相談窓口			
◎が付いている拠点については出張修理のご依頼、ご相談は下記の番号で承ります。			
出張修理受付センター		(0800)800-9928（フリーアクセス・ひかりワイド）※携帯電話・PHSなどからのご利用は、下記の番号へおかけ願います。	
		(047)305-7731	千葉県浦安市当代島2-13-27
北海道			
北海道	札　幌S.C.	(011)898-1180	札幌市厚別区厚別東五条1丁目2-29
	旭川S.S.	(0166)25-2533	旭川市5条通17丁目1439番地1
	北見S.S.	(0157)25-8557	北見市山下町4-7-19
	釧路S.S.	(0154)24-0797	釧路市松浦町3-3
	帯広S.S.	(0155)24-4493	帯広市西5条南28丁目1-1 有限会社オーイーエム内
	函館S.S.	(0138)52-5324	函館市五稜郭町4-16函館五稜郭MFビル1F
東北			
青森	青　森S.C.	(017)723-2261	青森市桂木4-6-17
	八戸S.S.	(0178)44-4521	八戸市諏訪2-2-36
岩手	盛　岡S.C.	(019)637-0121	盛岡市津志田西二丁目3-20
秋田	秋　田S.C.	(018)824-3189	秋田市山王中園町4-1
	大館S.S.	(0186)43-0980	大館市美園町5-6
宮城	仙　台S.C.	(022)287-0151	仙台市若林区六丁の目西町7-13
山形	山形S.S.	(023)642-0279	山形市松山3-12-18
福島	郡　山S.C.	(024)952-6331	郡山市堤1-3
関東・甲信越			
新潟	◎新　潟S.C.	(025)242-3431	新潟市中央区鐙一丁目5-23
長野	◎長　野S.C.	(026)221-6583	長野市大字川合新田962-1
群馬	◎前　橋S.C.	(027)255-5921	前橋市大渡町1-10-1 日本ビクター（株）前橋工場第2棟1F
栃木	◎宇都宮S.C.	(028)638-1639	宇都宮市東宿郷3-5-22
茨城	◎水　戸S.C.	(029)246-1560	水戸市元吉田町1030 日本ビクター（株）水戸工場技術棟1F
千葉	◎千　葉S.C.	(043)202-0263	千葉市中央区中央三丁目9-16 三井生命千葉中央ビル1F
	◎柏　S.C.	(04)7175-4322	柏市豊四季512-10-67
	◎浦　安S.C.	(047)353-6189	浦安市当代島2-13-27
埼玉	◎大　宮S.C.	(048)654-5241	さいたま市北区大成町4-503
神奈川	◎横　浜S.C.	(045)450-6211	横浜市神奈川区新浦島町1-1-25 テクノウェイブ100ビル1F
	◎ 相模原S.S.	(042)776-2052	相模原市古淵3-7-4
	◎海老名S.C.	(046)234-4500	海老名市東柏ヶ谷6-19-26
山梨	◎　甲府S.S.	(055)237-4016	甲府市湯田2-11-5
東京	◎東東京S.C.	(03)6381-8400	墨田区八広五丁目11-1石塚ビル1F
	◎大　田S.C.	(03)5748-3701	大田区池上二丁目8-10 プラムビル1F
	◎八王子S.C.	(042)646-6914	八王子市石川町2969番の2 日本ビクター（株）八王子工場 第4棟
【業務用機器専門】のご相談窓口			
CS センター		(03)5631-2235	墨田区八広五丁目11-1
静岡			
静岡	静　岡S.C.	(054)204-0050	静岡市駿河区高松一丁目16-14
	沼津S.S.	(055)922-1557	沼津市筒井町6-5
	浜松S.S.	(053)421-3441	浜松市東区北島町785
東海・北陸			
愛知	名古屋S.C.	(0568)25-3235	北名古屋市九之坪鴨田121-1
	三　河S.C.	(0564)25-0321	岡崎市葵町2-23 宝ビル101号室
	豊橋S.S.	(0532)64-0815	豊橋市多米東町1丁目1-1
岐阜	岐阜S.S.	(058)274-1947	岐阜市六条北四丁目8-10 今尾ビル103号室
三重	三重S.S.	(059)352-0841	四日市市堀木2-15-2
富山	富山S.S.	(076)425-2397	富山市二口町4丁目1-3
石川	金　沢S.C.	(076)269-4821	金沢市新保本4丁目65-17
福井	福井S.S.	(0776)50-6161	福井市和田東1丁目1807番地 ビルズK103
近畿			
滋賀	滋賀S.S.	(077)582-5812	守山市浮気町268
京都	◎京　都S.C.	(075)644-0247	京都市伏見区深草下川原町31番地の1
和歌山	和歌山S.S.	(073)472-6799	和歌山市太田430-8
	田辺S.S.	(0739)22-9976	田辺市湊1581-12
兵庫	◎神　戸S.C.	(078)252-0562	神戸市中央区浜辺通2丁目1-30 三宮国際ビル1F
大阪・奈良	◎大　阪S.C.	(06)6304-5735	大阪市淀川区田川2-4-28
【業務用機器専門】のご相談窓口			
メンテナンスセンター		(06)6304-6715	大阪市淀川区田川2-4-28
中国			
岡山	岡　山S.C.	(086)243-1566	岡山市西古松西町8-23
	福山S.S.	(084)931-6984	福山市南蔵王町3-5-15
広島	広　島S.C.	(082)243-9839	広島市中区光南3-9-17
山口	山口S.S.	(083)973-3708	山口市小郡花園町5-28
山陰			
島根	松　江S.C.	(0852)31-8900	松江市学園1丁目16-39
鳥取	鳥取S.S.	(0857)23-2151	鳥取市千代水1丁目22-1
四国			
香川	高　松S.C.	(087)866-1200	高松市田村町205-1
徳島	徳島S.S.	(088)665-9601	徳島市川内町榎瀬673
高知	高知S.S.	(088)882-0546	高知市高須新町4-1-43
愛媛	松　山S.C.	(089)923-0372	松山市中央1-4-12
九州・沖縄			
福岡・佐賀	福　岡S.C.	(092)707-0500	福岡市博多区沖浜町11番10号 サンイースト福岡1F
	北九州S.C.	(093)921-3981	北九州市小倉北区片野2-15-12
長崎	長崎S.S.	(095)862-5522	長崎市城山町9-13
	佐世保S.S.	(0956)33-5568	佐世保市木風町1467-2
大分	大分S.S.	(097)543-1422	大分市西大道三丁目1-1
熊本	熊　本S.C.	(096)353-4536	熊本市近見8-1-10
宮崎	宮崎S.S.	(0985)24-5401	宮崎市霧島3-59
鹿児島	鹿児島S.C.	(099)282-8818	鹿児島市田上7丁目9-8
沖縄	沖　縄S.C.	(098)898-3631	宜野湾市真志喜1-13-16

所在地、電話番号が変更になる場合がございますので、あらかじめご了承ください。　0708

●略号について　S.C.はサービスセンターの略称です。
S.S.はサービスステーションの略称です。

主な仕様 本機の仕様および外観は、改善のために予告なく変更することがあります

▶ MD/CDレシーバー（CA-UXGM77-B/CA-UXGM77-W）

アンプ部

実用最大出力	20 W + 20 W (JEITA THD10% /4Ω)
入力端子〈アナログ〉	LINE IN x 1 500 mV/47 kΩ：LEVEL1 250 mV/47 kΩ：LEVEL2 125 mV/47 kΩ：LEVEL3
出力端子〈アナログ〉	スピーカー x1 系統、20 W/4 Ω 適合インピーダンス4 Ω～16 Ω PHONES（φ 3.5 mmステレオミニ x 1）、5 mW/32 Ω 適合インピーダンス 16 Ω～1 kΩ LINE OUT x1、500 mV/47 kΩ

チューナー部

受信周波数	FM：76.00 MHz～90.00 MHz (0.10 MHzステップ) AM：531 kHz～1,629 kHz (9 kHzステップ)
アンテナ	FM：　75 Ω不平衡型 AM：　ループアンテナ

CDプレーヤー部

形式	コンパクトディスクデジタルオーディオシステム
サンプリング周波数	44.1 kHz
チャンネル数	2チャンネル・ステレオ

MD部

形式	ミニディスクデジタルオーディオシステム
記録方式	磁界変調オーバーライト方式
ファイルシステム（MD80使用）	録音時モード（MDLP）SP：80分 録音時モード（MDLP）LP2：160分 録音時モード（MDLP）LP4：320分
サンプリング周波数	44.1 kHz
音声圧縮方式	ATRAC/ATRAC3（MDLP）方式
チャンネル数	2チャンネル・ステレオ

内蔵メモリー部

形式	フラッシュメモリー
容量	2GB[*1]
音声圧縮再生方式	MP3、WMA、WAV、AAC
音声圧縮録音方式	MP3、WMA

録音品質と録音可能曲数（1曲4分として）

MP3:	録音時のモードHQ：192 kbps：約320曲 録音時のモードSP：128 kbps：約490曲 録音時のモードLP：64 kbps：約970曲
WMA:	録音時のモードHQ：128 kbps：約490曲 録音時のモードSP：96 kbps：約650曲 録音時のモードLP：64 kbps：約970曲

*1 メモリー容量の一部をシステム領域に使用しているため、ユーザーが使用できる容量はこれよりも少なくなります。

USB部	
USB端子	USB Ver.1.1（type A）
形式	MTP/MSC
ファイルシステム	FAT/FAT32 （NTFSには対応していません）
音声圧縮再生方式	MP3、WMA、WAV、AAC
音声圧縮録音方式	MP3、WMA
USB出力電源	DC 5 V⎓ 500 mA

アルネオ部	
USB端子	USB Ver.1.1 (mini-B)
形式	MTP/MSC
ファイルシステム	FAT/FAT32 （NTFSには対応していません）
音声圧縮再生方式	MP3、WMA、WAV、AAC
音声圧縮録音方式	MP3、WMA
USB出力電源	DC 5 V⎓ 300 mA

タイマー部	
タイマー形式	4プログラム動作 （1回のみ/毎週切換可能）
スリープタイマー	10、20、30、60、90、120、150、180分 （オートディマー機能）
時刻表示	12/24時間表示

共通部	
電源電圧	AC100 V (50 Hz/60 Hz共用)
消費電力	電源「入」時　50 W 電源「待機」時　10 W （表示オン　USB、アルネオ給電機能オン） 電源「待機」時　0.8 W （表示オフ　USB、アルネオ給電機能オフ）
最大外形寸法（アルネオドックアダプター非装着時）	幅165 mm x 高さ200 mm x 奥行き299 mm
質量	約4.3 kg

▶ スピーカー（1本あたり）

（SP-UXGM77-B/SP-UXGM77-W）

形式	2ウェイバスレフ型
使用スピーカー	低音用： 11 cmコーンスピーカー x 1 高音用： 4 cmコーンスピーカー x 1
最大入力	20 W（JIS）
定格インピーダンス	4 Ω
再生周波数帯域	56 Hz ～ 40 kHz
出力音圧レベル	83 dB/W•m
最大外形寸法	幅140 mm x 高さ241 mm x 奥行き204 mm
質量	約2.2 kg

▶ マイクロコンポーネントMDシステム

（UX-GM77-B/UX-GM77-W）

総合	
最大外形寸法（アルネオドックアダプター非装着時）	幅445 mm x 高さ241 mm x 奥行き299 mm
質量	約8.7 kg

再生対応フォーマット[*1]	
メモリー /USB	
MP3:	8 kbps ～ 320 kbps、 8 kHz ～ 48 kHz、VBR[*2]
WMA:	8 kbps ～ 320 kbps、 8 kHz ～ 48 kHz、VBR[*2]
WAV:	16 bit、リニアPCM 8 kHz ～ 48 kHz/IMA-ADPCM
AAC:	16 kbps ～ 320 kbps、 44.1 kHz・48 kHz、VBR[*2]

[*1] サンプリング周波数とビットレートの組み合わせによっては、正常に再生できない場合があります。

[*2] VBR：Variable Bit Rate（可変ビットレート）の略。

索引

同意書

データのお取り扱いについて

当社は、不具合を改善するため、お客様からお預りした記録媒体内のデータを必要最小限の範囲で確認いたします。しかし、データを複製することや、修理担当者以外の者が閲覧することはありません。

修理に持ち込まれた商品につきましては細心の注意を払ってお取り扱いいたしますが、事前にバックアップを取っておかれることをお勧めします。修理過程でデータが消失する場合や、故障の状態によってフラッシュメモリの初期化（フォーマット）や交換が必要となる場合があります。

■商品の不具合によるものも含め、いったん消失した記録内容（データ）の修復などはできません。あらかじめご了承ください。

■万一、データが消失してしまった場合でも、当社はその責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。

■品質向上を目的として、交換した不良の記録媒体を解析させていただく場合があります。そのため、返却できないことがあります。

以上の「データのお取り扱いについて」に関しまして、ご理解とご同意をお願いいたします。ご同意いただけない場合、不具合箇所によっては修理できないままお返しすることがあります。あらかじめご了承ください。

どちらかに ✓ マークをお願いします。　□同意する　□同意しない

日付：＿＿＿＿＿＿年＿＿月＿＿日

ご署名：＿＿＿＿＿＿＿＿

修理や点検を依頼されるときは、この同意書にご記入のうえ、商品に添付してください。

日本ビクター株式会社

ビクターサービスエンジニアリング株式会社

別売のオプション品

- ヘッドホン：**HP-S35**
- 接続コード：LINE端子の接続用
  CN-203A（オーディオ機器用）
  CN-FM100-B（LINE IN端子への携帯電話接続用）
- ＦMフィーダーアンテナ：**CN-511A**（**300Ω**）
  （アンテナコネクター：VZ-71Aと一緒に使います）
- アンテナコネクター：**VZ-71A**（**75Ω/300Ω**）
- アンテナコード：**VX-22A**

- 別売りのオプション品はお買い上げの販売店でお求めください。品番は変更されることがあります。
- この製品の製造時期は本体の背面に表示されています。

ご相談や修理は

ビクター製品についてのご相談や修理のご依頼は、
お買い上げの販売店にご相談ください。
転居されたり、贈答品などでお困りの場合は、下記の窓口にご相談ください。

修理などのアフターサービスに関するご相談 **ビクターサービスエンジニアリング株式会社**	お買い物相談や製品についての全般的なご相談 **お客様ご相談センター**
135ページの「ビクターサービス窓口案内」をご覧ください。	（フリーダイヤル）**0120－2828－17** 携帯電話・PHS・FAXなどからのご利用は **電話（045）450－8950** **FAX（045）450－2275** 〒221-8528 横浜市神奈川区守屋町3-12

●ご相談窓口におけるお客様の個人情報の取り扱いについては、134ページをご覧ください。
ビクターホームページ　**http://www.victor.co.jp/**

日本ビクター株式会社

〒221-8528　横浜市神奈川区守屋町3-12

0508YAMMDWJMM

UX-GM77　マイクロコンポーネント MD システム　取扱説明書